

令和 3 年度

業 務 年 報

令和 4 年 3 月

鳥取県病害虫防除所

目 次

I 病害虫防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷	1
2 業務内容	2
3 組織・人員	
(1) 職員	2
(2) 病害虫発生状況調査員	3
(3) 病害虫防除所及び関係機関の体制	4

II 病害虫発生予察事業

1 事業の目的	5
2 事業実施方針	5
3 対象病害虫の種類	5
4 発生予察情報の種類と用語の使用法	7
5 令和3年度に発表した情報	
(1) 発表状況	9
(2) 内 容	
ア 警 報	10
イ 注意報	10
ウ 特殊報	16
エ 発生予報	18
オ 指導情報	20
カ ホームページのアクセス件数、更新回数	22
(3) 情報の発送先とその伝達手段	23
(4) 情報発信の流れ図	24
6 普通作物病害虫の発生予察調査結果	
(1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積	25
(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	27
(3) 調査の概要と結果	
ア イ ネ	31
イ ムギ類 (二条オオムギ)	51
ウ ダイズ	53

7	果樹病害虫の発生予察調査結果	
(1)	主な果樹病害虫の発生程度別面積	58
(2)	主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	59
(3)	調査の概要と結果	
	ア ナシ	63
	イ ブドウ	77
	ウ カキ	79
8	野菜病害虫の発生予察調査結果	
(1)	主な野菜病害虫の発生程度別面積	82
(2)	主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	84
(3)	調査の概要と結果	
	ア スイカ	91
	イ キャベツ	93
	ウ ブロッコリー	96
	エ ネギ	99
	オ イチゴ	103
	カ ナガイモ	104
	キ ラッキョウ	104
	ク サトイモ	105
	ケ トマト	105
Ⅲ	ミバエ類等侵入警戒調査事業	106
付表	令和3年半旬別気象表	
1	鳥取市（鳥取地方気象台）	107
2	北栄町（園芸試験場）	109
	本業務年報中の表における注意事項	111

I 病虫害防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷

- ・昭和 16 年： 昭和 15 年の北日本のいもち病、西日本のウンカによる被害を発端として、普通作物病虫害発生予察事業を全国で開始
- ・昭和 25 年： 植物防疫法制定
- ・昭和 26 年： 植物防疫法の一部改正
 - ・指定病虫害、指定外病虫害を規定
- ・昭和 27 年： 植物防疫法に基づき病虫害発生予察事業開始
県内 8 か所（鳥取、岩美、気高、八頭、東伯、西伯、米子、日野）に病虫害防除所設置
- ・昭和 40 年： 果樹等病虫害発生予察事業開始
普通作物病虫害発生予察事業実施要綱の制定
 - ・県予察員、地区予察員の設置
- ・昭和 41 年： 県内 5 か所（鳥取、八頭、倉吉、米子、日野）に病虫害防除所を統合
- ・昭和 51 年： 県内 3 か所（鳥取、倉吉、米子）に病虫害防除所専任職員を配置
（昭和 49 年の斑点米カメムシ類被害により発生予察体制の強化）
- ・昭和 55 年： 野菜病虫害発生予察事業開始
- ・昭和 60 年： 植物防疫法一部改正により、指定病虫害発生予察事業補助金の一部交付金化
 - ・病虫害防除所の設置形態、名称、事業内容の規定
 - ・発生予察情報の提供責任者を原則として病虫害防除所に規定
（水稻病虫害に係る警報については、都道府県主管部長に限る）
 - 植物防疫事業実施要項及び同運用の制定
 - 植物防疫推進事業実施要領及び同運用の制定
 - ・県予察員、地区予察員の名称区分廃止
- ・昭和 61 年： 県内 5 か所の病虫害防除所を統合し、鳥取市橋本に鳥取県病虫害防除所を設置
- ・平成 4 年： 県農業共済組合連合会からの依頼に基づき、県農業共済組合職員 25 人を病虫害防除員に委嘱
- ・平成 9 年： 植物防疫情報総合ネットワーク（J P P-N E T）の本格稼働により J P P-N E T へ予察データの送信開始
アメダスデータ（気温、降水量、日照時間、風速）利用による、水稻いもち病発生予察システム（B L A S T A M）の稼働開始

- ・平成10年： 花き病虫害発生予察事業開始
- ・平成12年： 病虫害防除所のホームページを開設
- ・平成15年： 植物防疫法の一部改正
植物防疫事業交付金の一部を一般財源化
食品安全基本法の制定
農林水産省消費・安全局の設置
農薬取締り業務を県農林水産部から県生活環境部へ移管
- ・平成16年： 病虫害防除所のインターネット利用者に対する予報情報のメール配信の開始
- ・平成20年： 鳥取県農林総合研究所農業試験場内に、病虫害防除所を設置
農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究者が兼務する体制となる。
- ・平成23年： 病虫害防除員を休止
- ・平成26年： 農林総合研究所の廃止による再編に伴い、再び農業試験場内に病虫害防除所を設置(農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究者が兼務する体制は継続)。
- ・令和2年： 次長職(園芸試験場長兼務)を新たに設置

2 業務内容

- (1) 発生予察事業に関する事務
- (2) 植物検疫に関する事務
- (3) 防除についての企画に関する事務
- (4) その他防除に関する事務
- (5) 農薬の使用等に関する助言、指導、その他の援助

3 組織・人員

(1) 職員

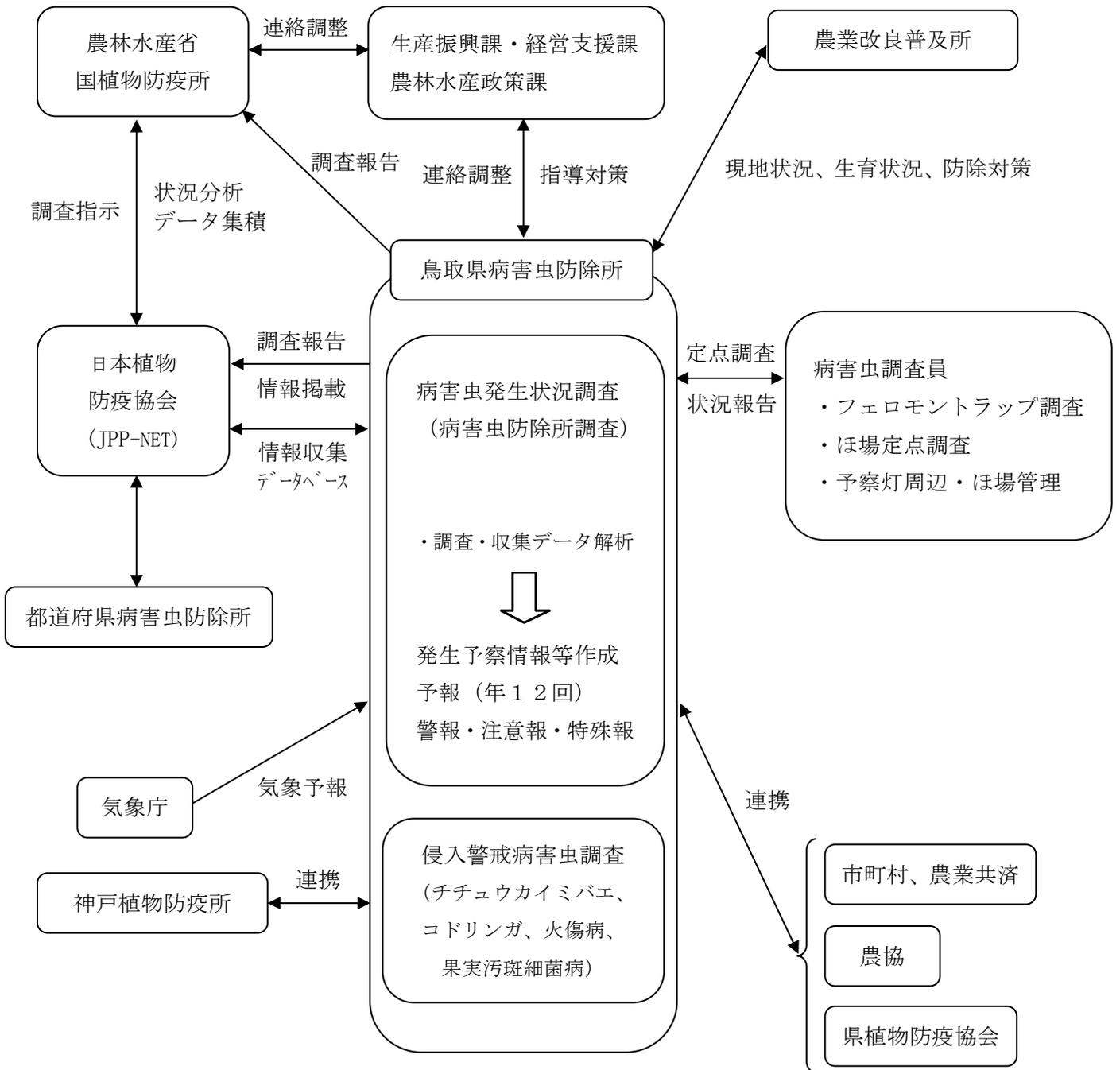
職名	氏名	担当作物
所次課長補佐	坂東 悟 吉田 亮 大塩 真司 長谷川 優	本務：農業試験場 本務：園芸試験場 本務：農業試験場 本務： "
係長	米村 善栄 香山 良行 田中 剛	本務：園芸試験場 普通作物(本務：農業試験場) 普通作物(本務： "
農林技師	宇山 陽子 藤原 啓太 山田 更紗 古井 高之 岩田 佑樹 鈴木 香里 木 祐	野菜(本務：園芸試験場) 普通作物(本務：農業試験場) 普通作物(本務： " 果樹(本務：園芸試験場) 果樹(本務： " 野菜(本務： " 野菜(本務： "

(2) 病虫害発生状況調査ほ調査員

防除所職員でカバーしきれない調査、予察灯管理等について、補完的業務を行うために設置。調査ならびに調査ほの管理については調査員が行う。

区 分	調 査 地 点	対 象 病 害 虫	備 考
普通作	岩美郡岩美町牧谷	イネ害虫	予察灯設置
	東伯郡琴浦町光好	〃	〃
	西伯郡日吉津村富吉	〃	〃
	東伯郡琴浦町槻下	ニカメイガ (イネ)	フェロモントラップ調査
	東伯郡琴浦町光好	斑点米カメムシ類 (イネ)	〃
	鳥取市河原町和奈見	ハスモンヨトウ (ダイズ)	〃
果 樹	八頭郡八頭町池田	ナシ病害虫	観察・フェロモントラップ調査
	東伯郡湯梨浜町北福	〃	〃
	鳥取市福部町湯山	ナシ害虫	フェロモントラップ調査
	八頭郡八頭町花原	〃	予察灯設置
	東伯郡湯梨浜町別所	〃	〃
野 菜 ・ 花 き	倉吉市下米積	コナガ (キャベツ)	フェロモントラップ調査
	西伯郡大山町赤坂	ハスモンヨトウ、コナガ (ブロッコリー)	〃
	倉吉市沢谷	イチゴ病害虫	観察
	東伯郡湯梨浜町橋津	〃	〃
	東伯郡湯梨浜町はわい長瀬	〃	〃
	米子市夜見町	シロイチモジヨトウ (ネギ)	フェロモントラップ調査

(3) 病虫害防除所及び関係機関の体制



Ⅱ 病虫害発生予察事業

1 事業の目的

農業生産の安定を確保し、生産物の品質を向上させるためには農作物の有害動植物の防除を適期に経済的に行う必要がある。そのため、有害動植物の繁殖、気象、農作物の生育状況などを調査して、その発育と損害を予察し、これに基づく情報を関係者に広く提供し、効率的な防除に資するとともに、農作物の有害動植物による損害を未然に防止することを目的とする。

2 事業実施方針

発生予察実施要綱並びに要領に基づき普通作物、果樹、野菜、花きの発生予察に必要な基礎調査と発生状況の把握を行い、的確な予察情報の提供に務める。

3 対象病虫害の種類

(1) 植物防疫法における指定有害動植物等の根拠規定

ア 指定有害動植物（指定病虫害）

植物防疫法第22条の規定に基づく病虫害
 （鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害60種類）

イ 指定有害動植物以外の有害動植物（重要病虫害）

植物防疫法第31条の規定に基づく病虫害
 （鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害52種類）

(2) 対象病虫害一覧表

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、ニカメイガ、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、トビイロウンカ、セジロウンカ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	ごま葉枯病、苗立枯病、心枯線虫病、イチモンジセセリ
	ムギ	うどんこ病、赤かび病	黒穂病、斑葉病、黒節病、網斑病
	ダイズ	吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ	紫斑病、モザイク病、子実害虫類（シロイチモジマダラメイガ、マメシクイガ）

区分	対象作物	指定病虫害	重要病虫害
果樹	ナシ	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類、ハダニ類、アブラムシ類	赤星病、うどんこ病、輪紋病、ニセナシサビダニ、コナカイガラムシ類（クワコナカイガラムシ、マツモトコナカイガラムシ）
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、アザミウマ類、カイガラムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類	うどんこ病、灰色かび病、樹幹害虫（ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ）
	ブドウ	灰色かび病、晩腐病、べと病	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハマキムシ類
野菜	スイカ	アブラムシ類	つる枯病、炭疽病、疫病、うどんこ病、菌核病、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）
	キャベツ	黒腐病、菌核病、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ、コナガ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	軟腐病、べと病、黒斑細菌病、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ブロッコリー	コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ	軟腐病、黒腐病、べと病、黒すす病、アブラムシ類、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ネギ	黒斑病、さび病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、シロイチモジヨトウ	萎縮病、軟腐病、白絹病、萎ちょう病、ネギハモグリバエ
	イチゴ	炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	
	ナガイモ	シロイチモジヨトウ	炭疽病、ナガイモコガ、カンザワハダニ
	ラッキョウ		白色疫病、灰色かび病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ

4 発生予察情報の種類と用語の使用法

(1) 根拠法令等

ア 発生予察情報の種類

植物防疫事業の運用について（平成18年4月7日17消安第12412号）

イ 用語の基準とその使用法

発生予察事業の調査実施基準（病害虫発生予察資料8 病害虫発生予察事業の実施について 平成13年3月 農林水産省生産局植物防疫課発行）

(2) 発生予察情報の種類

ア 発生予報：有害動植物の発生予想を定期的に発表するものとする。発表の時期及び回数については、農作物、有害動植物の性質等の考慮のうえ、防除に有効に利用されるよう定めるものとする。記載事項は、有害動植物名、有害動植物の発生時期、発生面積、発生程度、発生地域及びそれらの平年比、前年比、予報の根拠の概要、防除上注意すべき事項（防除の要否、回数、防除時期、使用薬剤等）、その他必要な事項とする。

イ 警報：重要な有害動植物が大発生することが予想され、かつ早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

ウ 注意報：警報を発表するほどではないが、重要な有害動植物が多発することが予想され、かつ早目に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

エ 特殊報：新規に有害動植物を発見した場合、重要な有害動植物の生態及び発生消長に特異な現象が認められた場合に速やかに発表するものとする。記載にあたっては、その内容により問題の重要性、意義等につき解説を加えるよう配慮するものとする。

(3) 用語の定義とその使用法

ア 発生面積：発生の認められるほ場の面積をいう。ただし、ここでいう発生とは、病害の場合には農作物に肉眼で認められる病徴の出現した状態のことをいい、害虫の場合にはほ場に生息している状態のことをいう。

イ 発生量：発生の程度と広がり両面を加味したものをいい、数値で（例えば、単位面積当たりの虫数）、又は（4）のイの（イ）のように表現する。

(4) 用語の基準とその使用法

ア 平年値

(ア) 気象上の観測値

気象庁では過去 30 年の観測値の平滑平年値をとっているため、これに準ずる。
30 年の資料がない場合には、全観測値の平均を平年値とする。

(イ) 病害虫の発生時期、発生量、発生面積

原則として、過去 10 か年の平均とする。

(ウ) 農作物の生育時期

原則として、過去 5 か年の平均とする。

イ 平年値との比較

(ア) 時 期

平 年 並	平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い	平年値より 3～5 日早い。
やや遅い	平年値より 3～5 日遅い。
早 　　い	平年値より 6 日以上早い。
遅 　　い	平年値より 6 日以上遅い。

(イ) 量（発生量、発生面積及び被害量等）

平 年 並	平年値を中心にして40%の度数の入る幅
やや多い	平年並の外側20%の度数の入る幅
やや少ない	同 上
多 　　い	上記三者の外側10%の度数の入る幅
少 　　い	同 上

ウ 半旬のとり方

半旬については、暦日半旬を用いるものとする。

エ 発生程度別基準

発生程度は、甚、多、中、少、無の 5 段階に分ける。この基準は各論で病害虫ごとに定める。

5 令和3年度に発表した情報

(1) 発表状況

種 類	発表回数	対 象 病 害 虫 及 び 回 数
警 報	発表なし	
注意報	3回	[野菜 (ネギ・ブロッコリー・キャベツ等)] ヨトウ類 (シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ) [ブロッコリー] ブロッコリー黒すす病 [カキ]カキ炭疽病
特殊報	1回	[サツマイモ (かんしょ)] サツマイモ基腐病
予 報	12回	[イネ] 葉いもち3回、穂いもち3回、紋枯病3回、苗立枯病2回、ばか苗病3回、イネシンガレセンチュウ2回、縞葉枯病(ヒメトビウンカ)3回、斑点米カメムシ類3回、イネミズゾウムシ3回、セジロウンカ2回、トビイロウンカ2回、コブノメイガ1回、フタオビコヤガ2回 [オオムギ] 赤かび病1回、うどんこ病1回、網斑病1回 [ダイズ] 紫斑病2回、カメムシ類2回、ハスモンヨトウ3回 [ナシ] 黒斑病8回、黒星病8回、赤星病2回、輪紋病2回、ハダニ類7回、カメムシ類3回、クワコナカイガラムシ2回、アブラムシ類2回、ニセナシサビダニ1回、シンクイムシ類5回 [カキ] 落葉病1回、炭疽病4回、うどんこ病1回、灰色かび病1回、カキノヘタムシガ2回、樹幹害虫 (ヒメコスカシバ・フタモンマダラメイガ) 2回 [ブドウ] ベと病4回、灰色かび病1回、チャノキイロアザミウマ2回、ハマキムシ類2回 [果樹共通] カメムシ類6回 [ネギ] さび病5回、黒斑病5回、軟腐病2回、べと病5回、白絹病2回、ネギハモグリバエ5回、ネギアザミウマ5回、シロイチモジヨトウ2回、ネギハモグリバエ・ネギアザミウマ1回 [ネギ・ナガイモ] シロイチモジヨトウ2回 [スイカ] つる枯病2回、うどんこ病3回、菌核病2回、褐色腐敗病・疫病1回、つる枯病・炭疽病2回、アブラムシ類3回、ハダニ類3回 [スイカ・メロン] アブラムシ類2回、ハダニ類1回 [ナガイモ] 炭疽病3回、ナガイモコガ2回、ハダニ類2回、シロイチモジヨトウ1回 [ラッキョウ] 灰色かび病1回、白色疫病2回 [イチゴ] うどんこ病3回、灰色かび病1回、炭疽病2回、アブラムシ類2回、ハダニ類2回 [キャベツ・ブロッコリー・イチゴ] ハスモンヨトウ2回 [キャベツ・ブロッコリー] 軟腐病2回、黒腐病2回、べと病2回、黒すす病2回、コナガ2回、ヨトウムシ1回、ハスモンヨトウ2回、アブラムシ類2回 [ブロッコリー] コナガ1回

(2) 内容

ア. 警報

発表なし

イ. 注意報

令和3年度病害虫発生予察注意報第1号（令和3年9月24日）

注意報の概要

9月下旬現在、フェロモントラップにおけるヨトウ類の誘殺数が多く、また、ネギ、ブロッコリー、キャベツ等のほ場では、食害及び卵塊が平年より多く確認されています。今後も発生に好適な気象条件が続くと予想されますので、防除を徹底して下さい。

病害虫名：ヨトウ類（シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ）

- 1 対象作物 野菜（ネギ、ブロッコリー、キャベツ等）
- 2 発生地域 県中西部
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い

5 注意報発表の根拠

- (1) 9月21日の病害虫巡回調査の結果、ネギ、キャベツ、ブロッコリーでヨトウ類の発生が多い。また、これらの卵塊が確認されるほ場数も多く、今後、被害の増加が予想される（表1）。

表1 ヨトウ類の発生状況（9月下旬）

作目	調査ほ場数	発生ほ場率	平均発生株率	卵塊発生ほ場率
ネギ	10	90.0%	32.4%	40.0%
キャベツ	5	80.0%	11.4%	0.0%
ブロッコリー	7	85.7%	13.1%	42.8%

- (2) これまでのヨトウ類のフェロモントラップの誘殺数は平年並～多く、今後、次世代の誘殺数が増加すると予想される（図1、図2）。

- (3) 向こう1か月の気象予報では、気温は高く、降水量は少ない～平年並と予想されており、今後もヨトウ類の活動に好適な条件になると予想される。

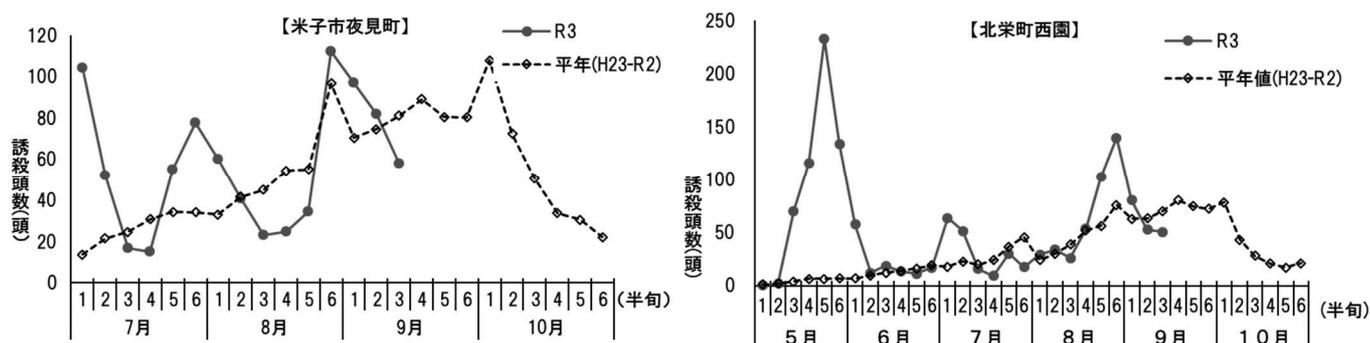


図1 フェロントラップによるシロイチモジヨトウの誘殺数（品目：白ネギ）

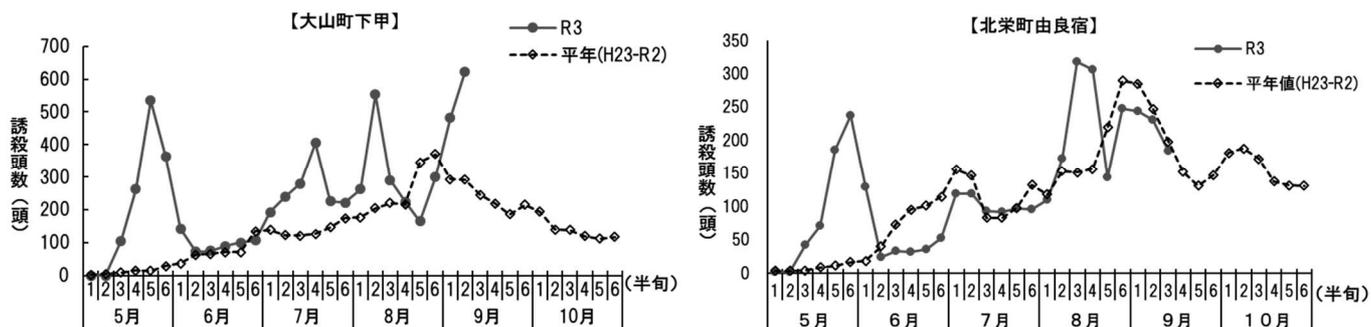


図2 フェロントラップによるハスモンヨトウの誘殺数 (品目：ブロッコリー)

6 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤の感受性が高い若齢幼虫期 (体長 1 cm 以下) に防除を行う。食害痕が見られ始める頃が防除適期である。
- (2) 食害痕は不整形の白斑となり、更にかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕が目立つ株に注意する。
- (3) 食害痕及び若齢幼虫の発生が見られた場合には、表 2、表 3 を参考に速やかに防除する。
- (4) 農薬の使用にあたっては、使用基準を遵守する。また、最新の農薬の登録内容は農林水産省の農薬登録情報提供システムで確認する (<https://pesticide.maff.go.jp/>)。

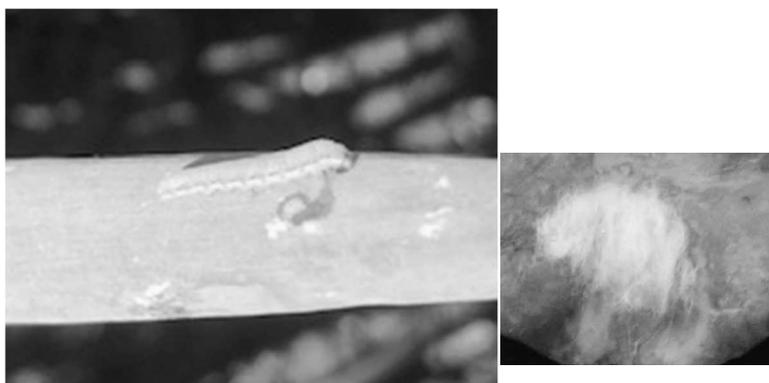


図3 シロイチモジヨトウの幼虫と卵塊

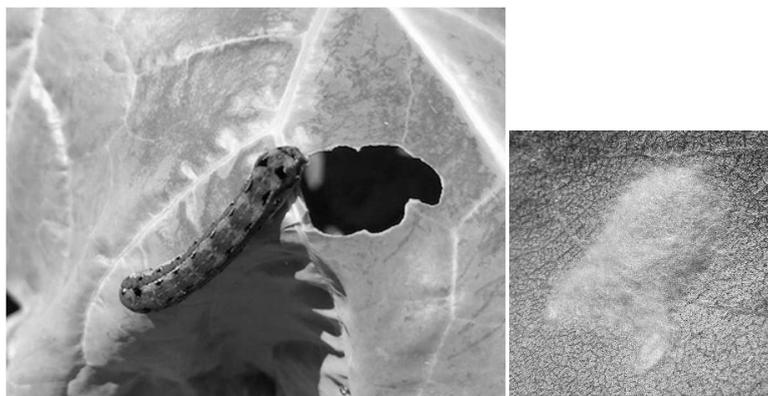


図4 ハスモンヨトウの幼虫と卵塊

表2 シロイチモジヨトウの主な防除薬剤と使用基準

作物名	農薬の名称	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード*	薬剤の系統
ネギ	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前まで	3回	5	スピノシン
	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日	2回		
	アフーム乳剤	1,000～2,000倍	収穫7日前まで	3回	6	マクロライド
	フローバックDF	1,000倍	発生初期 但し収穫前日まで	-	11A	BT
	マッチ乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	3回	15	IGR脱皮阻害
	ベネビアOD	2,000倍	収穫前日まで	3回	28	ジアミド
	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫3日前まで	3回		
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	3回		
	グレーシア乳剤	2,000倍～3,000倍	収穫7日前まで	2回	30	イソキサゾリン
プレオフロアブル	1,000倍	収穫3日前まで	4回	UN**	プロペニルオキシフェニル	

* 殺虫剤コード。殺虫剤の有効成分を作用点作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

表3 ハスモンヨトウの主な防除薬剤と使用基準

作物名	農薬の名称	希釈倍数	収穫前日数	本剤の使用回数	IRACコード*	薬剤の系統
ブロッコリー	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回	5	スピノシン
	フローバックDF	1,000倍	発生初期 但し収穫前日まで	-	11A	BT
	カスケード乳剤	4,000倍	収穫7日前まで	2回	15	IGR脱皮阻害
	ファルコンフロアブル	4,000倍	収穫3日前まで	2回	18	IGR脱皮促進
	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	収穫前日まで	2回	22B	その他
	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3回	28, 4A	ジアミド
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで	2回	28	ジアミド
	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回	30	イソキサゾリン
	プレオフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回	UN**	プロペニルオキシフェニル
キャベツ	ディアナSC	2,500～5,000倍	収穫前日まで	2回	5	スピノシン
	アニキ乳剤	1,000～2,000倍	収穫3日前まで	3回	6	マクロライド
	アタブロン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	4回	15	IGR脱皮阻害
	マトリックフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで	4回	18	IGR脱皮促進
	トルネードエースDF	2,000倍	収穫7日前まで	2回	22A	オキサジアジン
	アクセルフロアブル	1,000～2,000倍	収穫前日まで	3回	22B	その他
	フェニックス顆粒水和剤	2,000～4,000倍	収穫前日まで	3回	28	ジアミド
	グレーシア乳剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで	2回	30	イソキサゾリン
	プレオフロアブル	1,000倍	収穫7日前まで	2回	UN**	プロペニルオキシフェニル

* 殺虫剤コード。殺虫剤の有効成分を作用点作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

令和3年度病害虫発生予察注意報第2号（令和3年10月12日）

注意報の概要

10月中旬現在、県中西部においてブロッコリー黒すす病の発生量が多くなっています。今後も本病の発生に好適な気象条件が続くと予想されますので、防除を徹底してください。

病害虫名：ブロッコリー黒すす病

- 1 対象作物 ブロッコリー
- 2 発生地域 県中西部
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い
- 5 注意報発令の根拠

- (1) 10月中旬現在、県中西部のブロッコリーほ場において、ブロッコリー黒すす病の発生量が多い。
- (2) 現地圃場の巡回調査では、発生ほ場率*は100%（参考、10月下旬の発生ほ場率の平年値：44.0%）と高い。
*10地点調査（大山町4地点、琴浦町3地点、北栄町3地点）による発生ほ場率を示す。
- (3) 本病は、気温25℃付近が発病適温であり、多湿条件下で発生が多くなる。また、降雨と強風により発生が多くなるため、台風に伴う風雨によって発病が助長されやすい。
- (4) 向こう1か月の気象予報から、本病の発生量は多いと予想される。特に、現在本病の発生が見られているほ場では、今後の気象状況が本病の発生に好適な条件となる場合において、さらなる発生増加が懸念される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 現在、ブロッコリー生産圃場では出蕾中のものが多い。葉の病斑は花蕾への伝染源となるため防除を徹底する。
- (2) 防除薬剤は表1を参考とする。
- (3) 農薬使用にあたっては、使用基準を遵守する。



写真1 葉の発病



写真2 花蕾の発病（内部）



写真3 花蕾の発病（表面）

表1 ブロッコリー黒すす病に登録のある薬剤（登録内容は令和3年10月11日現在）

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	有効成分	FRACコード
アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ペンチオピラド	7
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	アゾキシストロビン	11
シグナムWDG	1500倍	収穫7日前まで	2回	ピラクロストロビン・ボスカリド	117
ファンタジスタ顆粒水和剤	3000倍	収穫3日前まで	3回	ピリベンカルブ	11
メジャーフロアブル	2000倍	収穫前日まで	3回	ピコキシストロビン	11
パレード20フロアブル	2000～4000倍	収穫前日まで	3回	ピラジフルミド	7
ホライズンドライフロアブル	2500倍	収穫前日まで	3回	シモキサニル・ファモキサドン	2711

令和3年度病害虫発生予察注意報第3号（令和3年10月15日）

注意報の概要

10月中旬現在、カキ炭疽病の発生量が多い園が認められている。今後、本病の発生に好適な気象条件となった場合、さらに発生量が増加することが予想されるため、防除対策を徹底する必要がある。

病害虫名：カキ炭疽病

- 1 対象作物 カキ
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 平年並
- 4 発生量 多い

5 注意報発表の根拠

- (1) カキ炭疽病の発生量が多く、‘富有’では被害の多い園が確認されている。
- (2) 本年はこれまで発生が問題とならなかった園においても、被害果が確認されている。
- (3) 現地発生園の発病果及び発病枝の病斑上に鮭肉色の分生子塊が多数形成されており（図1）、今後まとまった降雨があった場合、健全な果実への感染拡大が懸念される。
- (4) 向こう1か月の気象予報から、本病の発生に好適な条件となる可能性がある。

6 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場内をよく観察し、発病果および発病枝（図1）を切除して園外処分する。
- (2) 防除薬剤は表を参考とし、多発園では速やかに防除を実施する。
- (3) 既に収穫期となっている品種もあることから、薬剤防除にあたっては使用基準を遵守する。

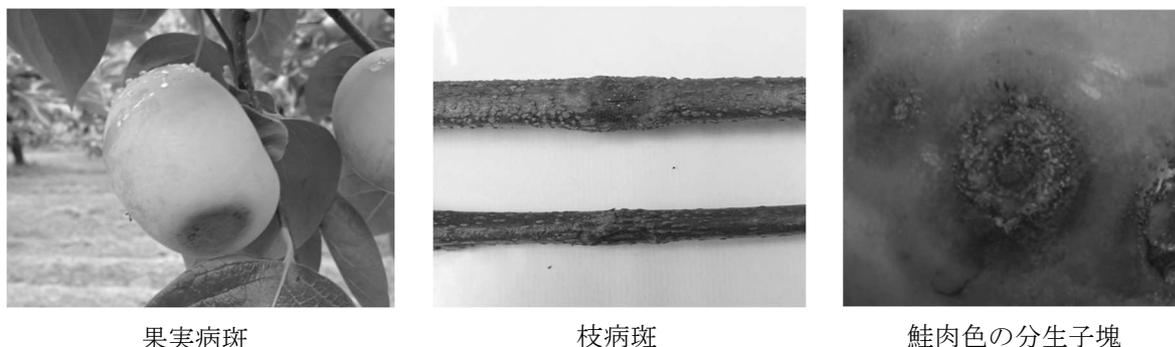


図1 カキ炭疽病

表 カキ炭疽病の主な防除薬剤と使用基準*

農薬の名称	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	FRAC コード**	薬剤のグループ名
トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	収穫前日まで	6回以内	1	MBC 殺菌剤
ベンレート水和剤	2,000～3,000倍	収穫前日まで	6回以内		
オンリーワンフロアブル	2,000～3,000倍	収穫前日まで	3回以内	3	DMI 殺菌剤
スコア顆粒水和剤	3,000倍	収穫前日まで	3回以内		
フルーツセイバー	1,500～2,000倍	収穫前日まで	3回以内	7	SDHI
ナリアWDG	2,000～3,000倍	収穫前日まで	2回以内	7、11	SDHI、 QoI 殺菌剤

*農薬の登録内容は令和3年10月15日現在

**FRACコードは殺菌剤の作用機構の分類を示す。

ウ. 特殊報

令和3年度病害虫発生予察特殊報第1号（令和3年10月7日）

- 1 病害虫名 サツマイモ基腐病（もとぐされびょう）
Diaporthe destruens (Harter) Hirooka, Minosh. & Rossman
- 2 作物名 サツマイモ（かんしょ）
- 3 発生確認の経過及び国内の発生状況
 - (1) 令和3年9月に県西部のサツマイモほ場において、生育不良で茎葉部の黄化や地際部の茎が黒変した株が確認された。黒変した茎の表面に柄子殻が形成され、柄子殻内に孢子が認められた。
 - (2) 当該ほ場より採取したサツマイモの茎と塊根について、農研機構植物防疫部門に診断を依頼した結果、本県では未発生であったサツマイモ基腐病と確認された。
 - (3) 本病は平成30年に沖縄県で初めて確認され、その後、鹿児島県、宮崎県、熊本県、福岡県、長崎県、高知県、静岡県、岐阜県、群馬県、茨城県、東京都、千葉県、岩手県、愛媛県、福井県、埼玉県、山形県、石川県及び北海道で発生が確認されている。
- 4 本病の病徴及び生態
 - (1) 発病すると茎の地際部が暗黒色から黒色に変色する（写真1、2）。その後、茎葉の枯死や地下部に形成された塊根のなり首側から腐敗する（写真3）。なお、収穫時に無病徴でも、収穫後の貯蔵中に腐敗することがある。
 - (2) 発病株の黒変部には多数の柄子殻（写真4）が形成され、降雨等により内部から大量の孢子が漏出する。孢子は、強風雨やほ場の停滞水により畝及び畝間に沿って拡散し、周辺の健全な株に感染する。
 - (3) 本菌の宿主植物はヒルガオ科植物のみで、主に罹病したサツマイモ塊根やつるで伝搬する。また、罹病残渣上で越冬し、翌年の伝染源になる。
- 5 防除対策
 - (1) ほ場に病原菌を侵入させないため、苗からの持ち込みを防止する。未消毒の購入苗は、本病に登録のある農薬で苗消毒を行う（表1）。採苗する場合、腐敗や傷のない健全な種いもを使用し、採苗当日に苗消毒する。
 - (2) 排水が不良な場所で発病しやすいため、ほ場の排水対策を十分に行う。
 - (3) 発病株（茎葉や塊根）は速やかに抜き取り、ほ場やその周辺に残さないように適切に処分する。
 - (4) 発病株の除去後に、周辺株への感染を予防するため薬剤散布する（表2）。
 - (5) 発生ほ場で使用した農機具や資材は、消毒や洗浄を十分に行う。
 - (6) 発生ほ場では残渣を適切に処分し、サツマイモの連作を避け、ヒルガオ科以外の作物で輪作を行う。
 - (7) 詳細な防除対策は、農研機構生研支援センター イノベーション創出強化研究推進事業（01020C）令和2年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」を参照する。
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/138589.html



写真1 発生株の株元の様子



写真2 茎地際部の黒変症状

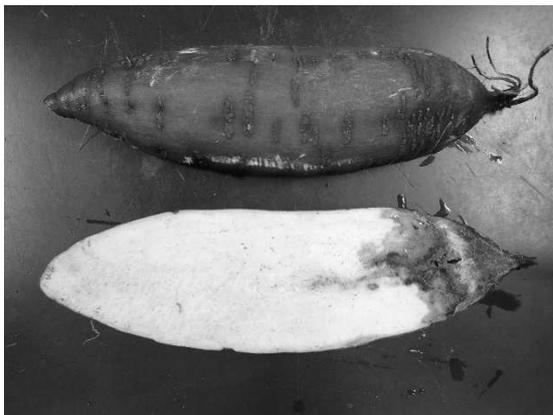


写真3 腐敗した塊根

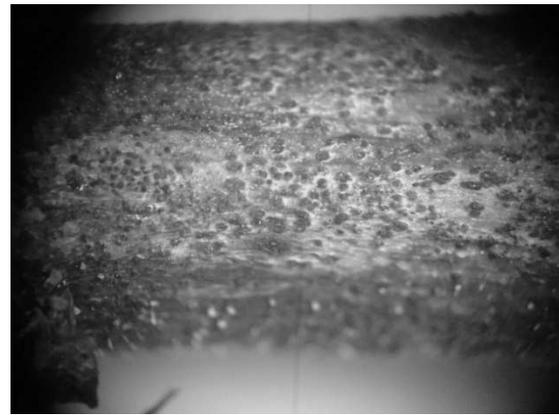


写真4 黒変部に形成された柄子殻

表1 サツマイモ基腐病に対する苗消毒剤と使用基準

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	RACコード
ベンレートT水和剤20	200倍	植付前	30分間さし苗基部浸漬	1回	F:1,M03
ベンレート水和剤	500～1,000倍	植付前	30分間苗基部浸漬	1回	F:1

表2 サツマイモ基腐病に対する茎葉散布剤と使用基準

農薬の名称	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	RACコード
ジーファイン水和剤	1,000倍	200～300L/10a	収穫前日まで	-	F:NC
アミスター20フロアブル	2,000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	3回	F:11
Zボルドー	500倍	100～300L/10a	-	-	F:M01

エ. 発生予報

号	発表日	普通作	果 樹	野 菜
1	令和3年 4月14日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネシン ガレセンチュウ） オオムギ（赤かび病、 うどんこ病、網斑 病）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、ハダニ類、 カメムシ類）	ラッキョウ（灰色かび病） ネギ（べと病、さび病） スイカ・メロン（アブラムシ 類）
2	令和3年 4月28日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネミズ ゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、ハダニ類、ア ブラムシ類、カメムシ 類） カキ（灰色かび病、樹幹 害虫（ヒメコスカシ バ、フタモンマダラメ イガ）） ブドウ（灰色かび病、 べと病）	ネギ（べと病、さび病、ネギハ モグリバエ・ネギアザミウ マ） スイカ（菌核病、つる枯病） スイカ・メロン（アブラムシ類、 ハダニ類）
3	令和3年 5月19日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 ハダニ類、ニセナシサ ビダニ、アブラムシ 類） 果樹共通（カメムシ類）	スイカ（菌核病、つる枯病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類） ネギ（べと病） ブロッコリー（コナガ）
4	令和3年 6月 2日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、アブラムシ 類、ニセナシサビダ ニ、シンクイムシ類） カキ（落葉病、炭疽病、 カキノヘタムシガ） ブドウ（べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類（チャノコ カクモンハマキ）	スイカ（つる枯病・炭疽病、 うどんこ病、アブラムシ類、 ハダニ類） イチゴ（育苗期）（うどんこ 病、炭疽病、アブラムシ類、 ハダニ類） ネギ（べと病、さび病、黒斑病、 ネギアザミウマ、ネギハモグ リバエ）
5	令和3年 7月 7日	イネ（葉いもち、穂 いもち、紋枯病、 縞葉枯病（ヒメト ビウンカ）、セジ ロウンカ、斑点米 カメムシ類、フタ オビコヤガ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、クワコナカイ ガラムシ、ハダニ類、 シンクイムシ類） カキ（炭疽病、樹幹害虫 （ヒメコスカシバ・ フタモンマダラメイ ガ）） ブドウ（べと病） 果樹共通（カメムシ類）	ネギ（さび病、黒斑病、白絹病、 軟腐病、ネギハモグリバエ、 ネギアザミウマ） スイカ（つる枯病・炭疽病、うど んこ病、褐色腐敗病・疫病、 アブラムシ類、ハダニ類） イチゴ（うどんこ病、炭疽病、 アブラムシ類、ハダニ類） ナガイモ（炭疽病）

号	発表日	普通作	果 樹	野 菜
6	令和3年 8月 4日	イネ (穂いもち、紋 枯病、セジロウン カ、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類、コブノメイ ガ、フタオビコヤ ガ) ダイズ (紫斑病、 ハスモンヨトウ、 カメムシ類)	ナシ (黒斑病、ハダニ類、 シンクイムシ類) カキ (うどんこ病、炭疽 病、カキノヘタムシガ) 果樹共通 (カメムシ類)	ネギ (軟腐病、白絹病、黒斑病、 ネギハモグリバエ、ネギアザ ミウマ、シロイチモジヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類、シロイチモジ ヨトウ) キャベツ・ブロッコリー (ハス モンヨトウ)
7	令和3年 8月25日	イネ (穂いもち、紋 枯病、トビイロウン カ、斑点米カメ ムシ類) ダイズ (紫斑病、ハ スモンヨトウ、カ メムシ類)	ナシ (シンクイムシ類、 ハダニ類) カキ (炭疽病) 果樹共通 (カメムシ類)	キャベツ・ブロッコリー・ イチゴ (ハスモンヨトウ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ)
8	令和3年 9月 8日	ダイズ (ハスモンヨト ウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 クワコナカイガラムシ、 シンクイムシ類、ハダ ニ類) カキ (炭疽病) ブドウ (べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類) 果樹共通 (ナシ・カキ・ ブドウ・リンゴ) (カメムシ類)	ネギ (黒斑病、ネギハモグリバ エ、ネギアザミウマ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類) キャベツ・ブロッコリー (べと 病、黒腐病、軟腐病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ヨトウムシ) キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ)
9	令和3年 10月 6日		ナシ (黒星病) 果樹共通 (ナシ・カキ・ リンゴ) (カメムシ 類)	キャベツ・ブロッコリー (軟腐 病、黒腐病、べと病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、 ハスモンヨトウ) ネギ (黒斑病、さび病、べと病、 ネギアザミウマ、ネギハモグリ バエ、シロイチモジヨトウ) ラッキョウ (ネギハモグリバエ)
10	令和3年 12月 1日			ラッキョウ (白色疫病、ネギハ モグリバエ) イチゴ (うどんこ病、灰色かび 病)
11	令和4年 2月 2日			ラッキョウ (白色疫病)
12	令和4年 3月 9日	イネ (ばか苗病、 イネシンガレセ ンチュウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、ハ ダニ類、カメムシ類)	ラッキョウ (白色疫病、ネギハ モグリバエ)

オ. 指導情報

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[イネ]	いもち病、 もみ枯細菌病 (苗腐敗症)	令和3年4月26日	育苗期の防除対策
	いもち病	令和3年6月25日	感染好適条件の出現状況及び防除対策
		令和3年7月9日	
		令和3年7月21日	
		令和3年8月4日	
		令和3年8月11日	
		令和3年8月20日	発生状況及び防除対策
斑点米カメムシ類	令和3年8月13日	発生状況及び防除対策	
[ダイズ]	ハスモンヨトウ	令和3年8月23日	発生状況及び防除対策
		令和3年9月9日	
		令和3年9月24日	
[ナシ]	黒斑病	令和3年4月27日	ポリ袋検定結果
		令和3年6月21日	発病状況及び防除対策
		令和3年7月26日	
		令和3年10月1日	
		令和4年2月28日	越冬菌密度調査結果
	黒斑病孢子飛散情報	令和3年4月1日	半旬毎の黒斑病菌孢子飛散状況
		令和3年4月6日	
		令和3年4月12日	
		令和3年4月16日	
		令和3年4月21日	
		令和3年4月27日	
		令和3年5月1日	
		令和3年5月6日	
		令和3年5月11日	
		令和3年5月17日	
		令和3年5月21日	
		令和3年5月27日	
		令和3年6月2日	
	令和4年3月26日		
	黒星病	令和3年4月6日	発生状況及び防除対策
令和3年5月14日			
令和3年6月21日			
令和3年7月9日			
		令和4年2月28日	腋花芽における病芽率

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[ナシ]	黒星病孢子飛散情報	令和3年4月1日	半旬毎の黒星病菌子のう孢子、分生子飛散状況
		令和3年4月6日	
		令和3年4月12日	
		令和3年4月16日	
		令和3年4月21日	
		令和3年4月27日	
		令和3年5月1日	
		令和3年5月6日	
		令和3年5月11日	
		令和3年5月17日	
		令和3年5月21日	
		令和3年5月27日	
		令和3年6月2日	
		令和4年3月22日	
		令和4年3月26日	
ニセナシサビダニ		令和3年5月17日	発生状況及び防除対策
		令和3年5月26日	
		令和3年6月4日	
		令和3年6月16日	
		令和3年6月29日	
クワコナカイガラムシ		令和3年4月26日	発生状況及び防除対策
		令和3年6月23日	
アブラムシ類		令和3年5月28日	発生状況
ハダニ類		令和3年7月30日	発生状況
		令和4年1月6日	越冬状況
カメムシ類		令和3年7月30日	巡回調査結果
[果樹共通]	カメムシ類	令和3年5月13日	予察灯及びフェロモントラップの誘殺状況
		令和3年5月24日	
		令和3年6月3日	
		令和3年6月16日	
		令和3年6月23日	
		令和3年7月6日	
		令和3年7月14日	
		令和3年7月26日	
		令和3年8月5日	
		令和3年8月13日	
		令和3年8月24日	
		令和3年8月27日	
		令和3年9月3日	
令和3年9月13日			

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[果樹共通]	カメムシ類	令和3年9月22日	予察灯及びフェロモントラップの誘殺状況
		令和3年10月6日	
		令和3年10月13日	
		令和3年10月26日	
		令和3年11月4日	
	クサギカメムシ	令和3年12月17日	越冬状況
[ダイズ・野菜]	ハスモンヨトウ	令和3年8月17日	発生状況及び防除対策
[野菜]	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ	令和3年5月27日	発生状況及び防除対策
		ツマジロクサヨトウ	
	ハスモンヨトウ	令和3年7月28日	
		令和3年9月13日	
	シロイチモジヨトウ	令和3年9月1日	
[スイカ]	うどんこ病	令和3年6月4日	発生状況及び防除対策
[ネギ]	疫病	令和3年7月9日	発生状況及び防除対策
[ネギ・ラッキョウ]	ネギハモグリバエ	令和3年10月27日	発生状況及び防除対策
		令和3年11月8日	
[ブロッコリー]	べと病	令和3年10月29日	発生状況及び防除対策

カ. ホームページのアクセス件数、更新回数

令和4年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	691	996	967	1,213	1,216	729	1,089	665	512	578	786	660	10,102
更新回数	12	15	12	10	12	11	10	4	2	1	2	3	94

(3) 情報の発送先とその伝達手段（令和3年度）

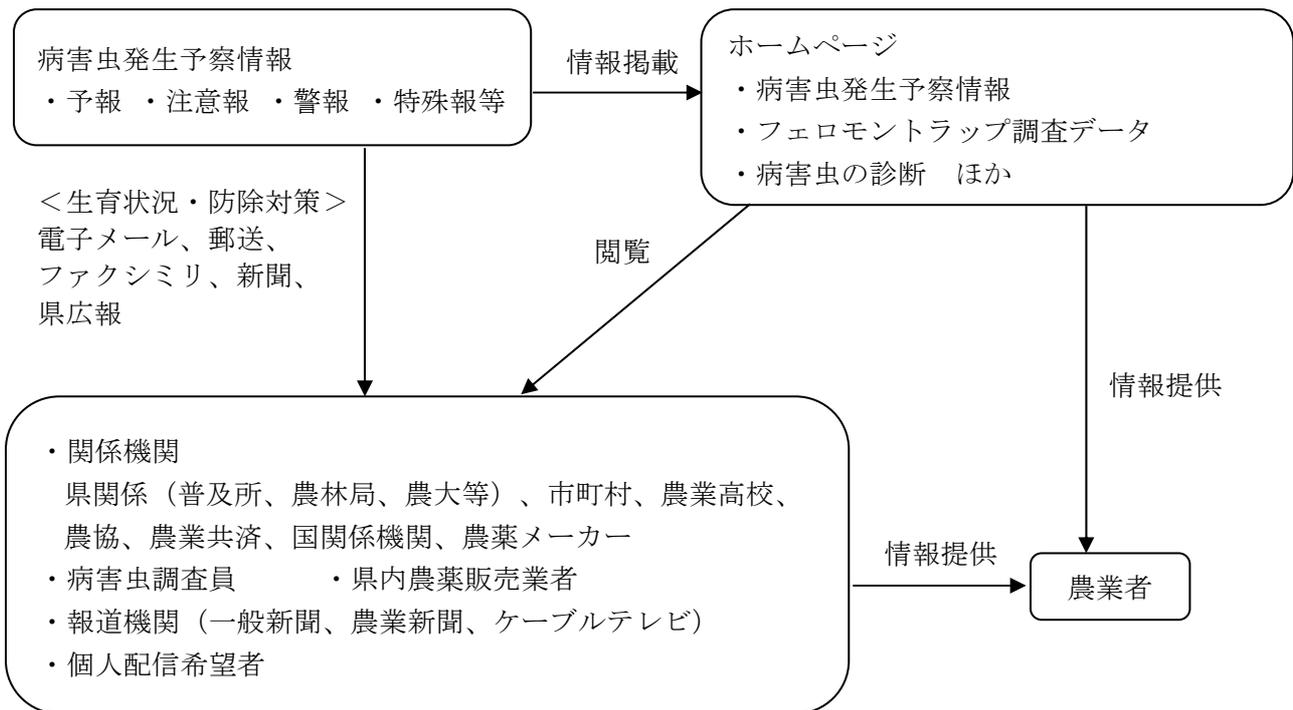
発 送 先	発送数	伝 達 手 段		
		A	B	C
県庁関係課（経営支援課、生産振興課等）	5	○		
農林事務所・総合事務所農林局 農(林)業振興課	5	○		
農業大学校	1	○		
農業高等学校	4	○		
市町村関係課	20	○		
国関係機関	5	○		○
農業協同組合	3	○		
県農業協同組合連合会（中央会、全農鳥取県本部）	2	○		
県農業共済組合	1	○		
県産米改良協会	1	○		
病虫害調査員	17		○	
個別配信				
農業改良普及所（所長、次長）	7	○		
経営支援課（専門技術員等）	7	○		
農業試験場（関係研究員）	4	○		
園芸試験場（関係研究員）	6	○		
農業協同組合等（各課、各営農センター等）	41	○		
鳥取大学	2	○		
農薬製造販売会社	16	○		
ケーブルテレビ放送会社	3	○		
新聞社	1	○		
情報配信希望者（農業者他）	28	○	○	
合 計	179			

注) (1) 発表した情報：病虫害発生予報、注意報、警報、特殊報、指導情報
 （上記以外の指導情報については、該当農業改良普及所に作目ごとに随時提供）

(2) 伝達手段

A：電子メール、B：郵送、C：植物防疫総合情報ネットワーク（JPP-NET）

(4) 情報発信の流れ図



・個人配信の希望者にはホームページ上から申し込んでもらい、登録後は希望アドレスに直接メールを配信。

6 普通作物病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率* (%)
				甚	多	中	少	計	
イネ	本年 12,400	葉いもち	本年	1	7	83	661	752	6.1
			平年	1	117	474	1997	2589	19.6
	平年 13,190	穂いもち	本年	1	3	83	1075	1162	9.4
			平年	4	22	167	1082	1275	9.7
	前年 12,800	紋枯病	本年	0	10	83	4877	4970	40.1
			平年	12	64	239	4891	5206	39.5
		白葉枯病	本年	0	0	0	2	2	0.0
			平年	0	0	0	0.8	0.8	0.0
		ばか苗病	本年	0	0	0	40	40	0.3
			平年	0	0	0	44	44	0.3
		心枯線虫病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		もみ枯細菌病	本年	0	0	0	21	21	0.2
			平年	0	1	1	244	246	1.9
		ごま葉枯病	本年	1	165	248	1075	1489	12.0
			平年	1	56	222	727	1006	7.6
		縞葉枯病	本年	0	0	0	1736	1736	14.0
			平年	0	0	42	1790	1832	13.9
		ニカメイガ 第1世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	91	91	0.7
		ニカメイガ 第2世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	72	72	0.5
		セジロウンカ	本年	0	0	0	3720	3720	30.0
			平年	0	0	339	7017	7356	55.8
		トビイロウンカ	本年	0	0	0	0	0	0.0
			平年	0	7	81	1500	1588	12.0
		ヒメトビウンカ	本年	0	0	0	3637	3637	29.3
			平年	0	9	682	9002	9693	73.5
		ツマグロヨコバイ	本年	0	0	0	5621	5621	45.3
			平年	0	77	634	6190	6901	52.3
	イチモンジセセリ	本年	0	0	0	0	0	0	
		平年	0	0	0	126	126	1.0	
	コブノメイガ	本年	0	0	0	164	164	1.3	
		平年	6	51	155	1924	2136	16.2	
	イネミズゾウムシ	本年	0	0	248	3063	3311	26.7	
		平年	0	0	227	3839	4066	30.8	
	斑点米カメムシ類	本年	0	321	1497	6414	8232	66.4	
		平年	146	647	2331	7051	10175	77.1	
	フタオビコヤガ	本年	0	0	0	331	331	2.7	
		平年	0	6	40	2194	2240	17.0	

作物名	作付面積 (ha)	病虫害名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率* (%)
				甚	多	中	少	計	
ムギ	本年	さび病類 (小さび病)	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	平年	うどんこ病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	3	5	4	12	11.4
	前年	赤かび病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.1	0.1	0.1
		斑葉病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.2	0.2	0.2
		黒穂病類	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		雲形病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		縞萎縮病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
	黒節病	本年	0	0	0	0	0	0	
		平年	0.2	0.3	1	2	4	3.8	
	網斑病	本年	0	0	27	62	89	100	
		平年	0	7	12	76	95	90.5	
ダイズ	本年	紫斑病	本年	0	0	21	146	167	25.0
			平年	0	0	10	189	199	27.9
	平年	モザイク病 (褐斑粒)	本年	0	0	0	125	125	18.7
			平年	0	0	2	128	130	18.2
	前年	ハスモンヨトウ	本年	0	19	204	315	538	80.7
			平年	29	41	100	421	591	82.9
	カメムシ類	本年	0	21	167	375	563	84.4	
		平年	11	63	209	379	662	92.8	

* 平年の面積率 = (発生程度別面積の平年値の計) / (作付面積の平年値) × 100

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. イネ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
苗立枯病 (平年並)	一部で発生が認められた。	育苗環境が不適切であった。
葉いもち (やや少ない)	本田における葉いもちの発生は、6月下旬頃から山間地等の常発地及び一部の平坦地において散見されたが、梅雨明け(7月13日頃)後は病勢が停滞した。 7月下旬の発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年:6.1%、平年:19.3%)。	本病弱抵抗性品種の作付割合が90%以上と高い。 全体としては苗いもちの発生が少なかったが、一部で発病苗の本田への持ち込みがみられた。 梅雨明けが7月13日頃と平年(7月19日頃)より早く、その後は高温で経過したため、感染に不適であった。
穂いもち (平年並)	山間地等の一部の常発地および一部の中生品種において、葉いもち発生ほ場を中心に穂いもちの発生がみられた。9月上旬の発生ほ場率は平年並であった(本年:9.4%、平年:9.4%)。	出穂期は平年並であった。 8月第2半句以降が曇雨天で経過したため、早生品種の一部および中生品種で感染に好適であった。また、穂ばらみ期から穂揃い期が長期化したため、感染可能期間も長くなった。
紋枯病 (平年並)	9月上旬の発生ほ場率は平年並であった(本年:40.1%、平年:39.5%)。 近年、発生地域間差、ほ場間差が大きくなっている。	6月中旬から梅雨明け(7月13日頃)までは曇雨天が続いたため、本病の水平進展が助長された。梅雨明け(7月13日頃)から8月第1半句は降雨日が少なかったため、一時的に病勢が停滞したが、8月第2半句から第6半句は高温多雨で経過したため、上位進展に好適であった。9月以降は気温が低下したため、その後の上位進展は緩慢であった。
白葉枯病 (平年並)	極一部で発生が認められた。	極一部ではほ場の浸冠水が認められた。
ばか苗病 (平年並)	一部で発生が認められた。 近年、問題となる大発生はないが、一部の糯米、酒米等で発生が散見されている。	JA から供給される温湯消毒種子の使用が大半であるが、酒米、糯米等では消毒時間が短いため、効果が不十分である。 一部の大規模農家の種子消毒が不適切であった。
心枯線虫病 (平年並)	発生は認められなかった。	前年の本種による葉先枯症状は認められなかったため、汚染率は低いと推察される。
もみ枯細菌病 (やや少ない)	中生品種を中心に発生が認められ、発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年:0.2%、平年:1.9%)。	本病が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
ごま葉枯病 (平年並)	中生品種を中心に発生が認められ、極一部の秋落ち症状が発生しやすい地域では、多発生ほ場も散見された。発生ほ場率は平年並であった(本年：12.0%、平年：7.8%)。近年、発生が増加傾向にある。	秋落ち症状が発生しやすい中生品種の栽培面積が約3割を占めている。近年、アシカキが伝染源となっているほ場も散見される。
縞葉枯病 (平年並)	発生ほ場率は14.0%(平年：14.2%)で、平年並の発生であった。発生の主体は中生品種栽培ほ場で、県中部地域を中心に本病が散見された。	ヒメトビウンカに対して高い効果を示す育苗箱施用剤が使用されたため、本虫の発生が少なかった。
ニカメイガ 第1世代 (平年並)	発生は認められなかった。	前年の第2世代幼虫の発生は認められなかった。
ニカメイガ 第2世代 (平年並)	発生は認められなかった。	第1世代幼虫の発生は認められなかった。
セジロウンカ (やや少ない)	予察灯への初誘殺は平年並(本年：7月5日、平年：7月6日)で、予察灯への誘殺数は少なかった。7月下旬の発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年：30.0%、平年：55.6%)。	飛来時期は平年並であったが、飛来量は平年より少なかった。
トビロウンカ (少ない)	巡回調査定点での発生は認められなかった。	予察灯への飛来量が平年より少なかった。
ヒメトビウンカ (少ない)	7月下旬の発生ほ場率は平年より低かった(本年：29.3%、平年：73.9%)。巡回調査定点において、中発生以上のほ場は確認されなかった。	近年、本種の発生量が多かった県中部全域において、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤が使用された。
ツマグロヨコバイ (やや少ない)	7月下旬の発生ほ場率は平年より低かったが(本年：24.7%、平年：51.3%)、9月上旬の発生ほ場率は45.3%(平年：52.3%)となり、最終的にはやや少ない発生となった。	近年、発生量は少なく推移している。
コブノメイガ (やや少ない)	9月上旬の発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年：1.3%、平年：16.6%)。	飛来量が平年より少なかった。
イネミズゾウムシ (やや少ない)	水田への成虫侵入盛期は平年並であった。6月中旬の発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年：26.7%、平年：30.9%)。	効果の高い育苗箱施用剤が県内全域で普及している。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
斑点米カメムシ類 (少ない)	<p>6～7月の予察灯への誘殺数は平年より少なかった。</p> <p>7月下旬～8月初めに穂揃い期を迎えたほ場では、発生ほ場率は87.8%（平年：93.8%）で平年よりやや低く、要防除水準を超えているほ場率は31.7%（平年：68.9%）で平年より低かった。すくい取り虫数は7.2頭（捕虫網25往復50回振り虫数、平年：22.6頭）で平年より少なかった。</p> <p>8月中旬の巡回調査定点における発生ほ場率は66.4%（平年：77.4%）で平年より低く、すくい取り虫数は4.3頭（捕虫網25往復50回振り虫数、平年：8.4頭）で平年より少なかった。</p>	<p>6月上旬～7月中旬の気象経過は本種の発生に不適であったこと、その後、畦畔の管理が徹底された。</p> <p>また、8月第2半句以降の天候不順により、雑草地等での増殖が緩慢となり、水田への飛来量も少なかったものと考えられる。</p>
フタオビコヤガ (少ない)	7月下旬の発生ほ場率は平年より低かった（本年：2.7%、平年：16.5%）。	本種の発生が多かった地域では、効果の高い育苗箱施用剤が使用された。

イ. ムギ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
うどんこ病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	本病に強い品種が導入されている。
赤かび病 (平年並)	発生は認められなかった。	出穂期が平年より早かった。 感染適期が低温で経過した。
黒穂病類 (平年並)	発生は認められなかった。	採種ほ場ではほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
黒節病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	採種ほ場ではほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。また、発病を助長する3～4月の霜害の発生がみられなかった。
大麦縞萎縮病 (平年並)	発生は認められなかった。	抵抗性品種が作付されている。
斑葉病 (平年並)	発生は認められなかった。	採種ほ場ではほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
網斑病 (平年並)	二条オオムギでは、発生ほ場率が100%と平年と同様に高く、上位葉の発生程度も平年並であった。	

ウ. ダイズ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
紫斑病 (平年並)	発生ほ場率は平年並（本年：25.0%、平年：28.3%）で、ほとんどが少発生ほ場であった。	本病に比較的強い品種が広く普及している。
モザイク病 (平年並)	発生ほ場率は18.8%（平年：17.8%）で、平年並の発生であった。	種子の保菌率が低率であったと推察される。また、アブラムシ類の防除が徹底された。
ハスモンヨトウ (平年並)	8～9月上旬のフェロモントラップ誘殺数は平年並～やや多かった。9月中旬の発生ほ場率は80.6%（平年：82.5%）で、最終的には平年並の発生となった。	9月以降、本種の発生に好適な条件で経過したが、常発地では防除が徹底された。
カメムシ類 (やや少ない)	一部で多発生ほ場が確認されたが、最終的な発生ほ場率は84.4%（平年94.3%）で、やや少ない発生となった。	基幹防除が行われた。

(3) 調査の概要と結果

ア. イネ

(ア) 調査地点

a. 県予察ほ場 鳥取市橋本

b. 一般ほ場

地区名	市町村名	発生程度別調査定点		ウンカ類追加調査地点
		巡回調査地点	程度別追加調査地点	
東部	鳥取市	嶋	賀露、朝月、河内	細川 下坂本 浦富
	〃 国府町	玉鉾	下原 小別所 古市 浦富 橋本	
	〃 福部町	栗谷		
	〃 気高町	重高		
	〃 鹿野町	奥崎		
	〃 青谷町	福和田		
	〃 河原町	鷹狩		
	〃 用瀬町	蒲生		
	〃 佐治町	池田		
	岩美町	徳丸		
	八頭町 (旧郡家町)	須澄		
	〃 (旧船岡町)	三田		
〃 (旧八東町)				
若桜町				
智頭町				
中部	倉吉市	小鴨	下米積、服部	石脇 曲 穂波 笠見
	〃 関金町	今西	北福 牧 米里	
	湯梨浜町 (旧羽合町)	長瀬		
	〃 (旧泊村)			
	〃 (旧東郷町)			
	三朝町			
	北条町			
	大栄町	瀬戸		
	琴浦町 (旧東伯町)	美好		
	〃 (旧赤碕町)	出上		
西部	米子市	東八幡	奈喜良、車尾	車尾、東八幡 富吉 下甲
	〃 淀江町	福岡	下鴨部 平 旧奈和 羽田井 下阿毘縁	
	境港市	原		
	南部町 (旧西伯町)	天万		
	〃 (旧会見町)	吉長		
	伯耆町 (旧岸本町)	二部、宇代		
	〃 (旧溝口町)			
	日吉津村	佐摩		
	大山町			
	〃 (旧名和町)			
	〃 (旧中山町)			
	江府町	洲河崎		
	日野町	黒坂		
日南町	矢戸、下石見			
調査地点数・ほ場数		巡回調査 30地点×3ほ場 程度別調査 30地点×5ほ場	程度別調査 20地点×5ほ場 (気象条件、発生状況 により実施の有無を判 断)	12地点×5ほ場 (予察灯への誘殺状況に より実施の有無を判断)
調査時期		6月上旬～中旬、 6月下旬 7月上旬～中旬 7月下旬～8月上旬、8月 中旬 7月下旬、9月上旬	7月下旬、9月上旬	8月下旬～9月上旬
調査項目		初期害虫、いもち病他、 カメムシ類	全般	ウンカ類

c. 予察灯

鳥取市橋本、岩美町牧谷、琴浦町光好、日吉津村富吉

(イ) 調査観察結果

a. イネの生育状況

第1表 県予察ほ場におけるイネの生育遅延状況

品種	生育遅延状況 (月. 日)		
	田植期 (平年比)	出穂期 (平年比)	収穫期
コシヒカリ (5.25植)	5.25 (±0)	8.4 (-1)	9.13
日本晴 (5.25植)	5.25 -	8.14 -	10.5

b. 病害の発生状況

(a) 県予察ほ場

第2表 県予察ほ場における葉いもち、穂いもちの発病状況

(無防除区)

品種	調査 月日	葉いもち						穂いもち		
		発病株率 (%)			病斑面積率 (%)			発病穂率 (%)		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.25植)	6.21	0	0	±0	0	0	±0	0.45	0.24	+0.21
	7.2	0	0	±0	0	0	±0			
	12	0	0.8	-0.8	0	0.00	±0			
	21	22.0	14.4	+7.6	0.04	0.03	+0.01			
	8.2	10.0	16.8	-6.8	0.02	0.04	-0.02			
日本晴 (5.25植)	6.21	0	-	-	0	-	-	1.71	-	-
	7.2	0	-	-	0	-	-			
	12	0	-	-	0	-	-			
	21	64.0	-	-	0.19	-	-			
	8.2	64.0	-	-	0.13	-	-			
	10	42.0	-	-	0.08	-	-			

注1) フェルテラチェス箱粒剤(50g/箱)。

第3表 県予察ほ場における紋枯病の発生状況

(無防除区)

品種	調査月日	発病株率 (%)			病斑高率 (%)			被害度			発病度		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.25植)	6.21				0	0	±0						
	7.2				0	0	±0						
	12				0	5.8	-5.8						
	21				19.4	18.2	+1.2						
	8.2				27.9	24.2	+3.7						
	10				31.4	32.0	-0.6						
	20				43.9	38.4	+5.5						
	31				49.4	48.6	+0.8						
	9.9	85.7	64.5	+21.2	53.5	56.9	-3.4	46.5	39.8	+6.7	45.1	39.7	+5.4
日本晴 (5.25植)	6.21				0	-	-						
	7.2				0	-	-						
	12				0	-	-						
	21				17.6	-	-						
	8.2				30.7	-	-						
	10				28.6	-	-						
	20				30.0	-	-						
	31				40.5	-	-						
	9.10				43.6	-	-						
	22				48.5	-	-						
	27	36.4	-	-	48.9	-	-	17.0	-	-	19.5	-	-

注1) フェルテラチエス箱粒剤(50g/箱)。

第4表 県予察ほ場における内穎褐変病(収穫後調査)、もみ枯細菌病(本田調査)の発生状況

品種	内穎褐変病 発病粗率 (%)				もみ枯細菌病 発病穂率 (%)
	濃い	薄い	しいな	計	
コシヒカリ (5.25植)	3.3	3.1	3.9	10.3	0.1
日本晴 (5.25植)	3.7	2.6	4.1	10.4	0.2

注) 内穎褐変病発病粗率は収穫後に無防除区を調査
(調査粒数は、コシヒカリ：約14,000粒、日本晴：約12,000粒)。

(b) 一般ほ場

第5表 一般ほ場におけるいもち病、ばか苗病、ごま葉枯病の発病状況

地区	月・ 半月	いもち病							ばか苗病							ごま葉枯病							
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計		
東 部	7・6	60	0	0	0	3	3	5.0	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	1	8	9	15.0	-	-	-	-	-	-	-	60	0	2	1	4	7	11.7	
中 部	7・6	30	0	0	1	4	5	16.7	30	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
	8・6	30	0	0	0	5	5	16.7	-	-	-	-	-	-	-	30	0	0	2	3	5	16.7	
西 部	7・6	60	0	0	0	1	1	1.7	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	6	6	10.0	
全 県	7・6	150	0	0	1	8	9	6.0	150	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	
	8・6	150	0	0	1	13	14	9.3	-	-	-	-	-	-	-	150	0	2	3	13	18	12.0	

注) いもち病は、7月は葉いもち、8月は穂いもち(早生品種主体)の調査。発生ほ場率は、地区毎の単純平均。

第6表 一般ほ場における紋枯病、縞葉枯病、白葉枯病の発病状況

地区	月・ 半旬	紋枯病							縞葉枯病							白葉枯病								
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)	調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)		
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			
東部	7・6	60	-	-	-	-	16	26.7	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	0	32	32	53.3	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0
中部	7・6	30	-	-	-	-	4	13.3	30	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	30	0	0	0	9	9	30.0	30	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0
西部	7・6	60	-	-	-	-	6	10.0	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	0	0	18	18	30.0	60	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0
全県	7・6	150	-	-	-	-	26	17.3	150	0	0	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	150	0	0	0	59	59	39.3	150	0	0	0	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0

第7表 一般ほ場におけるもみ枯細菌病の発病状況

地区	月・ 半旬	もみ枯細菌病						
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率 (%)
			甚	多	中	少	計	
東部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
中部	8・6	30	0	0	0	0	0	0
西部	8・6	60	0	0	0	0	0	0
全県	8・6	150	0	0	0	0	0	0

c. 害虫の発生状況

(a) 県予察ほ場

第8表 県予察ほ場におけるニカメイガフェロモントラップの半旬別誘殺数

世代	月	半旬					
		1	2	3	4	5	6
越冬世代成虫	4月	0	0	0	0	0	0
	5月	0	0	0	0	0	0
	6月	0	0	0	0	0	0
	7月	0	0	0	0	0	0
第1世代成虫	8月	0	0	0	0	0	0

第9表 県予察ほ場におけるセジロウンカ成幼虫の発消長 (25株払い落とし虫数)

調査月日	きぬむすめ (5.24植)					
	防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
7.1	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0.5	6.4	6.9
21	0	0	0	1.5	20.6	22.1
8.2	0	0	0	0	50.0	50.0
12	0.5	1.5	2.0	2.5	51.0	53.4
20	0	0	0	2.0	32.4	34.3

第10表 県予察ほ場におけるトビイロウンカ成幼虫の発消長 (25株払い落とし虫数)

調査月日	きぬむすめ (5.24植)					
	防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
7.1	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
21	0	0	0	0	0	0
8.2	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0

第11表 県予察ほ場におけるヒメトビウンカ成幼虫の発消長 (25株払い落とし虫数)

調査月日	きぬむすめ (5.24植)					
	防除区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
7.1	0	0	0	0	3.9	3.9
12	0	0	0	0	11.3	11.3
21	0	0	0	0	24.5	24.5
8.2	0	0	0	5.9	34.3	40.2
12	0	1.0	1.0	7.8	51.5	59.3
20	0	0	0	1.5	28.9	30.4

(b) 一般ほ場

第12表 一般ほ場におけるイネミズゾウムシの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネミズゾウムシ					発生ほ場率 (%)
			発生程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	
東部	6・3	60	0	0	0	10	10	16.7
中部		30	0	0	0	9	9	30.0
西部		60	0	0	3	18	21	35.0
全県		150	0	0	3	37	40	26.7

第13表 一般ほ場におけるセジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	セジロウンカ						トビイロウンカ						ヒメトビウンカ					
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	20	20	33.3	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	10	10	16.7
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	6	6	20.0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	13	13	43.3
	8・6	30	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	0	19	19	31.7	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	21	21	35.0
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	0	45	45	30.0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	44	44	29.3
	8・6	150	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-

第14表 一般ほ場におけるイネシガラセンチュウ、フタオビコヤガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	イネシガラセンチュウ						フタオビコヤガ						
			発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計		
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	8・6	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	8・6	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第15表 一般ほ場におけるニカメイガ、コブノメイガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ニカメイガ					コブノメイガ						
			発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	8・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

第16表 一般ほ場におけるツマグロヨコバイの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ツマグロヨコバイ					発生ほ場率(%)
			発病程度別ほ場数					
			甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	10	10	16.7
	8・6	60	0	0	0	26	26	43.3
中部	7・6	30	0	0	0	8	8	26.7
	8・6	30	0	0	0	14	14	46.7
西部	7・6	60	0	0	0	19	19	31.7
	8・6	60	0	0	0	28	28	46.7
全県	7・6	150	0	0	0	37	37	24.7
	8・6	150	0	0	0	68	68	45.3

第17表 フェロモントラップにおけるニカメイガ雄成虫の半旬別誘殺数

世代	月・半旬	琴浦町槻下	
		本年	平年
越冬世代	5・5	0	0.0
	5・6	0	0.0
	6・1	0	0.2
	6・2	0	0.3
	6・3	0	0.1
	6・4	0	0.5
	6・5	0	0.3
	6・6	0	0.3
	合計	0	1.7
第1世代	8・1	1	0.3
	8・2	0	0.1
	8・3	0	0.0
	8・4	0	0.2
	8・5	0	0.6
	8・6	0	1.7
	合計	1	2.9

第18表 一般ほ場における斑点米カメムシ類の発生状況（8月11日～9月7日調査）

地区名	市町村名	地点名	斑点米カメムシ類の種類								合計
			アカシメ カシミカメ	ホソミドリ カシミカメ類	ホソハリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	クモハリ カメムシ	シラホシ カメムシ	ムギ カシミカメ	その他	
東部	鳥取市	嶋	4.3	0	0	0.3	0.3	0	0	0	4.9
	〃 国府町	玉鉾	0.3	0	0	0.3	0	0	0	0	0.6
	〃 福部町	栗谷	0	0	0	0	0.5	0	0	0.3	0.8
	〃 気高町	重高	5.8	0	0	0	1.3	0	0	0.3	7.4
	〃 青谷町	奥崎	16.0	0	0	0	4.8	0	0	0	20.8
	〃 河原町	福和田	5.0	0	0	0	1.5	0	0.3	0	6.8
	〃 用瀬町	鷹狩	1.8	0	0	0	0	0	0	0	1.8
	岩美町	蒲生	1.3	0	0	0.5	0	0	0	0	1.8
	八頭町(旧郡家町)	池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	〃 (旧八東町)	徳丸	1.0	0.8	0	0.3	0.8	0	0	0	2.9
	若桜町	須澄	1.3	1.5	0	0.3	0	0	0	0	3.1
智頭町	三田	5.8	0	0.5	0	8.5	0	0.3	0	15.1	
中部	倉吉市	小鴨	1.0	0	0	0	1.0	0	0	0	2.0
	〃 関金町	今西	1.5	0	0	0	0	0	0.3	0	1.8
	湯梨浜町(旧羽合町)	長瀬	1.3	0	0	0	0.3	0	0.3	0	1.9
	北栄町	瀬戸	0.3	0	0	0	0.3	0	0	0	0.6
	琴浦町(旧東伯町)	美好	9.3	0	0.3	0	0.8	0	0.3	0	10.7
	〃 (旧赤碕町)	出上	5.3	0	0	0	0.3	0	0.5	0	6.1
西部	米子市	東八幡	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0.5
	〃 淀江町	福岡	1.0	0	0	0	0	0	0	0	1.0
	南部町(旧西伯町)	原	9.3	0	0	0.3	6.5	0	0	0.8	16.9
	〃 (旧会見町)	天万	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	伯耆町(旧岸本町)	吉長	0	0	0	0	0.8	0	0	0	0.8
	〃 (旧溝口町)	二部	6.0	0	0	0	0.8	0	0	0	6.8
	大山町	佐摩	2.3	0.5	0	0	1.3	0	0	0	4.1
	江府町	洲河崎	2.5	0	0.3	0.3	0	0	0	0	3.1
	〃	黒坂	0.3	0.3	0	0.5	0	0	0	0	1.1
	日南町	矢戸	2.3	0.3	0	0.5	0	0	0.3	0.3	3.7
〃	下石見	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0.8	
東部	虫数 (頭)		3.6	0.2	0.0	0.1	1.5	0	0.1	0.1	5.5
	発生ほ場率 (%)		60.4	8.3	6.3	10.4	36.1	0	4.2	4.2	68.8
中部	虫数 (頭)		3.1	0	0.1	0	0.5	0	0.2	0	3.9
	発生ほ場率 (%)		62.5	0	4.2	0	25.0	0	16.7	0	66.7
西部	虫数 (頭)		2.3	0.1	0.0	0.1	0.9	0	0.0	0.1	3.5
	発生ほ場率 (%)		52.3	9.1	2.3	13.6	18.2	0	2.3	6.8	63.6
県平均 R3年	虫数 (頭)		2.9	0.1	0.0	0.1	1.1	0	0.1	0.1	4.4
	発生ほ場率 (%)		57.8	6.9	4.3	9.5	23.3	0	6.0	4.3	66.4

注) 捕虫網25往復50回振りすくい取り平均成幼虫数

(c) 予察灯

第19表 予察灯におけるニカメイガ成虫誘殺状況

項目	地 点								
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
越冬世代成虫	初飛来日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	-	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	-	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	0	0.9	0	0	0	0
	性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	-	-	-	-
第1世代成虫	初飛来日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	-	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	-	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	-	-	-	-

注) -は値がない、または総誘殺数10頭以下の年が過去10年間の内、5年以上ある場合

第20表 予察灯におけるセジロウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	7月7日	7月15日	7月5日	7月2日	7月6日	7月9日	7月6日	6月28日
最盛半旬	9月1半旬	8月6半旬	8月5半旬	8月4半旬	10月第3半旬	8月6半旬	7月2半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	22	22.1	82	225.8	90	140.4	95	305.3
終息日	9月30日	10月4日	9月24日	10月12日	10月20日	10月9日	10月11日	10月14日
誘殺日数(日)	13	19.4	22	46.3	39	35.1	31	51.1
総誘殺数(頭)	32	54.5	227	560.5	361	293.0	157	585.6
性比(♀/(♀+♂))	0.22	0.357	0.26	0.36	0.51	0.40	0.39	0.34

第21表 予察灯におけるトビロウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	-	9月11日	-	7月31日	10月20日	8月17日	10月12日	8月9日
最盛半旬	-	9月2半旬	-	9月4半旬	10月第4半旬	10月1半旬	10月3半旬	9月5半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	-	15.0	-	61.3	((1))	25.0	((1))	69.0
終息日	-	10月14日	-	10月5日	10月20日	10月5日	10月12日	9月29日
誘殺日数(日)	0	4.2	0	14.9	1	1.6	1	7.2
総誘殺数(頭)	0	8.6	0	127.1	1	8.1	1	43.6
性比(♀/(♀+♂))	-	0.425	-	0.472	((0))	0.87	((0))	0.44

注) (())内数値は、誘殺数が10頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値

第22表 予察灯におけるヒメトビウンカ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	9月3日	7月19日	4月21日	7月9日	8月12日	7月9日	7月1日	6月22日
最盛半旬	9月1半旬	8月6半旬	10月3半旬	9月1半旬	10月第3半旬	8月5半旬	7月4半旬	8月6半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	((5))	44.1	(11)	38.0	((5))	6.2	((3))	14.7
終息日	10月14日	9月25日	10月12日	10月2日	10月12日	9月17日	7月17日	9月29日
誘殺日数(日)	7	15.2	11	28	5	9.4	3	24.3
総誘殺数(頭)	8	59.3	27	104.7	8	15.6	4	56.6
性比(♀/(♀+♂))	((0.75))	0.33	(0.63)	0.36	((0.88))	0.38	((0.25))	0.35

注) () 及び(())内数値は、誘殺数が30頭又は10頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値

第23表 予察灯におけるツマグロヨコバイ成虫誘殺状況

項目	地 点							
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
初飛来日	—	7月2日	7月14日	6月17日	6月28日	6月24日	7月17日	6月19日
最盛半旬	—	8月3半旬	9月4半旬	9月1半旬	7月第6半旬	8月4半旬	9月4半旬	8月4半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	—	100.0	15	1676.3	47	495.9	11	101.9
終息日	—	9月16日	9月26日	10月1日	9月13日	9月25日	9月21日	9月20日
誘殺日数(日)	0	17.1	23	52.9	34	55.2	16	35.4
総誘殺数(頭)	0	182.1	58	2956.7	123	1181.9	39	267.7
性比(♀/(♀+♂))	—	0.41	0.24	0.47	0.32	0.47	0.31	0.21

第24表 予察灯によるニカメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—	↑	—		—
	2	0	0		—		—	—	
	3	0	0		—		—	—	
	4	0	0		—		—	—	
	5	0	0	0	0		0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	
	小計	0	0	0	0		0	0	0
5	1	0	0	0	0	↓	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0.9		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0.9		0	0	0
6	1	0	0	0	0	↓	0	↑ ↓	0
	2	0	0	0	0		0		0
	3	0	0	0	0		0		0
	4	0	0	0	0		0		0
	5	0	0	0	0		0		0
	6	0	0	0	0		0		0
	小計	0	0	0	0		0		0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	1	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1	0	0	0	0	0
8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	1	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1	0.1	0	0	0	0
9	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	2.0	1.0	0	0	0	0

第25表 予察灯によるセジロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉			
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
4	1	0	0		—	↑ 欠測	—		—		
	2	0	0		—		—		—		
	3	0	0		—		—		—		
	4	0	0		—		—		—		
	5	0	0	0	0		0	0	0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0		0	0	0	0	
5	1	0	0	0	0	↓ 欠測	0	0	0		
	2	0	0	0	0		0	0	0		
	3	0	0	0	0		0	0	0		
	4	0	0	0	0.1		0	0	0	0	
	5	0	0	0	0.1		0	0	0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	0	0.2	
	小計	0	0	0	0.2		0	0	0	0.2	
6	1	0	0	0	0	↑ 欠測	0	↑ 欠測	0.2		
	2	0	0	0	0.1		0		0		
	3	0	0	0	0		0.2		0	0.5	
	4	0	0	0	0		0		0.2	0	1.3
	5	0	0.1	0	0.1		0		1.2	0	1.5
	6	0	0.2	0	0.6		0		0.1	0	5.0
	小計	0	0.3	0	0.8		0		1.7	0	8.5
7	1	0	0.9	1.0	3.3	0	3.2	0	18.4		
	2	1.0	0.6	5.0	14.5	51.0	2.2	95.0	4.0		
	3	0	1.4	1.0	16.2	4.0	4.0	7.0	14.2		
	4	0	0.1	0	2.5	0	5.6	0	6.7		
	5	0	0.3	0	7.7	0	2.6	0	9.5		
	6	0	0.2	0	47.5	0	14.3	0	21.2		
	小計	1.0	3.5	7.0	91.7	55.0	31.9	102.0	74.0		
8	1	0	0.5	0	17.4	3.0	7.1	3.0	10.8		
	2	0	2.7	0	27.8	1.0	29.7	5.0	16.2		
	3	0	4.1	1.0	22.9	13.0	11.4	1.0	12.4		
	4	0	8.8	3.0	90.5	5.0	75.1	7.0	41.7		
	5	0	3.6	7.0	40.7	1.0	20.5	3.0	31.2		
	6	6.0	4.7	82.0	81.9	0	29.9	24.0	124.1		
	小計	6.0	24.3	93.0	281.2	23.0	173.7	43.0	236.4		
9	1	22.0	2.9	79.0	45.5	164.0	15.2	0	22.2		
	2	0	5.4	40.0	40.9	3.0	17.9	3.0	25.3		
	3	1.0	7.8	7.0	37.8	5.0	19.4	8.0	37.6		
	4	0	2.5	0	35.0	0	16.8	0	19.3		
	5	0	6.1	1.0	13.4	0	3.9	0	146.3		
	6	2.0	0.5	0	4.1	1.0	3.3	0	9.4		
	小計	25.0	25.2	127.0	176.7	173.0	76.6	11.0	260.2		
10	1	0	0.8	0	5.4	0	2.8	0	3.4		
	2	0	0.1	0	1.3	16.0	3.4	0	2.7		
	3	0	0.1	0	0.9	90.0	2.0	1.0	0.8		
	4	0	0.1	0	0.3	4	0.2	0	0.6		
	5	0	0.1	0	2.1	0	0.9	0	0.1		
	6	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	0	1.2	0	10.0	110.0	9.3	1.0	7.6		
合計		32.0	54.5	227.0	560.5	361.0	293.1	157.0	586.9		

第26表 予察灯によるトビロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉			
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
4	1	0	0		—	↑ 欠測	—		—		
	2	0	0		—		—		—		
	3	0	0		—		—		—		
	4	0	0		—		—		—		
	5	0	0	0	0		0	0	0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	0	0	
	小計	0	0	0					0	0	
5	1	0	0	0	0	↓ 欠測	0	0	0		
	2	0	0	0	0		0	0	0		
	3	0	0	0	0		0	0	0		
	4	0	0	0	0		0	0	0		
	5	0	0	0	0		0	0	0		
	6	0	0	0	0		0	0	0		
	小計	0	0	0	0			0	0	0	
6	1	0	0	0	0.1	↑ 欠測	0	↑ 欠測	0		
	2	0	0	0	0		0		0		
	3	0	0	0	0		0		0		
	4	0	0	0	0		0		0		
	5	0	0	0	0.2		0		0	0.1	
	6	0	0	0	0.8		0		0.1	0	0.3
	小計	0	0	0	1.1		0		0.1	0	0.4
7	1	0	0.1	0	0.9	0	0	0	0		
	2	0	0	0	1.0	0	0	0	0.8		
	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0.4	0	0	0	1.0		
	5	0	0.1	0	0.6	0	0	0	0		
	6	0	0.4	0	1.3	0	0	0	0		
	小計	0	0.6	0	4.2	0	0	0	1.8		
8	1	0	0	0	1.3	0	0	0	0.9		
	2	0	0.2	0	14.1	0	0	0	1.2		
	3	0	0.4	0	3.7	0	0	0	0.3		
	4	0	0.2	0	3.2	0	0	0	0.6		
	5	0	0.7	0	6.0	0	0.6	0	0.1		
	6	0	0.2	0	5.5	0	0	0	1.3		
	小計	0	1.7	0	33.8	0	0.6	0	4.4		
9	1	0	0.6	0	26.1	0	1.0	0	3.1		
	2	0	1.9	0	3.7	0	0.4	0	3.7		
	3	0	1.7	0	16.2	0	0	0	1.7		
	4	0	1.6	0	20.5	0	0	0	0.1		
	5	0	0	0	3.2	0	0	0	3.0		
	6	0	0	0	4.6	0	1.0	0	1.3		
	小計	0	5.8	0	74.3	0	2.4	0	12.9		
10	1	0	0.1	0	1.3	0	0	0	2.6		
	2	0	0.1	0	8.7	0	4.6	0	18.9		
	3	0	0.2	0	3.5	0	0.4	1.0	2.3		
	4	0	0	0	0	1	0	0	0		
	5	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0		
	小計	0	0.5	0	13.7	1.0	5.1	1.0	23.8		
合計		0	8.6	0	127.1	1.0	8.2	1.0	43.3		

第27表 予察灯によるヒメトビウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—	↑ 欠測	—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	1.0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	1.0	0		0	0	0
5	1	0	0	0	0	↓ 欠測	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0.1
	6	0	0.1	0	0		0	0	0.2
	小計	0	0.1	0	0		0	0	0
6	1	0	0	0	0	↑ 欠測	↓ 欠測	0	0
	2	0	0	0	0.3			0	0.2
	3	0	0	0	0.1			0	0.2
	4	0	0	0	0			0	0.5
	5	0	0	0	0.1			0	0.7
	6	0	0.6	0	0.4			0	0.2
	小計	0	0.6	0	0.9			0	0.5
7	1	0	1.1	0	0.2	0	0.1	1.0	0.4
	2	0	0.2	0	0.5	0	0	0	0.8
	3	0	0.1	0	0.5	0	0.2	0	0.9
	4	0	0.3	0	1.4	0	0.7	3.0	2.0
	5	0	0.1	0	1.8	0	1.1	0	1.3
	6	0	0.2	0	0.8	0	1.3	0	3.0
	小計	0	2.0	0	5.2	0	3.4	4.0	8.4
8	1	0	0.1	0	1.2	0	0.8	0	2.2
	2	0	0.3	0	4.5	0	0.7	0	2.8
	3	0	0.6	1.0	2.4	1.0	0.7	0	2.1
	4	0	1.9	0	9.4	1.0	2.4	0	7.6
	5	0	3.5	0	22.1	0	2.6	0	12.6
	6	0	3.5	0	14.3	0	0.7	0	4.6
	小計	0	9.8	1.0	53.9	2.0	7.8	0	31.8
9	1	5.0	2.1	8.0	6.4	0	1.2	0	3.1
	2	0	2.3	3.0	10.3	0	1.1	0	1.9
	3	0	36.1	1.0	15.4	1.0	0.7	0	2.9
	4	0	3.0	0	6.7	0	0.2	0	1.8
	5	0	1.3	1.0	2.9	0	0.4	0	2.0
	6	0	1.0	0	1.5	0	0	0	0.6
	小計	5.0	45.8	13.0	43.2	1.0	3.7	0	12.2
10	1	0	0.8	0	0.8	0	0	0	0.8
	2	1.0	0	1.0	0.3	0	0.1	0	0.2
	3	2.0	0.1	11.0	0.2	5.0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3.0	0.9	12.0	1.4	5.0	0.1	0	1.1
合計		8.0	59.2	27.0	104.6	8.0	15.5	4.0	55.6

第28表 予察灯によるツマグロヨコバイ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉			
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
4	1	0	0		—	↑	—		—		
	2	0	0		—		—	—			
	3	0	0		—		—	—			
	4	0	0		—		—	—			
	5	0	0	0	0		0	0	0		
	6	0	0	0	0		0	0	0		
	小計	0	0	0	0		0	0	0	0	
5	1	0	0	0	0	↓	0	0	0		
	2	0	0	0	0		0	0	0.1		
	3	0	0	0	0		0	0	0.1		
	4	0	0	0	0.1		0	0	0		
	5	0	0	0	0		0	0	0		
	6	0	0	0	0		0	0	0		
	小計	0	0	0	0.1		0	0	0	0.2	
6	1	0	0	0	0	↓	0	↑	0		
	2	0	0	0	0.3		0		0.1		
	3	0	0	0	1.1		0.3		0	1.2	
	4	0	0.1	0	0.6		0		0.1	0	2.4
	5	0	0.4	0	0.6		0		0.5	0	9.1
	6	0	0.1	0	0.9		4.0		0.8	0	24.6
	小計	0	0.6	0	3.5		4.0		1.7	0	37.4
7	1	0	1.1	0	1.3	5.0	6.4	0	14.1		
	2	0	2.2	0	5.9	0	12.3	0	12.5		
	3	0	3.5	1.0	15.2	1.0	26.9	0	7.0		
	4	0	5.6	3.0	43.1	8.0	28.8	1.0	5.9		
	5	0	13.7	0	156.8	18.0	68.7	0	35.7		
	6	0	58.8	1.0	114.9	47.0	143.6	0	57.4		
	小計	0	84.9	5.0	337.2	79.0	286.7	1.0	132.6		
8	1	0	32.1	0	70.6	20.0	140.6	2.0	36.1		
	2	0	8.4	6.0	67.6	13.0	99.6	1.0	9.4		
	3	0	2.1	0	17.2	1.0	26.1	0	1.6		
	4	0	0.8	0	29.3	0	43.7	0	2.7		
	5	0	1.6	1.0	41.2	1.0	11.6	1.0	4.9		
	6	0	8.5	11.0	169.4	1.0	21.8	8.0	10.3		
	小計	0	53.4	18.0	395.3	36.0	343.2	12.0	65.0		
9	1	0	2.8	5.0	229.3	1.0	24.7	1.0	7.0		
	2	0	19.5	7.0	477.4	1.0	56.9	4.0	5.4		
	3	0	16.5	0	1422.9	2.0	398.2	8.0	5.8		
	4	0	4.1	15.0	45.9	0	56.1	11.0	11.1		
	5	0	0.3	8.0	21.3	0	12.6	2.0	0.7		
	6	0	0	0	10.4	0	1.3	0	1.0		
	小計	0	43.2	35.0	2207.2	4.0	549.8	26.0	31.0		
10	1	0	0	0	3.9	0	0.1	0	0.1		
	2	0	0	0	8.3	0	0.2	0	0.1		
	3	0	0	0	1.3	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	0	0	0	13.5	0	0.3	0	0.2		
合計		0	182.1	58.0	2956.8	123.0	1181.8	39.0	266.5		

第29表 予察灯によるイネミズゾウムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—	↑ 欠測	—		—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0		0	0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0	0
5	1	0	0.1	0	0	↓ 欠測	0	0	0	
	2	0	0	0	0		0	0	0	
	3	1.0	0	0	0.3		0	0	0	
	4	0	0	0	0.7		0	0	0	
	5	0	0.1	0	1.1		0	1.0	0.3	
	6	0	0.2	0	0.3		0	0	0	
	小計	1.0	0.4	0	2.4		0	1.0	0.3	
6	1	0	0	0	0.1	↑ 欠測	0	0		
	2	0	0.2	0	0		0	0		
	3	1.0	0.2	0	0.2		0	0		
	4	0	0	0	0		0	0	0.1	
	5	1.0	0.2	0	0		0	0	0	
	6	0	0	1.0	0		0	0	0	
	小計	2.0	0.6	1.0	0.3		0	0	0.1	
7	1	0	0	0	0.1	0	0	0		
	2	1.0	0	0	0	3.0	0	0		
	3	0	0.1	0	0	1.0	0	0		
	4	0	0	0	0	4.0	0	0		
	5	0	0	0	0.1	0	0.1	0		
	6	0	0.3	0	0.6	3.0	0.2	0		
	小計	1.0	0.4	0	0.8	11.0	0.3	0		
8	1	0	0.6	0	0.4	0	0.4	0		
	2	0	0.2	0	0.1	0	0.6	0		
	3	2.0	0.7	0	0.2	0	0.4	1.0		
	4	1.0	0.2	0	0.1	0	0.1	1.0		
	5	0	0	0	0.1	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	3.0	1.7	0	0.9	0	1.6	2.0		
9	1	0	0.2	0	0	0	0.1	0		
	2	0	0	0	0	0	0	0		
	3	0	0	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	0	0.2	0	0	0	0.1	0		
10	1	0	0	0	0	0	0	0		
	2	0	0	0	0	0	0	0		
	3	0	0	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0		
合計		7.0	3.3	1	4.4	11.0	2.0	3.0	0.7	

第30表 予察灯によるコブノメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—	↑	—		—
	2	0	0		—		—	—	
	3	0	0		—		—	—	
	4	0	0		—		—	—	
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	↓	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	↓	0	↑	0
	2	0	0	0	0		0		0
	3	0	0	0	0		0		0
	4	0	0	0	0		0		0
	5	0	0	0	0		0		0
	6	0	0	0	0		0		0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0	0	0
9	1	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0.2	0	0.1	0	0

第31表 予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
5	1	0	0	0	0	欠測	0	0	0
	2	0	0	0	0.1		0.1	0	0
	3	0	0.2	0	0.1		0.1	0	0.2
	4	1.0	3.2	0	0.5		0.3	1.0	0
	5	0	11.5	0	0.8		0.1	0	0.8
	6	0	18.1	0	5.0		0.7	0	0.8
	小計	1.0	33.0	0	6.5		1.3	1.0	1.8
6	1	0	14.1	1.0	9.3		0.6	欠測	0.9
	2	2.0	16.5	1.0	20.5		0.8		0.6
	3	2.0	6.8	7.0	32.8		2.6	0	0.2
	4	2.0	12.3	9.0	31.6	2.0	3.4	0	1.4
	5	8.0	60.8	7.0	69.9	5.0	6.5	0	6.4
	6	9.0	187.5	30.0	190.8	75.0	19.8	1.0	21.3
	小計	23.0	298.0	55.0	354.9	82.0	33.7	1.0	30.8
7	1	2.0	198.1	126.0	229.5	208.0	53.6	4.0	44.3
	2	0	221.1	34.0	214.5	67.0	112.9	1.0	31.2
	3	2.0	120.5	9.0	92.4	9.0	118.0	3.0	18.0
	4	0	80.2	5.0	60.6	13.0	59.9	6.0	15.3
	5	1.0	36.3	5.0	50.6	9.0	60.3	5.0	19.3
	6	0	18.9	0	45.8	25.0	67.6	0	11.0
	小計	5.0	675.1	179.0	693.4	331.0	472.3	19.0	139.1
8	1	18.0	31.7	3.0	29.1	26.0	53.7	0	9.0
	2	4.0	32.6	1.0	24.9	13.0	63.1	0	12.2
	3	1.0	16.2	0	28.2	12.0	34.2	1.0	5.8
	4	0	15.8	0	24.3	4.0	22.9	0	5.4
	5	1.0	15.6	1.0	40.5	11.0	19.1	4.0	9.3
	6	4.0	15.5	4.0	41.5	13.0	18.3	17.0	7.0
	小計	28.0	127.3	9.0	188.5	79.0	211.3	22.0	48.8
9	1	0	9.6	6.0	39.0	19.0	8.9	0	9.1
	2	2.0	9.9	2.0	38.8	2.0	8.9	6.0	10.0
	3	2.0	21.6	1.0	63.9	0	8.9	6.0	4.2
	4	1.0	8.5	7.0	34.7	3.0	2.6	10.0	4.6
	5	0	2.6	8.0	27.9	2.0	2.3	13.0	1.0
	6	1.0	2.7	13.0	37.6	5.0	2.2	6.0	1.7
	小計	6.0	54.9	37.0	241.9	31.0	33.8	41.0	30.6
10	1	2.0	3.6	2.0	32.1	0	1.3	0	7.6
	2	0	1.7	5.0	30.4	2.0	0.6	1.0	1.3
	3	0	1.0	6.0	5.1	0	0.6	0	0.1
	4	0	0	0	0.6	0	0	0	0.4
	5	0	0.3	0	3.4	0	0.2	0	0
	6	0	0	0	5.1	0	0	0	0
	小計	2.0	6.6	13.0	76.7	2.0	2.7	1.0	9.4
合計		65.0	1194.9	293.0	1561.8	525.0	755.1	85.0	260.5

第32表 予察灯によるホソミドリカスミカメ類成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉			
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
4	1	0	0		—	↑	—		—		
	2	0	0		—		—	—			
	3	0	0		—		—	—			
	4	0	0		—		—	—			
	5	0	0	0	0		0	0	0		
	6	0	0	0	0		0	0	0.1		
	小計	0	0	0	0			0	0	0.1	
5	1	0	0	0	0	欠測	0.3	0	0.3		
	2	0	0	0	0.5		1.2	0	0.5		
	3	0	0	0	0.3		0.1	0	1.9		
	4	0	0.4	0	0.2		0.1	0	1.9		
	5	0	0.1	0	0.1		0.3	0	1.0		
	6	0	0.3	0	0.4		0	0	0.2		
	小計	0	0.8	0	1.5			2.0	0	5.8	
6	1	0	0.2	0	0.7	↓	0.5	↑ 欠測	0.4		
	2	0	1.7	0	6.0		0		5.9		
	3	0	5.0	5.0	18.5		3.2		7.0	18.2	
	4	0	9.0	8.0	12.6		66.0		5.1	0	52.4
	5	0	12.9	2.0	12.1		27.0		8.3	1.0	49.0
	6	0	9.5	1.0	10.8		127.0		18.5	1.0	48.6
	小計	0	38.3	16.0	60.7		220.0		35.6	9.0	174.5
7	1	0	9.6	14.0	12.6	174.0	36.0	12.0	39.8		
	2	0	14.7	14.0	13.3	203.0	39.6	29.0	55.9		
	3	0	20.8	2.0	13.3	13.0	48.6	7.0	64.9		
	4	0	13.2	2.0	9.8	15.0	36.7	10.0	35.9		
	5	0	3.1	0	6.2	3.0	36.4	4.0	19.5		
	6	0	2.9	0	6.2	14.0	30.2	1.0	22.1		
	小計	0	64.3	32.0	61.4	422.0	227.4	63.0	237.9		
8	1	1.0	5.9	0	4.2	22.0	18.9	1.0	21.4		
	2	0	4.9	0	5.7	16.0	16.7	3.0	21.9		
	3	0	1.5	0	5.1	11.0	11.6	0	9.0		
	4	0	0.6	0	3.3	2.0	7.1	0	7.2		
	5	0	0.8	0	7.7	3.0	4.6	1.0	12.3		
	6	0	0.7	1.0	17.2	0	3.2	9.0	6.4		
	小計	1.0	14.4	1.0	43.2	54.0	62.0	14.0	78.3		
9	1	0	0.2	2.0	9.3	3.0	3.1	3.0	8.4		
	2	0	0.9	2.0	7.4	0	4.9	4.0	3.0		
	3	0	0.4	0	4.8	0	3.0	11.0	5.9		
	4	0	3.8	2.0	3.0	1.0	1.6	19.0	9.7		
	5	0	0.1	4.0	2.6	0	2.2	3.0	5.4		
	6	0	0.1	1.0	3.0	4.0	0.7	2.0	3.8		
	小計	0	5.5	11.0	30.1	8.0	15.4	42.0	36.2		
10	1	1.0	0.2	0	3.6	0	0.4	0	1.8		
	2	0	0.5	0	2.0	1.0	0.2	0	0.6		
	3	0	0.7	0	0.3	1.0	0.7	1.0	0		
	4	0	0	0	0.2	1.0	0	0	0.4		
	5	0	0.1	0	0.1	0	0.2	0	0.4		
	6	0	0	0	0	1.0	0	0	0.3		
	小計	1.0	1.5	0	6.2	4.0	1.6	1.0	3.6		
合計		2.0	124.8	60.0	203.0	708.0	344.0	129.0	536.4		

第33表 予察灯によるフタオビコヤガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉			
		本年	平均	本年	平均	本年	平均	本年	平均		
4	1	0	0		—	↑ 欠測 ↓	—		—		
	2	0	0		—		—		—		
	3	0	0		—		—		—		
	4	0	0		—		—		—		
	5	0	0	0	0		0	0	0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0		0	0	0	0	
5	1	0	0	0	0.2	欠測	0	0	0		
	2	0	0	0	0.4		0	0	0		
	3	0	0.2	0	1.3		0.2	0	0.1		
	4	0	0.4	0	1.6		0	0	0.2		
	5	0	0.5	0	0.8		0	0	0.0		
	6	0	0.3	0	0.1		0.2	0	0.1		
	小計	0	1.4	0	4.4		0.4	0	0.4		
6	1	0	0.2	0	0	↓	↑ 欠測 ↓	0	0		
	2	0	0.2	0	0			0.1	0	0	
	3	0	0	0	0			0	0	0	
	4	1.0	0	0	0.1			0	0.5	0	0.3
	5	0	0.2	0	0.8			0	0.6	0	0.4
	6	0	1.0	0	0.2			0	1.8	0	0.1
	小計	1.0	1.6	0	1.1			0	3.0	0	0.8
7	1	0	1.8	0	0.1	0	3.0	0	0.2		
	2	0	0.6	0	0.3	0	2.2	0	0.3		
	3	0	0.3	0	1.1	0	4.3	0	1.0		
	4	0	7.9	0	1.0	0	6.1	0	2.0		
	5	0	6.3	0	1.1	0	6.9	0	6.7		
	6	0	4.7	0	1.6	0	15.6	0	4.2		
	小計	0	21.6	0	5.2	0	38.1	0	14.3		
8	1	0	2.9	0	2.0	31.0	13.4	0	2.8		
	2	0	4.1	0	5.2	0	11.6	0	6.3		
	3	0	6.9	0	10.9	0	8.9	0	10.4		
	4	1.0	8.6	0	10.1	0	10.7	1.0	9.8		
	5	0	3.2	0	4.4	0	7.9	1.0	5.2		
	6	0	2.7	0	4.4	0	6.2	0	2.8		
	小計	1.0	28.3	0	37.0	31.0	58.8	2.0	37.3		
9	1	0	0.4	0	3.4	0	2.3	2.0	0.6		
	2	0	0.4	0	3.0	0	1.7	0	0.9		
	3	0	0.4	0	1.1	0	0.4	3.0	0.2		
	4	0	0	0	0.4	0	0	0	0.1		
	5	0	0	0	0.6	0	0.1	0	0.2		
	6	0	0	0	0.1	0	0	0	0		
	小計	0	1.2	0	8.6	0	4.6	5.0	2.0		
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計		2.0	54.1	0	56.3	31.0	104.8	7.0	54.9		

イ. ムギ類（二条オオムギ）

（ア）調査地点

- a. 県予察ほ場 鳥取市橋本
- b. 一般ほ場 倉吉市新田・中江、北栄町江北

（イ）調査観察結果

- a. 県予察ほ場

第1表 県予察ほ場における調査（うどんこ病）

調査日	上位3葉の 平均病斑面積率(%)
12.10	0
1.15	0
2.10	0
3.15	0
4.1	0
12	0
20	0
5.1	0
11	0
21	0

注) 品種：しゅんれい

第2表 県予察ほ場における調査（赤かび病）

調査日	発病穂率(%)	発病度
4.12	0	0
16	0	0
20	0	0
26	0	0
5.1	0	0
6	0	0
11	0	0
17	0	0
21	0	0
26	0	0

注) 品種：しゅんれい

b. 一般ほ場（令和3年5月）

第3表 一般ほ場における調査（うどんこ病）

市町村	調査地点	調査番号	5月14日
			上位3葉の平均病斑面積率（%）
北栄町	江北	①	0
		②	0
		③	0
倉吉市	中江	①	0
		②	0
倉吉市	新田	①	0
		②	0
		③	0
		④	0
		⑤	0
発生ほ場率（%）			0

第4表 一般ほ場における調査（網斑病）

市町村	調査地点	調査番号	5月14日	
			発病茎率（%）	上位3葉の平均病斑面積率（%）
北栄町	江北	①	100	13.3
		②	100	12.0
		③	100	16.2
倉吉市	中江	①	100	28.4
		②	100	30.7
倉吉市	新田	①	100	42.1
		②	100	23.8
		③	100	14.4
		④	100	16.8
		⑤	100	18.7
発生ほ場率（%）			100	-

第5表 一般ほ場における調査（その他）

病害虫名	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率（%）
		甚	多	中	少	計	
縞萎縮病	10	0	0	0	0	0	0
小さび病	10	0	0	0	0	0	0
赤かび病	10	0	0	0	0	0	0
黒節病	10	0	0	0	0	0	0
雲形病	10	0	0	0	0	0	0
斑葉病	10	0	0	0	0	0	0

注) 調査月日：令和3年5月14日

ウ. ダイズ

(ア) 一般ほ場における調査地点

市町村	地点	市町村	地点
鳥取市	橋本	北栄町	瀬戸
鳥取市	中大路	大山町	坊領
鳥取市河原町	谷一木	米子市	春日
岩美町	大谷	米子市	下郷
倉吉市	新田	米子市淀江町	亀浜
湯梨浜町	長江	南部町	福成
湯梨浜町	長和田		

(イ) 一般ほ場における調査観察結果

第1表 一般ほ場におけるダイズ害虫の発生状況

調査月日	ハスモンヨトウ							
	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	平均白変か所数
		甚	多	中	少	計		
9月21～24日	36	0	1	11	17	29	80.6	1.9

第2表 一般ほ場における成熟期の被害状況（100英サンプリング調査）

サンプリング日	調査ほ場数	紫斑病						モザイク病（褐斑粒）					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月26日～10月29日	32	0	0	1	7	8	25.0	0	0	0	6	6	18.8

サンプリング日	調査ほ場数	フタスジヒメハムシ						カメムシ類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月26日～10月29日	32	0	0	2	30	32	100	0	1	8	18	27	84.4

サンプリング日	調査ほ場数	マメシクイガ						その他子実害虫類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月26日～10月29日	32	0	0	0	9	9	28.1	0	0	0	0	0	0.0

(ウ) フェロモントラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

月・半旬	鳥取市橋本		鳥取市河原町		湯梨浜町長和田	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・1	2.5	0.9	-	-	-	-
5・2	7.0	1.0	-	-	-	-
5・3	3.3	2.7	-	-	-	-
5・4	16.7	4.6	-	-	-	-
5・5	50.8	6.5	-	-	-	-
5・6	49.3	7.5	-	-	-	-
6・1	21.4	6.9	-	-	-	-
6・2	16.4	12.5	-	-	-	10.6
6・3	13.0	20.8	-	-	-	11.7
6・4	11.0	23.3	-	-	-	15.8
6・5	12.3	21.2	-	-	-	47.7
6・6	11.7	36.8	-	53.6	-	91.1
7・1	9.2	39.8	28.0	46.6	287.5	113.4
7・2	50.6	44.1	63.0	39.7	772.4	133.4
7・3	79.2	39.0	104.0	23.8	626.4	144.7
7・4	52.2	40.6	146.0	30.7	225.7	156.5
7・5	25.8	37.9	182.0	42.7	297.9	167.3
7・6	32.7	42.0	43.0	57.3	261.0	237.3
8・1	13.3	32.6	33.0	75.3	501.3	301.3
8・2	38.2	48.2	128.0	125.7	898.6	352.4
8・3	85.8	40.9	221.0	104.2	1261.4	391.1
8・4	75.3	43.1	293.0	106.0	660.6	394.1
8・5	36.7	39.9	85.0	154.2	276.9	516.6
8・6	16.0	66.2	76.0	186.2	344.3	548.8
9・1	26.0	64.5	211.0	199.9	1117.1	520.9
9・2	48.2	86.8	196.0	175.1	702.7	559.6
9・3	30.8	68.6	94.0	132.9	465.6	379.1
9・4	49.0	77.0	378.0	151.7	124.5	339.2
9・5	56.7	63.0	438.0	87.6	411.7	319.9
9・6	40.3	61.9	152.0	79.0	258.4	225.7
10・1	48.0	61.6	-	-	267.9	266.9
10・2	43.0	48.0	-	-	555.7	278.6
10・3	40.8	59.7	-	-	391.1	222.3
10・4	44.2	54.2	-	-	242.3	150.7
10・5	56.0	52.2	-	-	85.7	177.9
10・6	79.7	72.9	-	-	156.3	189.3

注) 鳥取市橋本：武田乾式トラップ、その他の地点：ファネルトラップ

(エ) 予察灯

第4表 予察灯によるイチモンジカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—	↑	—		—
	2	0	0		—		—	—	
	3	0	0		—		—	—	
	4	0	0		—		—	—	
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	↓	0	0	0
	2	0	0	0	0		0	0	0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0
6	1	0	0	0	0	↓	0	↑ 欠測 ↓	0
	2	0	0	0	0		0		0
	3	0	0	0	0		0	0	0
	4	0	0.1	0	0		0	0	0
	5	0	0	0	0		0	0	0.5
	6	0	0.1	0	0.1		0	0	0.2
	小計	0	0.2	0	0.1		0	0	0
7	1	0	0.4	0	0	0	0	0	0.1
	2	0	1.3	0	0.2	0	0	0	0.1
	3	0	1.0	0	0	0	0.2	0	0
	4	0	1.2	0	0.3	0	0	0	0
	5	0	1.2	0	0.2	0	0	0	0.2
	6	0	0.6	0	0.2	0	0	0	0.1
	小計	0	5.7	0	0.9	0	0.2	0	0.5
8	1	0	1.1	0	0.4	0	0	0	0.1
	2	0	0.8	0	0.5	0	0	0	0.3
	3	0	0	0	0.4	0	0	0	0
	4	0	0.5	0	0.2	0	0.1	0	0
	5	0	0.2	0	0.4	0	0	1.0	0.2
	6	0	0	1.0	0.5	0	0	0	0.2
	小計	0	2.6	1.0	2.4	0	0.1	1.0	0.9
9	1	0	0.3	0	0.1	0	0	0	0.2
	2	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0.1
	3	0	0.3	0	0.8	0	0	0	0
	4	1.0	0.3	0	0.4	0	0	0	0.1
	5	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	小計	1.0	1.2	0	1.9	0	0	0	0.4
10	1	1.0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1.0	0	0	0	0	0	0	0
合計		2.0	9.7	1.0	5.3	0	0.3	1.0	2.5

第5表 予察灯によるホソヘリカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
4	1	0	0		—	↑	—		—	
	2	0	0		—		—		—	
	3	0	0		—		—		—	
	4	0	0		—		—		—	
	5	0	0	0	0		0	0	0	0
	6	0	0	0	0		0	0	0	0
	小計	0	0	0	0		0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	↓	0	0	0	
	2	0	0	0	0		0	0	0	
	3	0	0	0	0.1		0	0	0	
	4	0	0	0	0		0	0	0	
	5	0	0	0	0		0	0	0	
	6	0	0	0	0		0	0	0	
	小計	0	0	0	0.1		0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	↓	0	↑ ↓	0	
	2	0	0	0	0		0		0	
	3	0	0	0	0		0		0	
	4	0	0	0	0		0		0	
	5	0	0	0	0		0		0	
	6	0	0	0	0		0		0	
	小計	0	0	0	0		0		0	0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1	
	2	0	0	0	0.1	0	0	0	0.2	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.2	
	4	0	0	0	0.2	0	0	0	0	
	5	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0.2	
	6	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0.4	
	小計	0	0.2	0	0.6	0	0	0	1.1	
8	1	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0.3	
	2	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0.2	
	3	0	0	0	0	0	0.1	0	0.3	
	4	0	0.1	0	0	0	0.1	0	0.1	
	5	0	0.2	0	0.3	0	0.1	0	0.1	
	6	0	0	0	0.4	0	0	0	0.1	
	小計	0	0.7	0	1.1	0	0.3	0	1.2	
9	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0.1	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.1	
	小計	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0.2	
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		0	0.9	0	1.8	0	0.4	0	2.6	

第6表 予察灯によるアオクサカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉			
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年		
4	1	0	0		—	↑	—		—		
	2	0	0		—		—	—			
	3	0	0		—		—	—			
	4	0	0		—		—	—			
	5	0	0	0	0		0	0	0		
	6	0	0	0	0		0	0	0		
	小計	0	0	0	0		0	0	0	0	
5	1	0	0	0	0	欠測	0	0	0		
	2	0	0	0	0		0	0			
	3	0	0	0	0.1		0	0	0		
	4	0	0	0	0		0	0	0		
	5	0	0	0	0		0	0	0		
	6	0	0	0	0.1		0	0	0		
	小計	0	0	0	0.2		0	0	0	0	
6	1	0	0	0	0	↓	0	欠測	0		
	2	0	0	0	1.2		0		0		
	3	0	0	0	0.1		0		0	0	
	4	0	0	0	0		0		0	0	
	5	0	0	0	0		0		0	0	
	6	0	0	0	0		0		0.1	0	0.1
	小計	0	0	0	1.3		0		0.1	0	0.1
7	1	0	0.1	0	0	0	0	0	0		
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.5		
	3	0	0	0	0.2	0	0	0	0.1		
	4	0	0.1	0	0	0	0	2.0	0.3		
	5	0	0	0	0.2	2.0	0.3	0	0.3		
	6	0	0	0	0.9	0	0.1	0	0.3		
	小計	0	0.2	0	1.3	2.0	0.4	2.0	1.5		
8	1	0	0.5	0	0.8	0	0.6	2.0	0.2		
	2	0	0.8	0	0.4	0	0.1	3.0	0.1		
	3	0	0.1	0	0.2	2.0	0.1	3.0	0		
	4	0	0.2	0	0.3	0	0.8	0	0.1		
	5	0	0.2	0	0.5	0	0.1	0	0		
	6	0	0	1.0	0	2.0	0.6	0	0.2		
	小計	0	1.8	1.0	2.2	4.0	2.2	8.0	0.7		
9	1	0	0	0	0.5	0	0.1	0	0		
	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0	0	0	0	0		
	5	0	0.1	0	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.1		
	小計	0	0.1	0	0.5	0	0.1	0	0.1		
10	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0		
	2	0	0	0	0.2	0	0	0	0		
	3	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0		
	5	0	0	0	0	0	0	0	0		
	6	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0.4	0	0	0	0		
合計		0	2.1	1.0	5.9	6.0	2.9	10.0	2.4		

7 果樹病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な果樹病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積* (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率** (%)
			甚	多	中	少	計	
ナシ	618	黒斑病	0	0	11	109	120	19.4
		黒星病	0	2	14	70	86	13.9
		赤星病	0	0	2	15	17	2.8
		うどんこ病	0	1	5	65	71	11.5
		輪紋病	0	0	2	32	34	5.5
		ナシヒメシンクイ	0	0	2	75	77	12.5
		モモシンクイガ	0	0	0	10	10	1.6
		ハマキムシ類	0	0	2	23	25	4.0
		ハダニ類	0	1	9	252	262	42.4
		カメムシ類	0	0	1	34	35	5.7
		コナカイガラムシ類	0	0	2	62	64	10.4
		アブラムシ類	0	0	4	158	162	26.2
		ニセナシサビダニ	0	0	5	230	235	38.0
		ブドウ	76	晩腐病	0	0	2	31
黒とう病	0			0	1	3	4	5.3
べと病	0			0	2	31	33	43.4
灰色かび病	0			0	1	21	22	28.9
チャノキイロアザミウマ	0			0	1	23	24	31.6
ハマキムシ類	0			0	2	21	23	30.3
カキ	233			炭疽病	1	2	3	59
		灰色かび病	0	0	1	9	10	4.3
		うどんこ病	0	0	3	66	69	29.6
		落葉病類	0	0	2	32	34	14.6
		カキノヘタムシガ	0	0	0	2	2	0.9
		カイガラムシ類	0	0	3	31	34	14.6
		カメムシ類	0	1	4	34	39	16.7
		ハマキムシ類	0	1	4	26	31	13.3
		チャノキイロアザミウマ	0	0	0	2	2	0.9
		カキクダアザミウマ	0	0	0	2	2	0.9
		樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、 フタモンマダラメイガ)	0	0	10	75	85	36.5

作付面積*は、農林水産省作物統計情報（令和4年3月31日確報）より引用

面積率** = 発生程度別面積の合計 (ha) / 作付面積 (ha) × 100

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. ナシ

病害虫名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒斑病 (平年並～やや少ない)	4、6、7月の果実における発生量は平年に比べて少なく、6、7月の新梢葉における発生量は平年並であった。一部の地域では、収穫期の果実に小黑斑が認められた。	本病の越冬伝染源量は平年並であった。春季の孢子飛散量は平年並～やや少ない期間が多かった。梅雨期には降雨量が多い日はあったが、防除が徹底された。
黒星病 (やや多い)	ナシの開花日は平年に比べて早く、重点防除時期の防除も生育に合わせて前倒しで実施された。5月の発生量は一部の園で多かったが、全体としては平年並であった。6月中旬の発生量は平年に比べてやや多く、収穫期には広域で被害が認められた。	越冬罹病芽の量は平年に比べて多く、前年の発生量がやや多かったことから越冬した罹病落葉の量もやや多いと推察された。春季の分生子飛散量（花そう基部からの飛散）は4月上旬以降に増加し、平年に比べてやや多い傾向であった。また、その飛散ピークは5月上旬と考えられた。 後期果実肥大期に降雨量が多い日が認められ、収穫期の果実被害を助長した可能性があった。
輪紋病 (やや多い)	ナシの開花日及び梅雨入りが早かったため、‘新甘泉’の重点防除時期は平年に比べて前進し、園によっては防除適期を逃した事例があり、一部の地域において収穫果被害が目立った。	孢子飛散量の増加時期が例年より早かったと考えられ、5月第4半旬～6月第4半旬までの期間、6月第2半旬を除いて平年並かそれ以上の降雨が認められた。開花の前進に伴い、果実感受性が高い時期も前進した可能性があった。現地ほ場では、①5月下旬の散布が降雨の影響を受けた事例、②6月上旬から中旬までの散布間隔が空いた事例、③袋掛けの終了時期が遅めであった事例があり、それらの条件が発生に関与した可能性があった。
ハダニ類 (やや多い)	発生時期は、やや遅く7月下旬頃から増加し、発生量は、平年に比べてやや多かった。発生種は、カンザワハダニやナミハダニが中心であった。	梅雨明け後の気象条件が、ハダニ類の増殖にやや好適な条件であった。
コナカイガラムシ類 (平年並)	収穫果実において寄生果がみられ、平年並の被害量であった。クワコナカイガラムシふ化幼虫の発生時期は、越冬世代、第一世代ともに平年に比べて早かった。また、マツモトコナカイガラムシのフェロモントラップ調査の結果、発生盛期は、第二世代成虫は平年並、越冬世代成虫、第一世代成虫は平年に比べてやや早かった。誘殺数は、第一世代成虫は平年並、越冬世代成虫、第二世代成虫はやや少なかった。	ふ化消長、フェロモントラップ調査から、種類によって生育のバラツキが大きい。また、世代を経るごとにそのバラツキは大きくなるため、防除適期がつかみづらい。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
アブラムシ類 (平年並)	発生時期は平年に比べてやや早かった。5月以降に一部地域で発生密度が高い園が確認されたが、概ね平年並の発生量であった。	アブラムシ類に効果の高い薬剤が普及しており、定期防除により発生が抑えられていると考えられる。
カメムシ類 (平年並)	予察灯の誘殺数は、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシともに、8月中旬～下旬、9月中旬～10月上旬に密度が増加した。一部地域のナシ園においてカメムシ類の飛来および果実被害が確認されたが、平年並～やや少ない被害量であった。	昨年度の発生量がやや多かったことから、カメムシ類の越冬量がやや多いと推察された。クサギカメムシの越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年並と推察された。7月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となり、8月中旬～9月上旬にかけて追加防除が実施された。
ニセナシサビダニ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。新梢の停止時期は平年に比べてやや早く、新梢被害は平年並であった。	効果の高い薬剤が普及している。発芽前防除および5～6月の防除により発生密度が抑えられたと考えられる。
モモシンクイガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べて誘殺数がやや多い地点がみられたが、概ね平年並の発生量であった。発生時期は、ほぼ平年並であった。収穫調査の被害量は平年並であった。	防除の徹底。有袋栽培が主である。
ナシヒメシンクイ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べて誘殺数がやや多い地点がみられたが、概ね平年並の発生量であった。発生時期は平年に比べてやや早かった。収穫調査の被害量は、一部地域でやや多かった。	7～8月の基幹防除の徹底、収穫前の防除が徹底された。
ハマキムシ類 (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べて多い誘殺数であった。一部地域のナシ園において被害果が確認されたが、平年並の被害量であった。	平年に比べて多い誘殺数であったが基幹防除が徹底されたと考えられる。

イ. ブドウ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
晩腐病 (やや多い)	袋内の包み込みが散見され、長雨後や収穫が遅れた園で発生がみられた。‘巨峰’、‘ピオーネ’で一部多い園があった。	例年に比べて梅雨入りが早く、小豆大～傘掛け期の事に降雨量の多い期間が認められたことが発生を助長したと考えられる。
べと病 (やや多い)	全体的にやや多く、多発園もみられた。防除が不十分な園や風通しの悪い園で発生がみられた。ハウスの谷間に発生がみられた。	例年に比べて梅雨入りが早く、初期の発生を助長し易かった。また、8月以降の降雨量が多い傾向であったことが発生を助長した。
灰色かび病 (平年並)	風当たりの強い園、ハウスの谷間で発生がみられたが、全体としては平年並であった。	防除が徹底された。
チャノキイロアザミウマ (やや少ない)	黄色粘着板トラップ(無加温ハウス)の結果、7月下旬～8月下旬にかけて誘殺数が増加したが、平年に比べてやや少なかった。果実の被害量はほぼ平年並であった。	カサ掛け栽培が多いため、防除が十分に実施できない。
ハマキムシ類 (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、発生量は、越冬世代、第二世代は平年に比べてやや多く、第一世代は平年並であった。発生時期は平年に比べてやや早かった。収穫果の被害量は、全体的に平年並であった。	昨年の第二世代の発生量がやや多かったことから、越冬量はやや多いと推察された。カサ掛け栽培が多いため、防除が十分に実施できない。収穫後の防除が徹底されていない。

ウ. カキ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (多い)	複数の管理不良園に多発がみられ周辺に影響した。6月頃に新梢病斑(枝病斑)が認められ、8月中旬から各地で発生がみられた。また、普段発生がみられない園でも発生が確認された。特に‘富有’は大きく減収した。	5月中旬～6月中旬の降水量が平年並～平年に比べてやや多い傾向で推移し、この頃の気象条件が新梢病斑の発生を助長したと推察された。また、7月上～中旬及び8月上～中旬に平年を大きく上回る降水量が認められ、これらが果実病斑の発生を助長したと考えられた。
うどんこ病 (平年並)	一部の園で発生が認められたが、全体としては平年並であった。	防除が徹底された。
カキノヘタムシガ (平年並)	発生時期は平年に比べてやや早く、発生量は平年並であった。	被害量は例年少ない。越冬量が平年並であったと考えられる。

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
カメムシ類 (やや多い)	予察灯の誘殺数は、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシともに、8月中旬～下旬、9月中旬～10月上旬に密度が増加した。8月～収穫期にかけて果実被害が確認され、平年に比べてやや多い被害量であった。	昨年度の発生量がやや多かったことから、カメムシ類の越冬量がやや多いと推察された。また、クサギカメムシの越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量は平年並と推察された。7月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となり、8月中旬～9月下旬にかけて追加防除が実施された。
アザミウマ類 (平年並)	発生量、被害ともに平年並であった。	近年、被害が少ない。
フジコナカイガラムシ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、発生時期は、ほぼ平年並であった。誘殺数は、第一世代成虫は平年に比べてやや多く、越冬世代、第二世代成虫はやや少なかった。収穫果に被害が確認されたが、平年並の被害量であった。	生育のバラツキが大きく、適期防除が困難である。
樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ) (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、ヒメコスカシバの発生時期はやや早かった。一部地域で樹幹害虫の被害が確認されたが平年並の被害量であった。	昨年の樹幹害虫の被害量が多かったことから越冬量が多くなると予想されたが、平年並の発生量であった。近年、被害が多い。簡易で安価な防除手法がない。

エ. その他 (特記事項)

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
【果樹類】 クワゴマダラヒトリ (少ない)	春季のクワゴマダラヒトリも発生量は少なかった。平成29年以降、発生量は少ない。	発生量が減少した要因は不明であるが、現在、発生密度が低い時期と推察される。

(3) 調査の概要と結果

ア ナシ

(ア) 生育状況

第1表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における生育状況（二十世紀）

調 査 項 目	県予察ほ場（園試）		
	本 年	前 年	平 年 ^a
ア 催 芽 期	3. 4	3. 15	3. 11
イ 発 芽 期	3. 12	3. 24	3. 22
ウ 脱 苞 期	3. 21	3. 31	3. 29
エ 展 葉 期	3. 29	4. 4	4. 4
オ 開 花 始 め	3. 31	4. 7	4. 6
1 満 開	4. 3	4. 15	4. 11
2 落 花	4. 12	4. 20	4. 19
カ 新梢の生育状況			
1 新梢の伸長開始	4. 20	4. 24	4. 19
2 停 止 期	7. 1	7. 2	7. 2
3 第2次伸長停止期	8. 2	8. 5	8. 8
キ 袋 掛 期			
1 小 袋	5. 3	5. 14	5. 10
2 大 袋	6. 11	6. 8	6. 9
ク 落 葉 期	11. 17	- ^b	11. 19

^a 平成27年～令和2年の平均

^b 欠測

概要：本年の県内の平均的交配日は4月2日であり、3月の高温の影響で過去最も早い交配日となった。4月中旬～5月中旬の平均気温は平年並～平年に比べてやや低く推移したが、5月中旬には平年を上回ったことで、葉色値は平年値をやや上回った。展葉枚数、副葉数は平年並であった。

主な病害虫は、病害では黒星病、輪紋病、赤星病、炭疽病の発生量が平年に比べてやや多く、虫害ではハダニ類の発生量がやや多かった。

(イ) 黒斑病

a. 分生胞子の形成状況

第2表 二十世紀ナシ露地栽培ほ場における胞子採集状況

月・半月	本年	平年
3・5	0	- ^a
6	18	6.0
4・1	3	6.7
2	3	4.2
3	3	6.9
4	5	7.0
5	3	13.4
6	10	15.3
5・1	0	15.0
2	20	16.5
3	10	36.2
4	39	72.1
5	31	85.0
6	24	157.4

b. 新梢葉の発病状況

第3表 県予察ほ場における発病状況

月・旬	調査葉数	病葉数	病葉率 (%)	
			本年	平年
5・中 下	133	3	2.3	0.7
	169	3	1.8	1.2
6・上 中 下	200	7	3.5	2.2
	219	11	5.0	3.3
	243	12	4.9	5.2
7・上 中 下	270	20	7.4	7.0
	277	26	9.4	10.0
	269	15	5.6	12.4
8・上 中 下	278	25	9.0	13.1
	268	26	9.7	14.0
	269	36	13.4	18.0
9・上 中 下	259	52	20.1	22.9
	254	73	28.7	25.9
	218	71	32.6	28.5

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

(-は平成28年より調査)

採集時間：午前10時30分～正午の1.5時間

検鏡：カバーグラス(18×18mm)内の *Alternaria* spp.胞子数

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

第4表 新梢葉の発病状況

地 区		新 梢 葉 の 発 病 率 (%)								
		6 月			7 月			9 月		
		本年	前年	平年 ^a	本年	前年	平年 ^a	本年	前年	平年 ^a
県予察ほ場		1.7	14.2	3.5	9.4	15.8	11.7	15.1	24.9	25.1
東 部	鳥取市									
	河原町 山 上	6.0	2.7	2.1	32.7	8.8	10.5	16.2	19.0	17.7
	佐治町 高 山	0	10.1	- ^c	4.6	27.5	- ^c	6.1	53.7	- ^c
	青谷町 青 谷	5.3	1.3	- ^b	8.2	5.1	- ^b	7.8	6.6	- ^b
	八頭町 花 原	0	0	0.3	0.5	0.5	1.4	0.5	3.2	3.9
中 部	湯梨浜町1 別 所	2.1	4.7	1.7	0	5.2	2.0	1.1	1.9	3.2
	湯梨浜町2 勝負谷	1.5	3.6	0.8	0.5	1.5	1.5	8.3	2.1	4.1
	倉吉市 中 野	0.5	3.2	0.6	0	0.9	1.7	1.6	5.4	4.0
	琴浦町 竹ノ内	1.6	5.7	1.2	2.5	3.1	3.3	1.6	3.1	3.2
西 部	大山町1 中 山	- ^d	0.9	0.3	- ^d	0.4	1.5	- ^d	2.8	5.0
	大山町2 中 山	0	2.7	- ^b	2.0	2.7	- ^b	0	2.3	- ^b
	南部町 朝 金	0	0	- ^b	0	2.1	- ^b	0.5	2.7	- ^b
平 均		1.7	4.1	1.3	5.5	6.1	4.2	5.3	6.7	8.3

^a 平成23年～令和2年の平均

^b 令和元年より調査園を変更した。

^c 令和3年より調査園を変更した。

^d 樹の伐採により調査を行えなかった。

c. 果実の発病状況

第5表 収穫果実及び病落果の発病状況

地 区	収 穫 果 実						病 落 果 率 (%)		
	月日	調査果数	病果数	病果率	前年	平年 ^a	本年	前年	平年 ^a
県予察ほ場	8.19	200果	5果	2.5%	1.5%	10.0%	3.2	1.4	11.2

^a 平年・・・平成23年～令和2年の平均

第6表 ポリ袋検定による幼果の発病状況

地 区	ポリ袋検定法による 幼果の発病率 (%)		
	本 年	前 年	平 年 ^a
県予察ほ場	0	0	1.8
東 部			
鳥取市			
河原町 山 上	0	0	6.8
佐治町 高 山	0	1.0	- ^c
青谷町 青 谷	0	0	- ^b
八頭町 花 原	1.0	0	0.2
中 部			
湯梨浜町1 別 所	0	0	0.5
湯梨浜町2 勝負谷	0	1.0	1.0
倉吉市 中 野	0	0	0.5
琴浦町 竹ノ内	0	0	1.0
西 部			
大山町1 中 山	- ^d	1.0	1.0
大山町2 中 山	0	0	- ^b
南部町 朝 金	0	0	- ^b
平 均	0.1	0.3	1.6

^a 平成23年～令和2年の平均

^b 令和元年より調査園を変更した。

^c 令和3年より調査園を変更した。

^d 樹の伐採により調査を行えなかった。

第7表 破袋調査による果実発病状況

地 区	被 袋 果 の 発 病 率 (%)					
	6 月			7 月		
	本 年	前 年	平 年 ^a	本 年	前 年	平 年 ^a
県予察ほ場	0	5.0	2.8	1.7	6.7	8.5
東 部						
鳥取市						
河原町 山 上	1.7	5.0	2.5	1.7	6.7	5.5
佐治町 高 山	0	13.3	- ^c	1.7	36.7	- ^c
青谷町 青 谷	1.7	1.7	- ^b	6.7	6.7	- ^b
八頭町 花 原	0	0	0.2	0	0	0.3
中 部						
湯梨浜町1 別 所	1.7	0	0.2	0	0	0
湯梨浜町2 勝負谷	0	1.7	0.3	0	0	0
倉吉市 中 野	0	0	0.3	0	0	0.8
琴浦町 竹ノ内	0	0	0.5	0	0	1.7
西 部						
大山町1 中 山	- ^d	0	0.7	- ^d	0	1.2
大山町2 中 山	0	0	- ^b	0	0	- ^b
南部町 朝 金	0	1.7	- ^b	0	3.3	- ^b
平 均	0.5	2.4	0.9	1.1	5.0	2.3

^a 平成23年～令和2年の平均

^b 令和元年より調査園を変更した。

^c 令和3年より調査園を変更した。

^d 樹の伐採により調査を行えなかった。

第8表 県内定点調査ほ場における越冬密度調査

地 区		病 枝 率 (%)		枝当たり病斑数(個)		短果枝の病芽率(%)	
		本 年	平 年 ^a	本 年	平 年 ^a	本 年	平 年 ^a
県予察ほ場		0	16.0	0	0.3	1.7	1.7
東 部	鳥取市						
	河原町 山 上	40.0	17.8	0.5	0.3	1.7	2.5
	佐治町 高 山	0	- ^b	0	- ^b	1.7	- ^b
	青谷町 青 谷	6.7	- ^c	0.1	- ^c	8.3	- ^c
	八頭町 花 原	0	2.0	0	0.0	5.0	3.9
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	1.3	0	0.0	0	2.9
	湯梨浜町2 勝負谷	0	2.0	0	0.1	1.7	0.2
	倉吉市 中 野	6.7	3.2	0.1	0.1	3.3	1.7
	琴浦町 竹ノ内	6.7	6.5	0.1	0.1	0	0.3
西 部	大山町1 中 山	- ^d	2.0	- ^d	0.0	- ^d	0.5
	大山町2 中 山	0	- ^c	0	- ^c	1.7	- ^c
	南部町 朝 金	0	- ^c	0	- ^c	5.0	- ^c
平 均		5.5	6.4	0.1	0.1	2.7	1.7

- ^a 平成23年度～令和2年度の平均
- ^b 令和3年度より調査園を変更した。
- ^c 令和元年度より調査園を変更した。
- ^d 樹の伐採により調査を行えなかった。

(ウ) 黒星病

a. 分生孢子及び子のう孢子の孢子飛散消長

第9表 芽基部病斑上からの分生孢子採集数

月・半旬	雨水中の分生孢子数(個/10ml)		
	本 年	前 年	平 年 ^a
3・5	0	1.0	2.0
6	0	1.8	5.1
4・1	23.8	2.6	6.3
2	降雨なし	降雨なし	8.7
3	12.5	12.5	5.3
4	23.0	7.2	4.1
5	降雨なし	0	31.8
6	11.4	4.5	14.1
5・1	2.1	82.4	10.8
2	170.5	0.3	2.2
3	34.7	20.9	4.1
4	51.4	6.5	13.1
5	18.0	0.5	67.9
6	7.5	0.3	14.0

^a 平成23年～令和2年の平均

第10表 病落葉からの子のう孢子採集数

月・半旬	病落葉からの子のう孢子数(個)		
	本 年	前 年	平 年 ^a
3・5	0	16	7.0
6	0	116	25.4
4・1	0	80	23.3
2	0	0	8.2
3	1	40	18.4
4	0	18	7.2
5	0	0	65.2
6	0	0	4.4
5・1	0	3	1.6
2	0	1	0.2
3	0	0	0
4	0	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0

^a 平成28年～令和2年の平均
調査方法を変更した値を令和2年度より採用。

第11表 春期ナシ黒星病の分生孢子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	3.20	5.10	5.31
前年	3.23	5.3	5.26
平年 ^a	3.26	5.3	5.26

^a 平成23年～令和2年の平均

第12表 春期ナシ黒星病の子のう孢子飛散時期

年次	飛散始め	最盛期	終期
本年	4.14	4.14	4.14
前年	3.21	3.28	5.8
平年 ^a	3.30	4.13	4.30

^a 平成28年～令和2年の平均

b. 幼果の発病調査

第13表 県内定点調査ほ場における発病状況（5月下旬調査）

地区名	品種	発病果率 (%)		
		本年	前年	平年 ^a
県予察ほ場		0	0	0
東部	鳥取市 久末 豊水	0	3.0	0.5
	佐治町 津無 豊水	0	0	0
	佐治町 津無 新甘泉	0	0	0
	青谷町 河原 新甘泉	0.3	3.0	1.5
	八頭町 山路 新甘泉	0	0.3	0.1
中部	湯梨浜町 方面 新甘泉	0	0	0
	倉吉市 悴谷 幸水	0	0	0
	倉吉市 関金 幸水	15.7	27.3	4.1
	琴浦町 西宮 幸水	0	0	0
西部	大山町 陣構 新甘泉	0.7	23.3	2.9
	米子市 稲吉 新甘泉	0	0	0.1
	南部町 朝金 幸水	0	0	0
平均		1.3	4.4	0.7

^a 平成23年～令和2年のうち2年以上の値の平均

c. 休眠期における芽りん片病斑の発生状況

第14表 ナシ黒星病の越冬病芽割合

地区名	品種	花芽数	病芽数	病芽率 (%)			
				本年	前年	平年 ^a	
県予察ほ場		新甘泉	116	0	0	4.2	0.8
		幸水	125	0	0	2.9	0.7
東部	鳥取市1	豊水	92	3	3.3	3.3	5.3
		幸水	113	4	3.5	0.7	1.4
	鳥取市2	新甘泉	220	0	0	5.5	1.5
		豊水	152	1	0.7	19.0	5.5
	鳥取市3 八頭町	新甘泉	121	0	0	8.2	- ^b
		新甘泉	132	0	0	- ^c	- ^b
	豊水	111	0	0	8.9	4.0	
中部	湯梨浜町	新甘泉	62	0	0	0	1.2
	倉吉市	新甘泉	85	1	1.2	4.7	1.2
		幸水	112	0	0	0	0.2
	琴浦町	新甘泉	109	0	0	1.0	0.7
西部	大山町1	新甘泉	84	0	0	13.9	2.6
	大山町2	新甘泉	60	1	1.7	17.6	3.2
平均			112.9	0.7	0.7	6.4	2.2

^a 平成24年～令和3年の期間で3年以上の値の平均値

^b 令和2年から調査品種を変更または追加した

^c 欠測

(エ) 赤星病

a. バクシン上の冬孢子堆と小生子の形成時期

第15表 県予察ほ場におけるバクシン上の冬孢子堆成熟状況及び小生子形成状況

調査月・日	ナシの生育状況	冬孢子堆成熟状況		小生子形成状況	
		本年	前年	本年	前年
3.22	展葉期	30%	30%	+	+
3.23					
3.29					
3.30	満開期	50%	100%	+++	+++
4.1					
4.3					
4.8					
4.9					
5.1					

b. 果そう葉の発病状況

第16表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における赤星病の発病状況（6月上旬）

項目	八頭町		湯梨浜町		県予察ほ場	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年
調査葉数	300	300	300	100	300	- ^a
病葉率(%)	0	0	1.7	0	1.0	- ^a

^a 欠測

(オ) ナシヒメシンクイ

第17表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	1.0	2.8	75.8	57.0	32.0	11.9	35.8	14.6
	1.0	2.8	55.6	62.8	15.9	32.2	19.6	32.6
	2.0	1.4	12.9	38.2	8.3	20.7	10.5	38.7
5・上	1.0	1.8	19.1	24.7	1.8	14.2	5.5	11.1
	0	0.3	11.0	17.1	3.0	4.6	2.0	6.4
	0	0.2	2.0	5.9	1.0	4.6	3.5	1.8
6・上	3.0	1.7	63.0	37.0	21.0	16.2	25.5	13.8
	7.0	1.8	46.0	55.3	26.0	41.4	34.0	26.6
	2.0	1.7	20.0	27.3	14.0	25.6	2.0	21.1
7・上	0	2.5	34.5	24.9	15.0	13.2	3.6	11.5
	6.0	6.0	41.4	36.2	46.0	23.9	9.4	15.3
	8.9	2.6	41.3	28.6	32.1	28.7	13.8	27.1
8・上	11.1	11.7	38.8	40.8	30.9	23.1	25.3	22.6
	5.5	7.0	23.0	41.8	38.5	22.3	20.5	18.4
	20.5	4.6	124.0	56.8	49.5	32.7	49.5	22.2
9・上	15.3	18.7	50.3	75.0	47.2	34.0	14.8	15.5
	10.7	8.1	32.7	27.8	51.8	22.1	18.2	9.4
	7.0	1.2	4.3	7.5	25.0	7.8	3.0	1.6
10・上	0	0.2	2.7	1.1	3.0	2.1	0	0.2
	0	0	0	0.4	0	0.1	0	0.0
	0	0	0	0.3	0	0.0	0	0
計	102.0	76.8	698.4	666.5	462.0	381.5	296.4	310.5

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：総誘殺数は、鳥取市福部町、県予察ほ場で平年に比べてやや多く、湯梨浜町、八頭町で平年並

(カ) モモシクイガ

第18表 フェロモントラップ（武田製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	1.0	0	0.0	0	0
下	0	0	15.0	28.6	0	2.5	0.1	2.3
6・上	0	0.2	90.0	99.6	3.0	5.9	0.9	9.4
中	0	0.3	92.0	78.0	12.0	12.6	7.0	18.0
下	0	0	68.0	44.2	16.0	12.2	1.0	15.9
7・上	0	0	42.7	80.2	11.0	19.4	8.2	13.7
中	0	0	35.3	22.2	3.0	7.3	1.8	7.0
下	0	0	30.3	31.3	4.5	5.9	2.8	5.0
8・上	0	0.5	103.8	76.6	14.5	18.2	32.3	13.5
中	0	0.1	128.0	53.5	47.4	13.4	23.0	7.0
下	0	0	132.0	40.9	4.6	4.4	11.0	4.7
9・上	0	0	33.4	63.7	0	3.3	1.0	0.4
中	0	0	3.6	14.4	0	1.4	0	0.3
下	0	0	1.0	1.4	0	0.1	0	0
10・上	0	0	0	0.3	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1.1	775.0	636.1	116.0	106.7	89.0	97.2

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：総誘殺数は、湯梨浜町で平年に比べてやや多く、鳥取市福部町、八頭町で平年並
県予察ほ場で平年に比べて少なかった。

(キ) ハマキムシ類

a. チャノココクモンハマキ

第19-1表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャノココクモンハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	1.8	2.8	2.0	0.3	2.0	0.2	3.0	3
中	20.2	3.9	5.0	0.8	23.0	2.2	4.0	1.9
下	61.7	6.6	18.0	2.5	52.0	4.3	0	1.6
5・上	47.3	33.7	36.0	10.2	56.0	24.4	4.0	0.3
中	38.0	20.1	13.0	8.4	37.0	21.3	2.0	1.2
下	4.0	4.0	2.0	4.6	5.0	7.3	2.0	0.3
6・上	0	2.5	16.0	0.7	13.0	2.9	2.0	0.2
中	12.0	5.4	5.0	3.1	42.0	8.8	2.0	0.5
下	66.0	12.5	29.0	6	65.0	14.8	3.0	0
7・上	34.5	20.9	16.0	8.8	60.0	10.5	2.0	0.9
中	5.5	4.4	4.0	3.6	32.0	6.3	1.0	0.4
下	4.5	3.0	5.0	2.9	44.0	7.4	2.0	0.6
8・上	22.5	5.0	18.0	9.1	56.0	14.1	8.0	0.2
中	52.3	5.3	14.0	5.4	54.0	7	7.0	0.2
下	13.8	2.8	12.0	2.4	60.0	11.3	5.0	0.7
9・上	19.7	3.3	6.0	1.4	23.0	31.3	6.0	0.7
中	67.3	11.7	22.0	4.6	92.0	16.1	7.0	0.6
下	109.0	22.1	12.0	5.8	145.0	14.4	8.0	0.9
10・上	81.0	30.2	30.0	8.4	77.0	15.3	1.0	0.3
中	37.0	22.2	2.0	6.7	17.0	12.6	1.0	0.2
下	9.0	13.2	2.0	3	9.0	4.6	1.0	0.4
計	707.0	235.3	269.0	98.7	964.0	237.1	71.0	15.1

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：鳥取市福部町、湯梨浜町、県予察ほ場で平年に比べて多く、八頭町でやや多かった。

b. チャハマキ

第19-2表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0.9	0	5.0	0.1	1.0	0.6	25.0	3.7
	1.1	0.0	12.0	2.7	1.0	1.6	89.0	10.2
	1.3	0.3	22.0	8.2	6.0	2.6	44.0	15.9
5・上	2.7	3	25.0	8.7	14.0	19.8	87.0	20.5
	9.0	1.4	13.0	9.9	14.0	24.1	70.0	35.6
	3.0	0.9	14.0	5.5	11.0	21.9	80.0	60.4
6・上	0	0.3	16.0	6.9	8.0	12.6	33.0	62.1
	1.0	0.3	2.0	4.1	1.0	5.1	34.0	44.3
	0	0.1	2.0	2.2	2.0	6.5	37.0	30.6
7・上	0.9	1	5.0	3.1	6.0	8.1	0.0	16.6
	8.1	0.1	1.0	3	18.0	9.9	70.0	23.2
	7.5	0.3	9.0	4.6	7.0	9.5	75.0	31
8・上	2.5	0.1	9.0	7.3	4.0	9.3	41.0	19.5
	2.6	0.1	8.0	4.8	8.0	7.2	40.0	18.4
	28.4	0.0	3.0	2	12.0	8	35.0	16.2
9・上	0.4	0.7	4.0	3.6	4.0	9.3	60.0	32.3
	3.6	0.2	12.0	2.8	14.0	21.2	65.0	36.8
	9.0	0.7	8.0	3.4	40.0	33.7	70.0	28.4
10・上	8.0	2.4	40.0	6.4	44.0	35.7	115.0	10.1
	14.0	4.3	20.0	4	54.0	16.7	100.0	14.9
	12.0	1.7	17.0	6.1	77.0	8.7	102.0	13.2
計	116.0	17.9	247.0	99.4	346.0	272.1	1272.0	543.9

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：湯梨浜町、県予察ほ場で平年に比べて多く、八頭町でやや多く、鳥取市福部町で平年並であった。

c. ハマキムシ類による幼果の被害

第20表 地区予察ほ場における被害状況（6月上旬調査）

地点	6月		収穫期	
	調査果数	被害果率(%)	調査果数	被害果率(%)
八頭町	300	0.3	150	0
湯梨浜町	300	0	60	0

要約：

6月上旬調査で一部果実に被害が確認された。

(ク) コナカイガラムシ類

a. コナカイガラムシ類の越冬密度調査

第21表 県内定点ほ場における発生状況（1バンド当たり）

年次	県予察ほ場		巡回調査園(9園)	
	幼虫 ¹⁾	卵のう ²⁾	幼虫	卵のう
本年	0	0	0	0
平年	0	0	0	0

(注) ¹⁾：マツモトコナカイガラムシ幼虫

²⁾：クワコナカイガラムシ卵のう

要約：バンド内にコナカイガラムシ類は確認されなかった。

b. クワコナカイガラムシ

第22表 県予察ほ場におけるふ化状況

区別	ふ化初日	50%ふ化日	ふ化終息日	50%ふ化日	
				平年比（日）	
百葉箱	越冬世代	4. 26 (5. 3)	4. 30 (5. 9)	5. 13 (5. 21)	-9
	第1世代	6. 22 (7. 3)	7. 1 (7. 8)	7. 6 (7. 18)	-7

(注) ()内は平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：ふ化最盛期は、越冬世代、第一世代ともに平年に比べて早かった。

c. 収穫果実の被害

第23表 果実の被害状況

	被害果率(%)		
	県予察ほ場(6号)	八頭町	湯梨浜町
本年	0	0	0
平年	0	0	0

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均
要約：被害は確認されなかった。

(ケ) ハダニ類

第24表 県予察ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

種類	年次別	県予察ほ場
1. クワオオハダニ卵 (短果枝あたり)	本年	0
	平年	0.3
2. カンザワハダニ (バンドあたり)	本年	0.3
	平年	0.0
3. ナミハダニ (バンドあたり)	本年	0.7
	平年	0.0

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均
要約：カンザワハダニ、ナミハダニの越冬虫は平年に比べて多かった。クワオオハダニの越冬卵は平年に比べて少なかった。

第25表 県内定点調査ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

調査地点	カンザワハダニ (バンドあたり)			ナミハダニ (バンドあたり)			クワオオハダニ (短果枝あたり)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
東部	鳥取市 佐治町	0	中止	0	0	中止	0	38.0	中止	0.1
	鳥取市 青谷町	0	0	0	0	0	0	20.0	2.1	0.5
	八頭町 郡家	15.3	0.3	38.7	13.7	0	0.4	0	0	0.2
中部	倉吉市 中野	0	0.5	0.1	0	0	0	2.4	0	0
	湯梨浜町 別所	0	2.5	1.1	0	0	0.1	0.0	0	1.7
	北栄町 由良宿	0.3	0	0.0	0.7	0.2	0.0	0	0	0.3
	琴浦町 竹ノ内	0.7	0	9.3	1	0	0	0	0	0.3
西部	大山町 中山	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	南部町 朝金	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
平均	1.8	0.4	5.5	1.7	0.0	0.1	6.7	0.3	0.4	

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均。大山町と南部町は令和元年、鳥取市佐治町は令和3年度から調査地点変更(平年値は変更前の調査地点の値を示す)。鳥取市佐治町の令和2年度調査は調査園伐採のため、中止とした。

要約：ハダニ類の越冬量は、ナミハダニ、クワオオハダニは平年に比べて多く、カンザワハダニは平年並であった。

第26表 県予察ほ場におけるクワオオハダニ越冬卵のふ化状況

区別	ふ化初日	50%ふ化日	ふ化終息日	50%ふ化日 平年比(日)
	百葉箱	4.8 (4.16)	4.14 (4.25)	4.23 (5.4)

(注) ()内は平年の月日。平年・・・平成22年～令和元年の平均(令和2年度は採取できず、未実施)
要約：クワオオハダニのふ化最盛期は、平年に比べて早かった。

第27表 県予察ほ場におけるハダニ類の発生消長（1葉当たり雌個体数）

月・旬	カンザワハダニ		ナミハダニ		クワオオハダニ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5・上	—	0	0	0	0	0
5・中	0	0	0	0	0	0
5・下	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0	0	0	0	0
6・中	0	0	0	0	0	0
6・下	0	0	0	0.0	0	0
7・上	0	0.0	0	0.0	0	0
7・中	0	0.0	0	0	0	0
7・下	0	0	0.0	0.0	0	0
8・上	0	0.2	0.0	0.1	0	0
8・中	0	0.0	0.0	0.1	0	0
8・下	0	0.1	0.4	0.0	0	0.0
9・上	0	0.7	0	0.1	0	0.0
9・中	0	0.2	0.0	0.2	0	0.0
9・下	0	0.0	0	0.1	0	0
10・上	—	0.1	—	0.1	—	0
10・中	—	0.1	—	0.1	—	0.0
10・下	—	0.0	—	0.0	—	0.0

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均。3樹100葉調査(令和元年から2樹100葉調査)。表中の「—」は、調査樹伐採のため欠測。ダニ剤の散布履歴(6/30ダニコングフロアブル、8/2ダニゲッターフロアブル、8/31ダニオーテフロアブル)。要約：ハダニ類の発生量は、平年並～やや少なくて推移した。

第28表 地区予察ほ場におけるハダニ類寄生葉率¹⁾の推移

地区 月・旬	八頭町			湯梨浜町		
	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ
5・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
6・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	10.0(0.24)
8・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	12.0(0.18)
9・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

(注) 1) 50葉あたり寄生葉率、()内の数字は1葉当たり虫数
要約：湯梨浜町で7、8月にクワオオハダニの寄生が確認された。八頭町では確認されなかった。

第29表 県内定点調査ほ場における発生状況（7月調査）

地区	寄 生 葉 率 (%)	寄 生 葉 率 (%)					
		クワオオハダニ		カンザワハダニ		ナミハダニ	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
東部	鳥取市 佐治町	0	—	0	—	0	—
	鳥取市 青谷町	28.3	—	41.7	—	0	—
	八頭町 花原	0	9.1	0	2.1	0	0.6
中部	倉吉市 中野	0	0	0	0	0	0.2
	湯梨浜町 別所	0	5.0	13.3	5.8	0	0.5
	北栄町 園試	0	0	0	0	0	0
西部	琴浦町 竹ノ内	0	7.8	0	6.3	0	0
	大山町 坪田	1.7	—	0	—	0	—
	南部町 朝金	0	0.2	8.3	0.7	0	0
平均	3.3	3.7	7.0	2.5	0.0	0.2	

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均。八頭は平成26年から、大山町と南部町は令和元年から調査地点変更(大山町と南部町の平年値は昨年までの調査地点の値を示す)。

要約：[クワオオハダニ] 前年比：やや多い、平年比：並
[カンザワハダニ] 前年比：やや多い、平年比：やや多い
[ナミハダニ] 前年比：並、平年比：やや少ない

(コ) ニセナシサビダニ

第30表 ニセナシサビダニの成若虫の
葉当たり密度（県予察ほ場）

月・旬	本年	平年
5・上	0	2.7
中	0.4	10.7
下	124.4	67.4
6・上	475.0	424.0
中	934.6	1057.6
下	1092.0	1291.0
7・上	1438.0	555.9
中	—	3.0

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均
殺ダニ剤無散布条件下
表中の「—」は、葉を採取できず欠測。
要約：発生時期は平年並で、発生量は平年並であった。

(サ) カメムシ類

a. 種類別の誘殺個体数

第31表 誘殺されたカメムシの種類別個体数（3地区合計）

種 類	本年	平年
チャバネアオカメムシ	3,124.0	6,983.5
クサギカメムシ	1,272.8	3,035.1
ツヤアオカメムシ	994.0	3,735.2
アオクサカメムシ	180.0	157.0

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均
要約：発生量は、アオクサカメムシは平年並、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシは平年に比べて少なく、クサギカメムシはやや少なかった。

第32表 予察灯による誘殺状況（チャバネアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0.0	0	0.0
下	0	1.5	0	1.8	0	1.0
5・上	0	4.5	10.0	10.7	2.7	9.1
中	43.0	57.7	20.6	44.4	118.0	22.4
下	6.0	32.8	21.1	56.1	14.0	51.2
6・上	3.0	44.6	26.1	37.6	27.0	47.1
中	9.0	31.5	31.9	32.6	21.0	32.1
下	18.0	89.8	9.3	173.4	21.0	73.1
7・上	27.0	123.9	47.0	635.8	37.3	112.3
中	11.0	80.2	7.0	406.0	25.7	98.1
下	14.4	64.6	21.0	285.9	14.7	92.7
8・上	62.6	174.1	81.4	263.1	34.3	150.2
中	261.3	319.5	270.3	272.5	90.0	171.0
下	277.7	204.3	482.3	446.7	233.0	190.4
9・上	57.3	102.8	26.0	454.5	82.5	207.0
中	63.7	60.1	—	328.8	135.5	115.5
下	60.0	42.6	—	280.0	154.7	56.0
10・上	38.0	30.9	12	262.2	77.3	52.1
中	0	1.9	9	33.7	7.0	6.3
下	0	0.6	0	2.3	1.0	0.5
合計	952.0	1467.8	1075.0	4027.9	1097.0	1487.8

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均
八頭町は令和3年度から調査地点を変更。平年は前年までの調査地点の数値。表中の「—」は欠測。
要約：誘殺数は、湯梨浜町、県予察ほ場で平年並、八頭町で平年に比べてやや少なかった。

第33表 予察灯による誘殺状況（クサギカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0.1	1.7	0.1
中	0	0	0	0.1	0.2	0.1
下	0	0	0	1.9	0	0.9
5・上	0	0.2	0	2.7	0	0.8
中	0	1.5	0	4.2	1.0	0.3
下	0	0.8	0	9.3	0	1.4
6・上	0	0.4	1.6	11.8	1.0	2.5
中	1.0	1.9	5.3	15.4	3.0	1.6
下	0	4.6	7.1	39.3	2.0	4.8
7・上	8.0	11.6	17.0	100.9	1.8	16.2
中	3.0	26.0	43.0	204.2	4.2	25.9
下	3.9	45.3	63.7	407.7	2.8	57.8
8・上	24.1	85.2	126.6	392.2	8.3	106.3
中	47.3	90.5	248.7	391.7	94.0	160.7
下	67.7	38.5	193.0	264.7	176.0	95.7
9・上	1.0	9.3	2.0	75.7	8.2	27.0
中	1.0	4.1	-	52.1	31.8	17.3
下	0	0.9	-	46.7	25.9	17.2
10・上	0	2.9	8	59.7	19.1	21.7
中	0	2.8	6	24.2	5.0	19.6
下	0	3.9	0	12.3	8.0	9.8
合計	157.0	330.4	722.0	2116.9	393.8	587.8

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

八頭町は令和3年度から調査地点を変更。平年は前年までの調査地点の数値。表中の「-」は欠測。
要約：誘殺数は、湯梨浜町で平年に比べてやや少なく、八頭町、県予察ほ場で少なかった。

第34表 予察灯による誘殺状況（ツヤアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0.1	0	0.1
5・上	1.0	1.3	0.4	0.7	0	0.7
中	6.0	12.6	0.9	3.0	5.0	4.4
下	3.0	33.4	1.1	6.3	7.0	12.2
6・上	2.0	36.1	2.7	17.4	19.0	42.7
中	16.0	53.7	3.3	47.1	11.0	46.9
下	4.0	105.9	0.7	79.7	6.0	147.3
7・上	4.7	119.9	6.0	85.7	13.6	147.6
中	2.3	58.2	4.0	54.9	3.4	117.8
下	6.3	96.2	0.9	81.0	4.6	96.6
8・上	42.7	145.4	15.7	117.6	37.4	146.8
中	78.3	109.6	154.4	99.5	98.0	124.8
下	24.7	47.1	35.0	92.3	104.0	90.1
9・上	14.7	45.7	3.0	102.1	18.2	73.0
中	13.3	30.8	-	102.5	11.8	61.6
下	13.0	24.2	-	205.6	27.4	53.0
10・上	31.0	29.1	22.9	229.1	23.6	50.3
中	24.0	11.5	22.1	107.3	26.0	17.3
下	2.0	19.0	7.0	75.8	9.0	14.5
合計	289.0	979.7	280.0	1507.7	425.0	1247.8

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

八頭町は令和3年度から調査地点を変更。平年は前年までの調査地点の数値、表中の「-」は欠測
要約：誘殺数は、県予察ほ場で平年並。八頭町、湯梨浜町で平年に比べてやや少なかった。

第35表 予察灯による誘殺状況（アオクサカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0.1	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0
	0	0.1	0	0.1	0	0
	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0	0	0.1	0	0.1
	0	1.0	0	0	0	0.1
	0	0.9	0	0	0	0.4
7・上	1.0	2.7	0	0.4	0.9	0.2
	0	14.3	10.0	2.5	0.1	1.3
	0.3	25.3	10.1	5.8	0.9	0.7
8・上	0.7	21.8	13.7	8.9	0.1	0.5
	0	17.8	18.4	13.6	1.0	0.5
	0	14.5	46.7	7.0	0	0.2
9・上	1.0	5.2	2.0	3.1	0	0.3
	0	0.9	-	1.0	0	0.3
	4.0	0.5	-	0.9	0	0.3
10・上	1.0	0.3	35.4	1.9	0	0
	1.0	0.2	31.6	0.4	0	0.4
	0	0.1	0	0.1	0	0.0
合計	9.0	106.0	168.0	45.7	3.0	5.3

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

八頭町は令和3年度から調査地点を変更。平年は前年までの調査地点の数値。表中の「-」は欠測。

要約：誘殺数は、八頭町で平年に比べてやや多く、湯梨浜町で平年並。北栄町で平年に比べてやや少なかった。

第36表 合成集合フェロモントラップ¹⁾による誘殺状況

月・旬	県予察ほ場				八頭町花原（水田畦畔）			
	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルホシヒラタヤトリハエ	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルホシヒラタヤトリハエ
4・上	0	0	0	0	0	0.9	0	0
	2.0	0	0	3.0	0	0	0	0
	7.0	0	0.3	20.8	0	0	0	0.7
5・上	28.0	1.0	2.7	54.2	10.0	0	0	0.3
	26.0	4.0	4.0	27.0	14.3	0	0	0
	12.0	8.0	7.0	40.0	1.6	0	0	0
6・上	10.0	3.0	1.0	1.0	4.3	0	0	0
	4.0	3.0	0	5.0	10.2	0	0	0
	9.0	0	0	7.0	13.6	0	0	0
7・上	9.5	0	0	9.8	88.0	0	0	0
	0.5	0	0	10.2	4.0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0
8・上	0	0	0	0	0	0	0	0
	1.0	0	0	2.3	0.9	0	0	0
	2.0	0	0	2.7	7.1	0	0	0
9・上	7.5	0	0	2.0	3.3	0	0	0.1
	7.5	0	0	1.0	1.3	0	0	0.7
	7.0	1.0	1.0	0	11.5	0	0	0.2
10・上	8.0	4.0	4.0	4.0	10.9	0.6	0	0
	1.0	2.0	2.0	1.0	4.0	0.4	0	0
	1.0	0	0	5.0	0	0	0	0
合計	143.0	26.0	22.0	196.0	185.0	1.9	0	2.0

(注) ¹⁾ ルアーはチャバネアオカメムシ用誘引剤、水盤式トラップ

八頭町は令和3年度から調査地点を変更。平年は前年までの調査地点の数値

要約：チャバネアオカメムシの誘殺数は、県予察ほ場で5月上旬～7月上旬、9月上旬～10月上旬、八頭町で5月上旬～7月上旬、9月下旬～10月上旬に増加した。

第37表 クサギカメムシの越冬調査

地点	個体数/トラップ									
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	平年	
佐治町	0.5	0	0	9.5	6.5	5.5	9.0	1.5	7.6	
河原町	0	9.5	19.5	25.0	29.0	24.5	8.0	13.5	21.6	
八頭町	0	0	6.0	3.5	9.0	8.5	3.0	4	6	
湯梨浜町	1.0	2.5	6.5	3.0	7.5	11.0	7.5	15	7.1	
関金町	0	0	2.0	1.0	2.5	0.5	1.0	0.5	1.3	
倉吉市				3.4	54.0	10.5	12.5	24	20.2	
北栄町	1.0	0	2.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	0.8	
琴浦町	0	0	10.0	5.0	17.0	8.0	7.0	30	9.3	
大山町	0.5	1.5	0.5	7.0	4.0	0.5	3.0	9.5	3.6	
南部町	0.5	1.0	5.0	3.0	10.5	2.0	0.5	0	4	
平均	0.6	2.4	5.7	6.1	14.1	7.2	5.3	9.9	8.1	

注) 平成25年から調査方法を変更、表中の数字はトラップあたりの成虫の捕獲数。平年は、2017～2021年の平均

要約：捕獲数は平年に比べてやや多かった。

b. 果実の被害調査

第38表 地区予察ほ場における被害状況

月・旬	八頭町(新興)			湯梨浜町(山梨・二十世紀)		
	調査果数	被害果率(%)		調査果数	被害果率(%)	
		本年	平年		本年	平年
5・中	50	0	0.4	50	0	0
7・下	50	4.0	0.7	50	0	0

(注) 調査時期：八頭町池田・・・5月15日・7月25日
湯梨浜町・・・5月15日・7月30日

平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：7月下旬に八頭町で被害が確認された。

第39表 定点調査ほ場における被害状況(7月28日調査)

調査地点	品種	被害果率(%)		
		本年	前年	平年
鳥取市	豊水	0	0	0.1
倉吉市	幸水	0	0	0.1
北栄町	幸水	0	0	0.1
平均		0	0	0.1

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

北栄町は、200果/園の露地無袋果実(幸水・豊水等)における調査

要約：被害は確認されなかった。

(シ) アブラムシ類

第40表 県予察ほ場におけるアブラムシ類の寄生新梢率の推移

月・半旬	寄生新梢率(%)					
	ワタアブラムシ		モモアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月 5半旬	0	0.6	0	0	0	0
	0	2.2	0	0.5	0	0.3
5月 1半旬	0	4.7	0	1.6	0	4.9
	0	5.6	0	1.4	0.9	6.7
	0.9	6.5	0	1.6	7.2	8.0
	1.8	9.0	0	1.9	15.3	13.9
	2.5	15.5	0	1.6	6.7	21.9
	1.6	20.4	0	1.2	14.0	26.9
6月 1半旬	0	22.3	0	0.9	15.4	26.8
	0.8	18.1	0	0.4	5.4	28.7
	0	12.4	0	0.2	3.1	19.8
	0	10.9	0	0.2	0	18.0
	0	7.2	0	0	1.0	12.4
	0	2.8	0	0.2	2.0	4.2
7月 1半旬	-	2.0	0	0.4	3.0	2.0
	0	0.6	-	0	-	0.4
	-	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均、殺虫剤無散布の条件下

要約：発生時期は平年並で、発生量は平年に比べてやや少なかった。

第41表 県内定点調査ほ場における発生状況（5月調査）

地 区	寄生新梢率（％）								
	ワタアブラムシ（黒）		ワタアブラムシ（緑）		モモアカアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
東 部	鳥取市 佐治町	0	1.0	0	0	0	1.3	0	0
	青谷町	0	0.7	0	0	0	0.3	3.3	1.0
	八頭町 上峰寺	6.7	1.7	0	0	0	2.0	3.3	3.3
中 部	倉吉市 中野	0	0.3	0	0	3.3	0	0	0
	湯梨浜町 別所	0	0	0	0	0	0.3	0	0.3
	北栄町 園試	0	0.3	0	0	0	0	0	2.0
	琴浦町 竹ノ内	3.3	2.7	0	0	0	1.0	3.3	0.3
西 部	大山町 坪田	3.3	1.7	0	0	0	1.3	0	2.7
	南部町 朝金	3.3	2.3	0	0	0	0	0	1.0
平 均		1.8	1.2	0	0	0.4	0.7	1.1	1.2

（注）平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：アブラムシ類の発生量は平年並であった。

イ. ブドウ

（ア）生育状況

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場砂丘地農業研究センター）

作型・品種	年次	萌芽期	展葉期	開 花 期			着色期	成 熟 期	落 葉 期
				始め	満開	終り			
無加温ハウス デラウエア	本年	3.08	3.22	4.27	5.02	5.07	6.10	7.10～7.15	11.10
	前年	3.05	3.23	5.03	5.09	5.14	6.15	7.15～7.22	11.10
	平年	3.16	3.26	4.30	5.05	5.11	6.09	7.16～7.21	11.11
巨 峰	本年	3.08	3.29	5.12	5.18	5.21	6.29	7.20～8.15	11.10
	前年	3.05	3.28	5.13	5.19	5.22	7.01	7.19～8.18	11.10
	平年	3.18	3.29	5.06	5.14	5.17	6.26	8.05～8.14	11.15
ピオーネ	本年	3.08	3.29	5.12	5.18	5.21	6.29	7.20～8.15	11.10
	前年	3.05	3.28	5.13	5.19	5.22	7.01	7.19～8.21	11.10
	平年	3.18	3.30	5.06	5.14	5.18	6.28	8.05～8.15	11.17

（注）平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約

- ・暖冬で積雪が少なかったため、天井ビニールの被覆時期は2月下旬ごろが中心となり、平年よりも早い被覆時期となった。被覆後も平均気温は平年より高く推移し、各品種の萌芽期は平年と比べて10日以上早かった。
- ・3月～4月も順調に生育し、デラウエアでは開花期が平年より7日程度早くなった。巨峰、ピオーネの開花期はほぼ平年どおりであった。
- ・デラウエアの成熟期は7月中旬で平年より5日程度早かった。7月上旬に記録的な大雨が降ったが、裂果や病害の発生は少なかった。
- ・巨峰・ピオーネは7月の天候が良かったため、早期に肥大し、成熟期も平年より10日程度早かった。なお、7月下旬の夜温が高かったため、収穫の後半（8月以降）の着色は遅れ気味であった。
- ・病気の発生は少なかったが、5月の梅雨入り以降、白腐病の発生がわずかに確認された。8月上旬の大雨以降、ハウスの谷間等においてべと病の発生が確認された。
- ・虫害では、アザミウマ類やハマキムシ類の発生は平年並であった。シャインマスカットを中心にカイガラムシ類の発生が多かった。

（イ）晩腐病・灰色かび病など

第2表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（園芸試験場砂丘地農業研究センター）

病害名	調査月日	品種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
晩腐病	8月4日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%
灰色かび病	5月8日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%
白腐病	8月4日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%

要約：晩腐病、灰色かび病、白腐病の発生はみられなかった。

(ウ) チャノキイロアザミウマ

第3表 粘着トラップ「黄色平板」によるチャノキイロアザミウマの誘殺消長
(園芸試験場砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0
中	0	1	0	0
下	0	1	0	3
6・上	0	1	0	1
中	2	1	0	1
下	1	7	0	2
7・上	4	12	1	8
中	8	30	4	38
下	8	56	16	187
8・上	63	116	34	134
中	25	156	52	101
下	63	120	20	120
9・上	93	58	11	82
中	44	50	8	44
下	30	25	11	20
10・上	4	8	1	12
中	0	2	0	3
下	0	1	0	0
合計	345	644	158	756

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均
要約：露地の発生量は平年に比べてやや少なく、8月下旬～9月上旬が発生のピークであった。無加温ハウスの発生量は平年に比べてやや少なく、7月下旬から発生量が増え、8月中旬が発生のピークであった。

(エ) チャノコカクモンハマキ

第4表 フェロモントラップによるチャノコカクモンハマキの誘殺消長
(園芸試験場砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	13	2	0	0
中	54	14	3	2
下	76	29	0	4
5・上	58	54	0	4
中	21	25	0	4
下	5	6	0	1
6・上	10	1	0	0
中	38	15	1	1
下	22	40	3	4
7・上	29	18	2	3
中	27	10	3	2
下	36	29	6	7
8・上	65	41	9	10
中	40	15	4	4
下	50	8	8	3
9・上	61	24	11	6
中	207	45	29	15
下	223	55	48	16
10・上	148	38	39	17
中	54	29	15	14
下	1	18	1	8
11・上	2	10	4	4
中	0	2	4	1
下	4	1	2	0
合計	1,244	528	192	128

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均
要約：露地の発生量は平年に比べてやや多く、8月～10月にかけて発生量が多かった。露地では、4月下旬、5月上旬、6月中旬、7月下旬、8月上旬、9月中～下旬にピークがみられた。無加温では、4月中旬、6月下旬、8月上旬、9月下旬にピークがみられた。

第5表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況
(園芸試験場砂丘地農業研究センター)

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
ハマキムシ類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害は認められなかった。

(オ) 果実吸蛾類

第6表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況

（園芸試験場砂丘地農業研究センター）

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
果実吸蛾類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害は認められなかった（防蛾灯の設置あり）。

ウ. カキ

（ア）生育状況（品種：富有65年生）

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場河原試験地）

調 査 項 目	本 年	平 年
萌 芽 期	2.22	2.16
発 芽 期	3.17	3.16
展 葉 期	4.04	4.09
開 花 初 期	5.21	5.21
最 盛 期	5.24	5.24
終 期	5.28	5.28
新梢発育停 止 期	5.23	5.26
果実の着色 始 め	9.23	9.24
落 葉 期	11.30	11.28

（注） 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：展葉期は平年より5日早く、開花期は平年と同一日で、着色始めは平年より1日早かった。

果実の10日間肥大量は、8月上旬から中旬と9月上旬から下旬に平年を下回る期間であったが、その他は平年を上回る肥大で果実の大きさは平年をやや上回った。

病害虫については、カメムシ類やハマキムシ類の発生が平年に比べてかなり多い時期があったが、果実被害は少なかった。

軟果、ヘタスキの発生が多かったが、汚損等は少なく、収穫期は平年並であった。

(イ) カメムシ類・カキノヘタムシガ・モモノゴマダラメイガ

第2表 県予察ほ場における予察灯による誘殺状況（園芸試験場河原試験地）

月・半旬	カメムシ類								カキノヘタムシガ		モモノゴマダラノメイガ	
	チャバネアオカメムシ		アオクサカメムシ及びツヤアオカメムシ		クサギカメムシ		総計		本年	平年	本年	平年
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年				
5・1	0	1.6	0	0.1	0	0.8	0	2.5	0	0.0	0	0.0
2	0	1.7	1	0.2	0	0.2	1	2.1	0	0.0	0	0.0
3	6	4.9	0	0.5	0	0.3	6	5.7	0	0.0	0	0.0
4	2	15.1	0	1.2	0	1.3	2	17.6	1	0.1	0	0.0
5	5	30.3	3	1.3	0	0.9	8	32.5	0	0.0	0	0.0
6	0	65.3	1	3.4	0	2.4	1	71.1	0	0.3	0	0.1
6・1	1	23.4	0	7.3	0	2.0	1	32.7	0	1.0	0	0.2
2	2	12.2	0	11.6	0	3.0	2	26.8	0	0.3	0	0.7
3	20	24.2	5	25.2	0	3.5	25	52.9	0	0.1	1	0.6
4	1	15.8	4	18.1	0	2.1	5	36.0	0	0.0	1	0.4
5	1	15.8	0	17.0	0	1.7	1	34.5	0	0.0	0	0.4
6	5	47.7	0	53.3	1	3.8	6	104.8	0	0.0	0	0.4
7・1	14	59.3	4	29.8	0	9.5	18	98.6	0	0.0	0	0.2
2	9	55.4	0	39.9	2	13.8	11	109.1	0	0.0	0	0.0
3	2	54.1	0	34.5	4	27.7	6	116.3	0	0.0	0	0.0
4	4	73.7	1	34.1	5	41.5	10	149.3	0	0.1	0	0.0
5	2	69.3	1	31.9	3	70.5	6	171.7	1	0.1	0	0.1
6	6	76.7	4	58.1	11	113.8	21	248.6	0	0.5	0	0.2
8・1	1	93.3	0	42.6	4	125.9	5	261.8	0	0.0	0	0.0
2	0	133.5	0	71.7	0	139.1	0	344.3	0	0.0	0	0.0
3	0	157.0	0	73.6	0	165.2	0	395.8	0	0.0	0	0.4
4	0	167.0	0	60.0	0	132.6	0	359.6	0	0.1	0	0.0
5	1,491	219.0	290	57.7	204	128.0	1985	404.7	0	0.0	1	0.1
6	762	172.6	112	43.3	98	50.7	972	266.6	0	0.0	1	0.1
9・1	92	170.9	13	28.1	14	22.9	119	221.9	0	0.0	0	0.2
2	147	233.9	2	30.8	2	17.5	151	282.2	0	0.0	2	0.0
3	396	134.6	6	22.3	20	19.6	422	176.5	0	0.0	0	0.0
4	251	84.9	17	24.6	7	11.8	275	121.3	0	0.0	0	0.4
5	1,449	94.7	22	36.9	62	9.2	1533	140.8	0	0.0	0	0.9
6	468	123.4	54	72.0	23	11.3	545	206.7	0	0.0	1	0.4
10・1	271	89.7	99	56.8	16	8.2	386	154.7	-	-	-	-
2	343	82.5	118	50.9	47	10.6	508	144.0	-	-	-	-
3	17	11.3	74	19.4	6	5.3	97	36.0	-	-	-	-
4	1	2.9	25	47.9	1	6.0	27	56.8	-	-	-	-
5	0	2.4	0	24.4	0	4.5	0	31.3	-	-	-	-
6	0	0.6	3	11.4	0	2.0	3	14.0	-	-	-	-
合計	5,769	2,620.7	859	1141.9	530	1169.2	7,158	4,931.8	2	2.6	7	5.8

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：カメムシ類の発生は、7月下旬までは平年を下回る発生で少なかったが、チャバネアオカメムシは8月下旬、9月中旬から10月上旬に平年をかなり上回る誘殺数であった。クサギカメムシの誘殺数は8月下旬、9月下旬から10月上旬にかけて平年を上回った。9月下旬に追加防除を行い、果実被害は平年よりも少ない被害でおさまった。※8月上旬から中旬は予察灯が故障したため、一部欠測となった。

カキノヘタムシガ、モモノゴマダラノメイガの誘殺数は平年並で、果実被害はみられなかった。

(ウ) ハマキムシ類、ヒメコスカシバ

第3表 県予察ほ場における誘殺消長
(園芸試験場河原試験地)

月・旬	チャハマキ		チャノコカクモンハマキ		ヒメコスカシバ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	3	0.1	1	0.0	0	0.0
中	3	0.3	2	0.6	0	0.0
下	14	1.4	25	2.9	1	0.2
5・上	14	3.3	24	13.1	1	1.3
中	14	3.3	25	9.6	0	0.6
下	34	2.9	5	1.7	0	0.9
6・上	11	3.2	2	0.4	0	0.1
中	6	2.5	14	3.9	1	0.1
下	4	0.7	35	10.4	0	0.1
7・上	2	0.1	30	14.6	0	0.0
中	6	1.1	4	2.4	0	0.0
下	19	3.1	9	3.5	0	0.6
8・上	12	1.7	20	9.1	0	2.5
中	5	1.3	21	6.4	1	2.9
下	21	0.7	12	1.8	2	3.2
9・上	2	0.6	5	5.1	0	1.6
中	5	1.3	23	13.6	0	0.8
下	31	1.4	62	14.1	0	0.7
10・上	13	1.7	27	11.4	0	0.0
中	31	5.0	9	5.6	0	0.3
下	23	3.7	4	2.7	0	0.1
合計	273	39.4	359	132.9	6	16.0

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：チャハマキ及びチャノコカクモンハマキの誘殺数は平年より多かったが、定期防除等により果実被害は少なかった。

ヒメコスカシバの誘殺数は平年より少なく、被害は平年並であった。

(エ) アワフキ類

第4表 予察灯による成虫の誘殺状況
(園芸試験場河原試験地)

月・半旬	コガシラアワフキ		モンキアワフキ	
	本年	平年	本年	平年
5・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2
6・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1
3	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0
7・1	1	1.6	0	0.0
2	2	0.9	0	0.0
3	0	1.8	0	0.0
4	0	0.7	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	1	0.1
2	0	0.0	0	0.8
3	0	0.0	4	5.2
4	0	0.0	8	4.9
5	0	0.0	50	21.9
6	0	0.0	23	25.2
10・1	0	0.0	8	21.1
2	0	0.0	8	5.4
3	0	0.0	2	2.2
4	0	0.0	0	0.7
5	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0
合計	3	5.4	104	88.3

(注) 平年・・・平成23年～令和2年の平均

要約：コガシラアワフキの誘殺数は平年よりやや少なく、モンキアワフキの誘殺数は平年より多かった。果実の被害は平年並であった。

8 野菜病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な野菜病害虫の発程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
スイカ	372	つる枯病	0	0	7	99	106	28.5
		炭疽病	0	0	8	97	105	28.2
		疫病・褐色腐敗病	0	0	0	5	5	1.3
		うどんこ病	1	10	25	78	114	30.6
		菌核病	0	1	11	75	87	23.4
		アブラムシ類	0	0	0	95	95	25.5
		ハダニ類	0	0	0	74	74	19.9
キャベツ	106	黒腐病	0	0	3	13	16	15.1
		菌核病	0	0	0	5	5	4.7
		べと病	0	0	0	7	7	6.6
		軟腐病	0	0	0	9	9	8.5
		モンシロチョウ	0	0	0	21	21	19.8
		コナガ	0	0	0	42	42	39.6
		ヨトウガ	0	0	0	42	42	39.6
		ハスモンヨトウ	0	11	24	53	88	83.0
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	6	6	5.7
		アブラムシ類	0	0	0	25	25	23.6
		ハイマダラメイガ	0	0	0	19	19	17.9
ブロッコリー	731	軟腐病	0	4	17	75	96	13.1
		べと病	0	0	0	20	20	2.7
		黒腐病	0	6	17	222	245	33.5
		黒すす病	15	20	38	257	330	45.1
		コナガ	0	0	70	265	335	45.8
		ハスモンヨトウ	5	30	90	280	405	55.4
		ハイマダラメイガ	0	0	0	48	48	6.6
夏ネギ	171	さび病	0	0	9	91	100	55.9
		黒斑病	0	5	37	110	152	84.9
		萎縮病	0	0	0	3	3	1.7
		べと病	0	0	18	27	45	25.1
		軟腐病	0	2	24	35	61	34.1
		ネギハモグリバエ	0	16	48	97	161	89.9
		ネギアザミウマ	16	16	81	48	161	89.9

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
秋冬ネギ	322	さび病	0	0	0	10	10	2.9
		黒斑病	0	4	29	84	117	34.1
		萎縮病	0	0	0	2	2	0.6
		萎凋病	0	2	7	32	41	12.0
		べと病	0	0	1	7	8	2.3
		軟腐病	0	2	7	15	24	7.0
		アブラムシ類	0	0	0	3	3	0.9
		ネギハモグリバエ	0	30	92	183	305	88.9
		ネギアザミウマ	0	152	91	61	304	88.6
		ネギコガ	0	0	0	40	40	11.7
		シロイチモジヨトウ	32	97	129	32	290	84.5
ハスモンヨトウ	0	0	0	7	7	2.0		
イチゴ	21	灰色かび病	0	0	2	12	14	66.7
		うどんこ病	0	0	0	11	11	52.4
		炭疽病	0	0	0	9	9	42.9
		アブラムシ類	0	0	0	8	8	38.1
		ハダニ類	0	0	0	3	3	14.3
		ハスモンヨトウ	0	0	0	2	2	9.5
ナガイモ	52	炭疽病	0	2	5	25	32	58.2
		ナガイモコガ	0	0	0	13	13	23.6
		ハダニ類	0	2	7	14	23	41.8
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	7	7	12.7
ラッキョウ	176	白色疫病	0	0	2	19	21	11.9
		灰色かび病	0	0	12	110	122	69.3
		ネギハモグリバエ	0	0	10	66	76	43.2
		ネギアザミウマ	0	31	56	68	155	88.1

作付面積は、農林水産省統計情報、令和元年産野菜生産出荷統計（令和3年12月20日確報）よりラッキョウは平成30年産地域特産野菜生産状況（令和2年5月27日公表）を参照

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. スイカ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
つる枯病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月下旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生し、6月下旬には発生量は平年並となった。	梅雨入りが平年より早く、5月の降水量の増加に伴い発生を助長する気象条件となったが、6月下旬にかけて防除が徹底された。
疫病・褐色腐敗病 (平年並)	5月は発生が認められなかったが、6月以降、発生量が増加した。最終では発生時期・発生量ともに平年並であった。	梅雨入りが平年より早く、5月の降水量の増加に伴い発生を助長する気象条件であったが、防除が徹底された。
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月下旬からトンネル内の水滴が当たりやすいつる先から発生し、6月下旬には発生量は平年並となった。	4月の降水量が少なく、平均気温が高く推移したことから、本病を助長する気象条件となり、発生時期が早まった。防除適期を逸したほ場では多発したほ場もあった。
うどんこ病 (やや多い)	発生時期はやや早く、5月下旬以降、一部地域で発生量が多いほ場が見られた。最終の発生量はやや多かった。	5月の降水量が少なく、寡日照が続いたことから、発生を助長する気象条件となったが、定期防除および追加防除が徹底された。防除適期を逸したほ場では多発したほ場もあった。
菌核病 (平年並)	前年度発生ほ場など一部ほ場で発生が多くなったが、全体の発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	4月中旬の最低気温がかなり低く、発生を助長する気象条件となったが、5月の高温および定期防除の徹底により、発生が抑制された。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの結果、初飛来が例年より早く、誘殺数はやや多かった。ほ場における発生時期、発生量ともに平年並であった。	4月の平均気温が高く、発生を助長する気象条件であったが、定期防除が徹底された。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

イ. キャベツ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒腐病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
菌核病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	8～9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。
軟腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、9月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
べと病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	育苗期の防除が徹底された。9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。10月以降気温低下及び降水量が増加し、発生が増加した。定期防除が徹底された。
黒斑細菌病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は6月第3半旬から7月第3半旬、9月に増加したものの、全体としては平年よりやや多かった。ほ場の発生時期、発生量ともに平年並であった。	8月、9月の気温が高く、9月は降水量が少なかったため、発生の助長要因となったが、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、5月第4半旬から6月第1半旬までの誘殺数はやや多かったが、それ以降は平年並であった。ほ場での発生量は8月下旬には平年並であったが、9月下旬には発生量がやや多くなった。発生時期は平年並であった。	5月中旬及び9月の気温が高く、9月は降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除が行われたが、防除適期を逸し、多発するほ場が一部みられた。

ヨトウガ・ハスモン ヨトウ・シロイチ モジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガの誘殺数は平年並で、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの誘殺数はやや多かった。誘殺のピークは平年と比べてやや早く推移し、5月中旬、7月中旬、8月上旬に誘殺数が増加した。ほ場でのヨトウ類の発生時期は平年並、8月の発生量は平年並、9月はやや多かった。	4月、6月、8月及び9月の気温が高く、9月は降水量が少なかつたため、発生の助長要因となった。発生が多くみられるほ場では、追加防除が行われたが、防除適期を逸し、多発するほ場が一部みられた。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハイマダラノメイガ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

ウ. ブロッコリー

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
軟腐病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
黒腐病 (平年並)	9月以降、発生量が増加したが、発生時期・発生量は平年並であった。	9月の気温が高く、曇雨天が多かったことが助長要因となった。定期防除および追加防除が徹底された。
べと病 (平年並)	10月調査時に本ぼで発病が確認された。最終の発生時期は平年並・発生量はやや多かった。	育苗期の防除が徹底された。9月の気温が高く、発病に好適な気象条件にならなかった。10月以降気温低下および降水量が増加し、発生が増加したが、定期防除により発生の増加が抑えられた。
黒すす病 (やや多い)	8月中旬に育苗中の発生が認められた。本ぼでの発生時期は平年並である。9月以降発生量が増加し、最終的には、やや多い発生量となった。	8月の降水量がかなり多く、9月の気温が高く曇雨天が続いたことが、助長要因となった。定期防除に加え、降雨後の追加防除が行われたが、防除適期を逸し、多発するほ場が一部みられた。
アブラムシ類 (やや多い)	黄色水盤トラップの誘殺数はやや多く、ほ場での発生量はやや多かった。	8月及び9月の気温が高く、9月は降水量が少なかつたため、発生の助長要因となった。定期防除が実施されたが、防除適期を逸し、多発するほ場が一部みられた。

モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、5月第4半旬から6月第1半旬までの誘殺数はやや多かったが、それ以降は平年並であった。ほ場での発生量は8月下旬には平年並であったが、9月下旬には発生量がやや多くなった。発生時期は平年並であった。	9月の気温が高く、降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除が実施されたが、防除適期を逸し、多発するほ場が一部みられた。
ヨトウガ・ハスモン ヨトウ・シロイチ モジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、ヨトウガの誘殺数は平年並で、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの誘殺数はやや多かった。誘殺のピークは平年と比べてやや早く推移し、5月中旬、7月中旬、8月上旬に誘殺数が増加した。ほ場でのヨトウ類の発生時期は平年並で、8月の発生量は平年並、9月はやや多かった。	4月、6月、8月及び9月の気温が高く、9月は降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。発生が多く見られるほ場では、追加防除が行われた。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

エ. ネギ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
さび病 (平年並)	春：発生時期、発生量ともに平年並となった。 秋：発生時期、発生量ともに平年並となった。	4月の気温が高く、発病に好適条件となったが、定期防除が徹底された。その後は気温が高く推移し、発病に好適条件とならなかった。秋期も気温が高く、本病の発病に好適条件とならなかった。
黒斑病 (平年並)	5月下旬は、発生時期、発生量ともに平年並であった。8月下旬から9月下旬にかけて発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	7月、8月降雨後の高温によるネギの根痛みなどからの葉先枯れが多く見受けられた。9月の気温が高く、助長要因となったが、定期防除が徹底された。
萎縮病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並である。	媒介虫であるアブラムシ類の発生が平年並であったことから、平年並の発生量となった。
軟腐病 (平年並)	8月下旬以降発病が増加したものの、最終的な発生時期・発生量は平年並であった。	7月、8月の降水量が多く、9月の気温が高く推移したことから助長要因となったが、防除が徹底された。
べと病 (平年並)	発生時期・発生量ともに平年並であった。	4月の気温が高く、平年より梅雨入りが早かったため、発病に好適な条件であったが、防除が徹底された。
白絹病 (平年並)	発生時期は平年並で、7月下旬から発生した。最終的な発生量は平年並であった。	7月の高温と降雨により発生の助長要因となったが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
萎凋病 (平年並)	発生時期は平年並で、一部の圃場で発生が多かったものの、最終的な発生量は平年並であった。	平年より梅雨入りが早く、7～8月の降水量も多く、発生が助長される気象条件であったが、防除が徹底された。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は、6月中旬から7月下旬、8月下旬から9月下旬に増加した。ほ場の発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギハモグリバエ (やや多い)	発生時期は平年並であったが、発生量は8月下旬以降、やや多かった。	8月下旬以降の平均気温が高く、降水量が少なかったため発生の助長要因となった。定期防除が実施された。 全県下においてバイオタイプBの発生が確認された。

ネギアザミウマ (やや多い)	発生時期は平年並で、発生量は8月下旬は平年並であったが、9月下旬にかけて増加し、やや多くなった。	8月下旬以降の平均気温が高く、降水量が少なかったため発生が助長された。定期防除が実施されたが、防除適期を逸し、多発するほ場が一部みられた。
シロイチモジヨトウ (多い)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は5月上旬から6月上旬、8月下旬から9月上旬は多く推移したがそれ以外は平年並であった。ほ場での発生時期はやや早く、発生量は8月下旬以降多かった。	8月と9月の気温が高く、9月は降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除および追加防除が行われたが、防除適期を逸し、多発するほ場がみられた。
ネギコガ (平年並)	発生時期・発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、ハスモンヨトウの誘殺数はやや多かった。誘殺のピークは平年と比べてやや早く推移し、5月中旬、7月中旬、8月上旬に誘殺数が増加した。ほ場での発生量は平年並であった。	8月と9月の気温が高く、9月は降水量が少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除により発生の増加が抑えられた。

オ. イチゴ

病虫害名 (概評)	発生経過の概要	発生原因の解析
灰色かび病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	本ぼ防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
炭疽病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	育苗期防除の徹底により、苗床での発生の増加が抑えられた。
うどんこ病 (平年並)	発生時期・発生量は平年並であった。	本病発生を助長する気象条件であったが、育苗期や本ぼ防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの誘殺数は、6月中旬から7月下旬、8月下旬から9月下旬に増加したが、ほ場の発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (やや少ない)	発生時期は平年並であるが、発生量はやや少なかった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数はやや多かったが、ほ場での幼虫の発生時期・発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

カ. ナガイモ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (平年並)	7月下旬頃から発生し、8月下旬には発生量が増加し始めたものの、最終的な発生量は平年並であった。	平年より梅雨入りが早く、7～8月の降水量が多かったことから、発生を助長する要因となったが、防除が徹底された。
ナガイモコガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数は7月下旬から8月上旬にかけてやや多く推移したが、その後は平年並となった。ほ場における発生量も平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
シロイチモジヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、5月下旬、8月下旬、9月下旬に誘殺数はやや多く推移したが、全体としては平年並の発生量であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

キ. ラッキョウ (令和3年産)

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
白色疫病 (平年並)	2月以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	12～1月の降雪量が多く、2月は曇雨天が多かったことから、発病を助長する気象条件であったが、定期防除が徹底された。
灰色かび病 (平年並)	4月中旬以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並となった。発生時期は平年並であった。	3月の気温が高く、ラッキョウ地上部が繁茂したため、発病を助長する要因となった。定期防除が徹底された。
ネギハモグリバエ (やや多い)	ほ場での発生時期はやや早く、9月下旬の発生量はやや多かった。	9月の気温が高く、降水量も少なかったため、発生の助長要因となった。定期防除が行われたが、防除適期を逸し、多発するほ場がみられた。
ネギアザミウマ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。

(3) 調査の概要と結果

ア. スイカ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 黄色水盤によるアブラムシ類の誘殺数

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
4. 1	0.0	6. 1	22.8	8. 1	10.3	10. 1	33.6
4. 2	0.0	6. 2	30.7	8. 2	19.4	10. 2	18.1
4. 3	0.1	6. 3	72.1	8. 3	8.8	10. 3	6.3
4. 4	0.6	6. 4	68.3	8. 4	17.3	10. 4	0.0
4. 5	6.3	6. 5	69.4	8. 5	40.6	10. 5	2.5
4. 6	12.0	6. 6	84.3	8. 6	153.1	10. 6	10.6
5. 1	20.0	7. 1	42.6	9. 1	68.5		
5. 2	21.4	7. 2	59.9	9. 2	54.3		
5. 3	20.6	7. 3	101.4	9. 3	109.4		
5. 4	20.0	7. 4	13.6	9. 4	99.9		
5. 5	35.0	7. 5	12.0	9. 5	57.0		
5. 6	24.5	7. 6	7.8	9. 6	30.0		

b. 一般ほ場における調査

第2表 巡回調査ほ場の概要

作型	定植期	開花期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
ビニールハウス	3月上旬	4月下旬	6月中旬～下旬	東伯郡 北栄町(由良宿、妻波、大谷、高千穂、下種)	5 (各1ほ場)
大型トンネル	3月下旬	5月上旬	6月下旬～7月上旬	東伯郡 北栄町 由良宿	2
				” ” 大谷	2
				” ” 高千穂	1
				倉吉市 横田	2

第3表 巡回調査ほ場における発病調査（菌核病）

作型	地区	調査月日	菌核病					
			調査ほ場数	程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計
ビニールハウス	北栄	4. 14	5	0	0	0	0	0
		5. 1	5	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5. 28	5	0	0	0	0	0
		6. 25	5	0	0	0	0	0
	倉吉	5. 28	2	0	0	0	0	0
		6. 25	2	0	0	0	0	0
	合計	5. 28	7	0	0	0	0	0
		6. 25	7	0	0	0	0	0

第4表 巡回調査ほ場における発病調査（つる枯病、うどんこ病）

作型	地区	調査月日	つる枯病					うどんこ病						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4. 14	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5. 1	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5. 28	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	1	1
		6. 25	25	0	0	0	0	0	25	0	0	1	10	11
	倉吉	5. 28	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
		6. 25	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	6	6
	合計	5. 28	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	1	1
		6. 25	35	0	0	0	0	0	35	0	0	1	16	17

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（疫病・褐色腐敗病、炭疽病）

作型	地区	調査月日	疫病・褐色腐敗病					炭疽病						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
トンネル	北栄	5. 28	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	12	12
		6. 25	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	16	16
	倉吉	5. 28	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	3	3
		6. 25	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	1
	合計	5. 28	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	15	15
		6. 25	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	17	17

第6表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ類、ハダニ類）

作型	地区	調査月日	アブラムシ類					ハダニ類						
			調査 地点数	程度別ほ場数				調査 地点数	程度別ほ場数					
				甚	多	中	少		計	甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4. 14	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5. 1	25	0	0	0	2	2	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5. 28	25	0	0	0	2	2	25	0	0	0	0	0
		6. 25	25	0	0	0	5	5	25	0	0	0	2	2
	倉吉	5. 28	10	0	0	0	2	2	10	0	0	0	0	0
		6. 25	10	0	0	0	2	2	10	0	0	0	7	7
	合計	5. 28	35	0	0	0	4	4	35	0	0	0	0	0
		6. 25	35	0	0	0	7	7	35	0	0	0	9	9

イ. キャベツ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

コナガ						ヨトウガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	6.9	7.1	3.3	9.1	5.8	5.1	20.6	7.1	1.9	9.1	8.8
5.2	12.9	7.2	1.3	9.2	1.5	5.2	22.9	7.2	1.6	9.2	7.3
5.3	14.9	7.3	2.1	9.3	0.0	5.3	16.6	7.3	0.7	9.3	1.9
5.4	16.3	7.4	5.0	9.4	2.0	5.4	12.5	7.4	0.0	9.4	10.4
5.5	44.2	7.5	4.4	9.5	1.0	5.5	4.2	7.5	0.0	9.5	12.5
5.6	49.5	7.6	5.6	9.6	0.0	5.6	2.1	7.6	0.0	9.6	12.5
6.1	29.5	8.1	3.4	10.1	15.0	6.1	0.8	8.1	0.0	10.1	3.6
6.2	12.9	8.2	1.1	10.2	6.4	6.2	0.0	8.2	0.0	10.2	2.3
6.3	5.7	8.3	0.4	10.3	1.6	6.3	2.1	8.3	0.0	10.3	1.1
6.4	28.4	8.4	0.0	10.4	5.0	6.4	0.9	8.4	0.0	10.4	0.0
6.5	37.6	8.5	0.0	10.5	7.4	6.5	0.1	8.5	0.0	10.5	0.0
6.6	13.6	8.6	10.7	10.6	5.6	6.6	0.7	8.6	5.7	10.6	0.0

第2表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

カブラヤガ						タマナヤガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	31.7	7.1	3.0	9.1	3.3	5.1	0.8	7.1	0.3	9.1	0.3
5.2	13.6	7.2	2.0	9.2	4.3	5.2	2.1	7.2	0.3	9.2	0.3
5.3	8.4	7.3	2.9	9.3	3.1	5.3	0.9	7.3	0.7	9.3	0.6
5.4	5.0	7.4	2.9	9.4	10.6	5.4	0.0	7.4	0.0	9.4	0.1
5.5	1.7	7.5	4.1	9.5	5.0	5.5	0.0	7.5	0.0	9.5	0.0
5.6	0.3	7.6	2.0	9.6	0.0	5.6	2.5	7.6	0.6	9.6	0.0
6.1	0.3	8.1	0.0	10.1	10.0	6.1	1.5	8.1	2.2	10.1	0.0
6.2	0.7	8.2	0.0	10.2	4.9	6.2	0.0	8.2	4.4	10.2	0.0
6.3	0.0	8.3	0.0	10.3	1.1	6.3	0.0	8.3	1.8	10.3	0.0
6.4	1.7	8.4	0.5	10.4	0.0	6.4	0.0	8.4	2.0	10.4	0.0
6.5	4.1	8.5	1.3	10.5	0.0	6.5	0.3	8.5	5.0	10.5	0.0
6.6	9.3	8.6	1.0	10.6	0.0	6.6	1.4	8.6	1.7	10.6	0.0

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

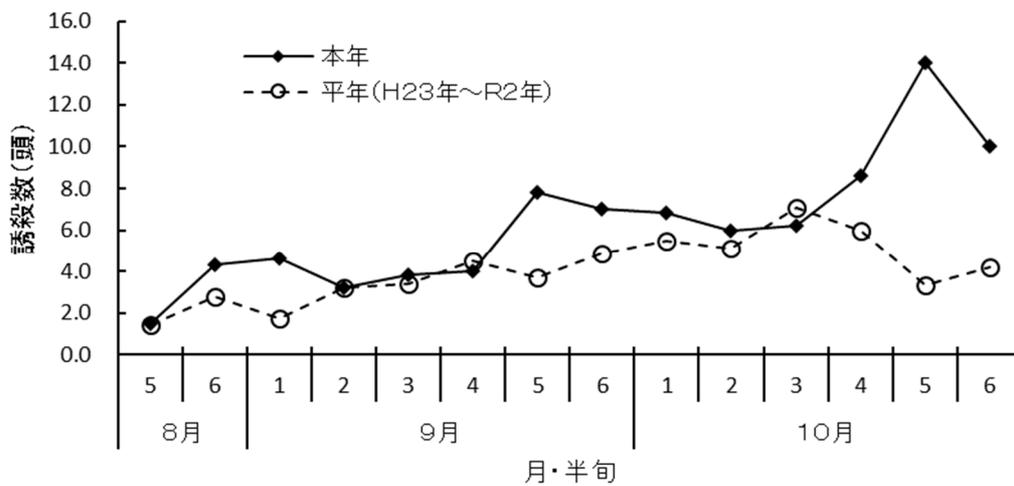
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
7月上旬	8月上旬	10月上旬	倉吉市 横田	2
～	～	～	東伯郡 北栄町 高千穂	1
7月下旬	9月上旬	12月	〃 〃 此山	2

第4表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
倉吉市 下米積 (病害虫発生状況調査ほ)	8月21日～ 10月31日	コナガ	SETトラップ

第5表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

倉吉市下米積			
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
8.5	1.5	9.6	4.9
8.6	4.3	10.1	5.5
9.1	4.6	10.2	5.1
9.2	3.2	10.3	7.1
9.3	3.8	10.4	6.0
9.4	4.0	10.5	3.3
9.5	7.8	10.6	4.2



第1図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（倉吉市下米積）

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、菌核病、べと病）

地区	調査月日	調査ほ場数	黒腐病					菌核病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、黒斑細菌病）

地区	調査月日	調査ほ場数	軟腐病					黒斑細菌病						
			程度別ほ場数					程度別ほ場数						
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
北栄	8. 30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. 21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. 28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8. 30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. 21	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. 28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8. 30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9. 21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. 28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ						
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数						
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
北栄	8. 30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	10. 28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8. 30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. 28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8. 30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	10. 28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ類、タマナギンウワバ、ネキリムシ類）

地区	調査月日	調査ほ場数	アブラムシ類					タマナギンウワバ					ネキリムシ類						
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数						
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計		
北栄	8. 30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. 28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8. 30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. 28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8. 30	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. 28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第10表 巡回調査ほ場における発生調査（ハイマダラノメイガ）

地区	調査月日	調査ほ場数	ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0
倉吉	8.30	2	0	0	0	0	0
	10.28	2	0	0	0	0	0
合計	8.30	5	0	0	0	0	0
	10.28	5	0	0	0	0	0

ウ. ブロココリー

第1表 定点調査ほ場の概要

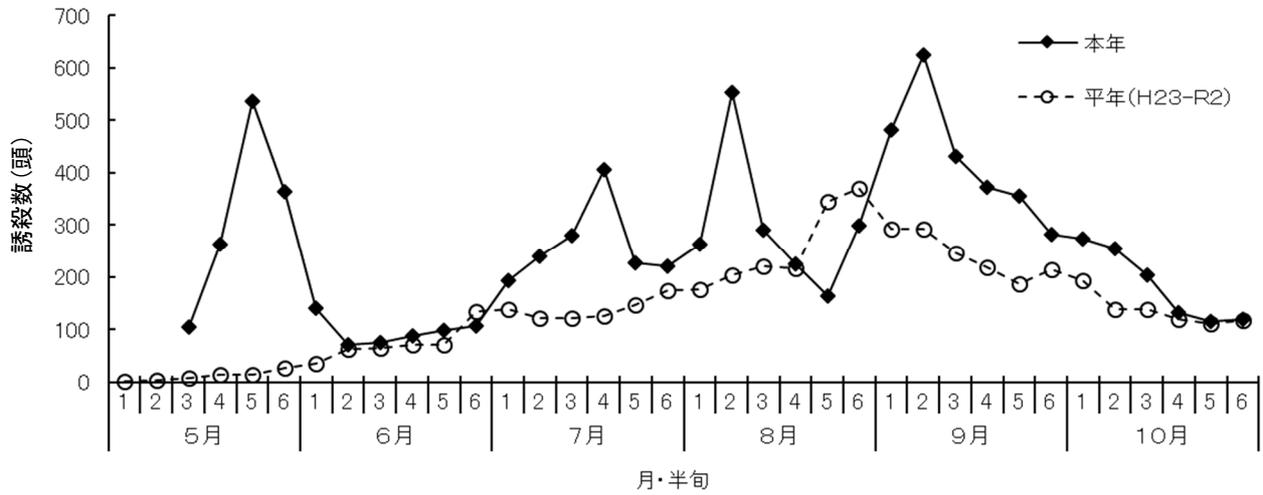
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
3月上旬	4月上旬	6月上旬	東伯郡 琴浦町 高野	2
～	～	～	” ” 杉下	1
3月下旬	4月下旬	6月下旬	西伯郡 大山町 下甲	4
7月上旬	8月上旬	10月上旬	東伯郡 北栄町 高千穂	1
～	～	～	” ” 大谷	2
8月下旬	9月下旬	12月	西伯郡 大山町 下甲	4

第2表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
西伯郡 大山町 下甲 (病虫害発生状況調査ほ)	5月1日～ 10月31日	ハスモンヨトウ	ファネルトラップ
		コナガ	SEトラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（病虫害発生状況調査ほ場）

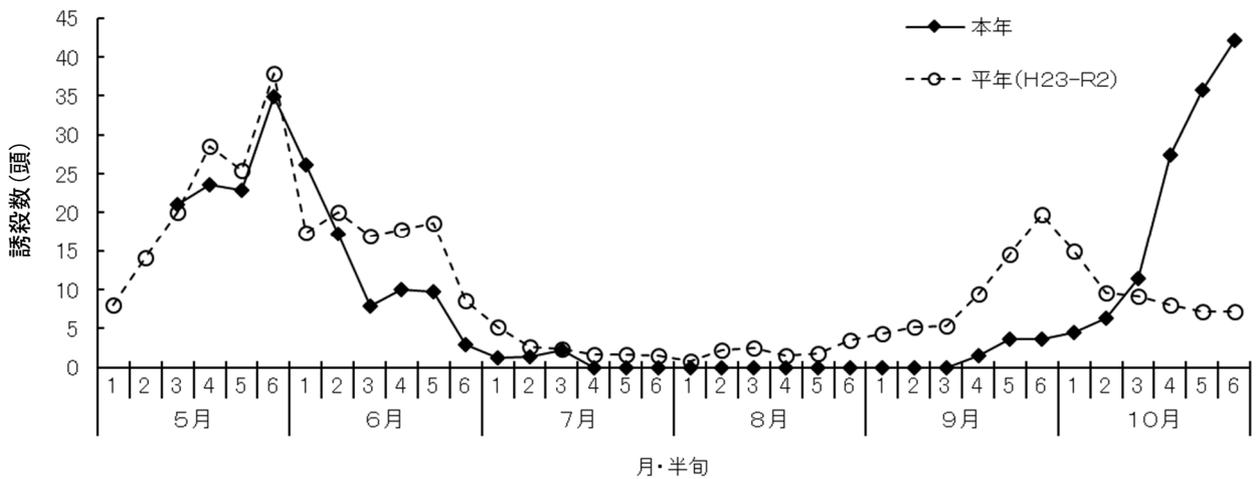
大山町下甲					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0.0	7.1	192.1	9.1	481.7
5.2	0.0	7.2	240.1	9.2	623.3
5.3	104.9	7.3	280.0	9.3	431.5
5.4	262.1	7.4	405.7	9.4	372.1
5.5	535.0	7.5	225.8	9.5	355.0
5.6	364.3	7.6	221.0	9.6	280.7
6.1	141.6	8.1	262.5	10.1	273.0
6.2	72.1	8.2	553.3	10.2	254.9
6.3	75.0	8.3	289.9	10.3	202.9
6.4	88.7	8.4	224.0	10.4	131.4
6.5	99.6	8.5	164.0	10.5	115.6
6.6	106.4	8.6	299.1	10.6	118.6



第1図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長 (大山町下甲)

第4表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数 (病害虫発生状況調査ほ場)

大山町下甲					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	-	7.1	1.1	9.1	0.0
5.2	-	7.2	1.3	9.2	0.0
5.3	21.0	7.3	2.1	9.3	0.0
5.4	23.6	7.4	0.0	9.4	1.4
5.5	22.9	7.5	0.0	9.5	3.6
5.6	34.9	7.6	0.0	9.6	3.6
6.1	26.1	8.1	0.0	10.1	4.4
6.2	17.1	8.2	-	10.2	6.3
6.3	7.9	8.3	0.0	10.3	11.4
6.4	10.0	8.4	0.0	10.4	27.4
6.5	9.7	8.5	0.0	10.5	35.7
6.6	2.9	8.6	0.0	10.6	42.1



第2図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長 (大山町下甲)

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、べと病、軟腐病、黒すす病）

地区	調査月日	調査ほ場数	黒腐病					べと病					軟腐病					黒すす病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	5.20	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	8.30	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	4	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	10.28	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
北栄	5.20	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	10.28	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	5.20	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	8.30	7	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	7	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
	10.28	7	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6

第6表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	10.28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	8.30	3	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	7	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
	10.28	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 巡回調査ほ場における発生調査（ネキリムシ類、ハイマダラノメイガ）

地区	調査月日	調査ほ場数	ネキリムシ類					ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	8.30	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.30	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ. ネギ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

シロイチモジヨトウ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5. 1	3.3	7. 1	63.4	9. 1	80.2
5. 2	2.1	7. 2	51.3	9. 2	52.8
5. 3	70.2	7. 3	15.7	9. 3	50.6
5. 4	115.6	7. 4	9.3	9. 4	104.1
5. 5	232.5	7. 5	30.1	9. 5	108.9
5. 6	134.0	7. 6	38.7	9. 6	103.1
6. 1	57.4	8. 1	29.4	10. 1	92.1
6. 2	12.1	8. 2	33.9	10. 2	61.3
6. 3	18.6	8. 3	26.1	10. 3	32.6
6. 4	13.4	8. 4	53.5	10. 4	0.0
6. 5	11.4	8. 5	102.5	10. 5	0.0
6. 6	17.1	8. 6	139.8	10. 6	0.0

ネギコガ(ネギコガフェロモン)						ネギコガ(コナガフェロモン)					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5. 1	9.2	7. 1	-	9. 1	-	5. 1	-	7. 1	24.6	9. 1	19.5
5. 2	4.3	7. 2	-	9. 2	-	5. 2	-	7. 2	15.3	9. 2	18.3
5. 3	4.3	7. 3	-	9. 3	-	5. 3	-	7. 3	7.1	9. 3	26.9
5. 4	4.4	7. 4	-	9. 4	-	5. 4	-	7. 4	6.4	9. 4	26.7
5. 5	17.5	7. 5	-	9. 5	-	5. 5	-	7. 5	19.4	9. 5	20.4
5. 6	7.3	7. 6	-	9. 6	-	5. 6	-	7. 6	36.9	9. 6	16.3
6. 1	3.1	8. 1	-	10. 1	-	6. 1	3.1	8. 1	33.5	10. 1	8.6
6. 2	2.1	8. 2	-	10. 2	-	6. 2	7.9	8. 2	35.6	10. 2	9.0
6. 3	2.1	8. 3	-	10. 3	-	6. 3	10.7	8. 3	31.2	10. 3	7.4
6. 4	0.9	8. 4	-	10. 4	-	6. 4	4.3	8. 4	35.0	10. 4	0.0
6. 5	0.0	8. 5	-	10. 5	-	6. 5	8.0	8. 5	45.0	10. 5	0.0
6. 6	0.0	8. 6	-	10. 6	-	6. 6	40.0	8. 6	33.0	10. 6	0.0

第2表 黄色粘着トラップによるアザミウマ類成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
5. 1	4.2	7. 1	0.3	9. 1	1.0
5. 2	7.9	7. 2	0.6	9. 2	1.5
5. 3	3.1	7. 3	1.4	9. 3	1.3
5. 4	0.0	7. 4	0.0	9. 4	0.3
5. 5	3.3	7. 5	0.6	9. 5	0.0
5. 6	3.8	7. 6	0.4	9. 6	0.0
6. 1	2.7	8. 1	0.0	10. 1	0.0
6. 2	2.1	8. 2	0.0	10. 2	0.0
6. 3	1.4	8. 3	0.0	10. 3	0.0
6. 4	0.6	8. 4	0.3	10. 4	0.0
6. 5	0.3	8. 5	0.6	10. 5	0.0
6. 6	1.4	8. 6	0.1	10. 6	0.0

注)黄色粘着トラップ10cm×10cm 当たり虫数

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

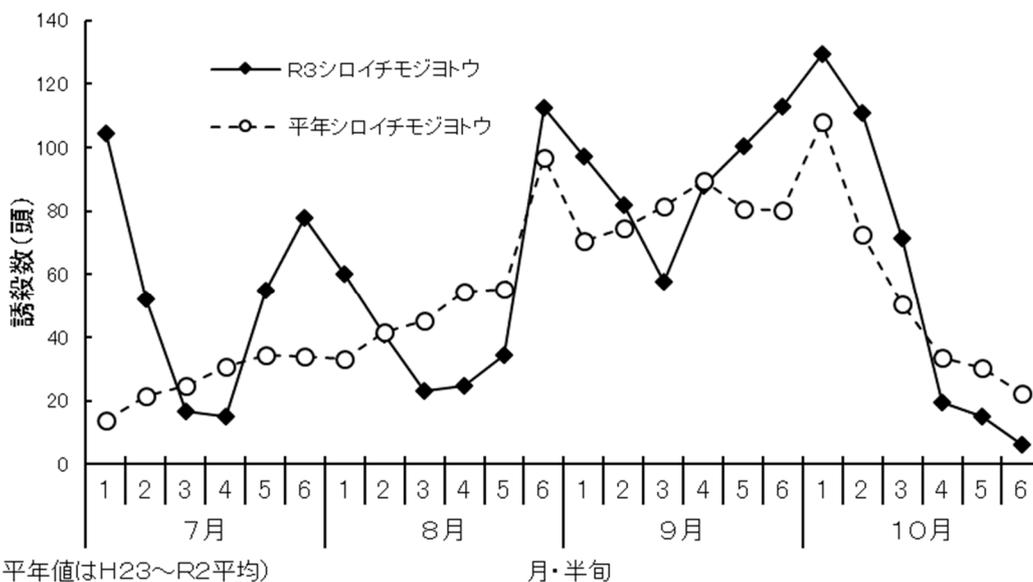
地区	調査場所	調査ほ場数
米子	米子市 富益町	5
境港	境港市 森岡町・渡町	5

第4表 フェロモントラップ調査地点の設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
米子市 夜見町 (病害虫発生状況調査ほ)	7月1日～ 10月31日	シロイチモジヨトウ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺数

米子市夜見町			
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
7. 1	104.3	9. 1	97.0
7. 2	52.0	9. 2	81.9
7. 3	16.7	9. 3	57.9
7. 4	15.0	9. 4	87.9
7. 5	55.0	9. 5	100.3
7. 6	78.0	9. 6	112.7
8. 1	60.1	10. 1	129.3
8. 2	40.7	10. 2	111.0
8. 3	23.0	10. 3	71.6
8. 4	24.9	10. 4	19.3
8. 5	34.3	10. 5	15.0
8. 6	112.3	10. 6	6.0



第1図 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺消長（米子市夜見町）

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（さび病、黒斑病、萎縮病、べと病）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	さび病					黒斑病					萎縮病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.15	5	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.25	5	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.22	5	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.28	5	-	-	-	-	-	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	4.15	5	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.25	5	0	0	0	4	4	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.22	5	-	-	-	-	-	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.28	5	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.27	5	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4.15	10	0	0	2	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.25	10	0	0	0	6	6	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.22	10	-	-	-	-	-	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.28	10	-	-	-	-	-	0	0	0	9	9	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.27	10	-	-	-	-	-	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.21	10	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注)表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、萎凋病、白絹病）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	軟腐病					萎凋病					白絹病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	6.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.27	5	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
境港	6.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.27	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
合計	6.22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.28	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.27	10	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、アブラムシ類、ネギコガ）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ					アブラムシ類					ネギコガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.15	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5.25	5	0	0	0	4	4	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6.22	5	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7.28	5	0	0	0	1	1	0	0	4	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8.27	5	0	0	0	5	5	0	1	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9.21	5	1	0	0	2	3	0	2	2	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
境港	4.15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5.25	5	0	0	2	2	4	2	0	1	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6.22	5	0	0	0	0	0	1	1	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7.28	5	0	0	0	0	0	1	1	1	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8.27	5	0	1	3	1	5	0	4	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9.21	5	0	0	0	3	3	0	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	4.15	10	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5.25	10	0	0	2	6	8	2	0	1	7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6.22	10	0	0	0	0	0	2	4	3	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	7.28	10	0	0	0	1	1	1	1	5	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8.27	10	0	1	3	6	10	0	5	3	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	9.21	10	1	0	0	5	6	0	7	2	1	10	0	0	0	0	0	0	0	1	1	

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	シロイチモジヨトウ					ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	5.25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	5	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0
境港	5.25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	5	1	2	2	0	5	0	0	0	1	1
合計	5.25	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.28	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.27	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.21	10	1	3	4	1	9	0	0	0	1	1

注)表中の「-」は調査対象でないことを示す。

オ. イチゴ

第1表 巡回調査ほ場の概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
とっておき	東伯郡 湯梨浜町 長瀬	2
章 姫	” ” 浅津	1
紅ほっぺ	” ” 原	1

第2表 病虫害発生状況調査ほの概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
章 姫	倉吉市 沢谷	1
とっておき	東伯郡 湯梨浜町 橋津	1
紅ほっぺ	東伯郡 北栄町 西園	1

第3表 病虫害発生状況調査ほにおける調査結果

地区	調査 月日	病虫害名							
		灰色かび病	うどんこ病			炭疽病	アブラムシ類	ハダニ類	ハスモンヨトウ
		発病果率 (%)	発病葉率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	幼虫寄生株率 (%)	
倉吉	6. 20	-	0	-	0	0	0	-	
	11. 20	0	-	0	0	0	0	0	
	1. 10	0	-	0	0	0	0	0	
湯梨浜	6. 20	-	0	-	0	0	0	-	
	11. 20	0	-	0	0	12.0	0	0	
	1. 9	0	-	0	0	8.0	0	0	
北栄	6. 20	-	0	-	0	0	0	-	
	11. 20	0	-	0	4.0	0	0	0	
	1. 12	0	-	0	0	0	0	0	

注)表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第4表 巡回ほ場における調査結果（うどんこ病、炭疽病）

地区	調査月日	調査 ほ場数	うどんこ病					炭疽病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5. 25	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第5表 巡回ほ場における調査結果（アブラムシ類、ハダニ類）

地区	調査月日	調査 ほ場数	アブラムシ類					ハダニ類				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5. 25	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	6. 30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

カ. ナガイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるナガイモコガ雄成虫の誘殺数（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

ネギコガ誘引剤						コナガ誘引剤					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0	7.1	-	9.1	-	5.1	0.8	7.1	337.6	9.1	695.9
5.2	0	7.2	-	9.2	-	5.2	0.0	7.2	342.9	9.2	600.8
5.3	0	7.3	-	9.3	-	5.3	0.0	7.3	270.0	9.3	729.4
5.4	0	7.4	-	9.4	-	5.4	0.0	7.4	251.4	9.4	552.5
5.5	0	7.5	-	9.5	-	5.5	5.0	7.5	1100.8	9.5	298.6
5.6	0	7.6	-	9.6	-	5.6	4.8	7.6	1721.7	9.6	158.8
6.1	0	8.1	-	10.1	-	6.1	8.8	8.1	1072.5	10.1	13.6
6.2	0	8.2	-	10.2	-	6.2	16.4	8.2	703.3	10.2	6.3
6.3	0	8.3	-	10.3	-	6.3	19.3	8.3	441.8	10.3	1.1
6.4	0	8.4	-	10.4	-	6.4	24.0	8.4	575.5	10.4	0.0
6.5	0	8.5	-	10.5	-	6.5	46.1	8.5	1037.5	10.5	0.0
6.6	0	8.6	-	10.6	-	6.6	122.1	8.6	1174.6	10.6	0.0

キ. ラッキョウ

第1表 巡回調査ほ場の概要

地区	品種	調査場所	調査ほ場数
福部	ラクダ	鳥取市 福部町 細川	2
		〃 〃 海士	1
		〃 〃 浜湯山	2
東伯郡 北栄町 東新田場		1	
〃 〃 国坂		1	
〃 〃 西園		1	
北栄	〃 〃 東園	1	
	〃 〃 由良	1	

第2表 巡回調査ほ場における調査結果（白色疫病、灰色かび病）

地区	調査月日	調査ほ場数	白色疫病					灰色かび病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R3. 4. 11	5	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5
	R3. 11. 24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4. 1. 25	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
北栄	R3. 4. 11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	R3. 11. 24	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4. 1. 25	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
合計	R3. 4. 11	10	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
	R3. 11. 24	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R4. 1. 25	10	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0

第3表 巡回調査ほ場における調査結果（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	R3. 4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
	R3.11.24	5	0	1	0	4	5	0	0	0	0	0
北栄	R3. 4.11	5	0	0	0	1	1	0	0	0	5	5
	R3.11.24	5	0	0	0	5	5	0	0	0	2	2
合計	R3. 4.11	10	0	0	0	1	1	0	0	1	7	8
	R3.11.24	10	0	1	0	9	10	0	0	0	2	2

ク. サトイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5. 1	1.9	7. 1	119.1	9. 1	244.2
5. 2	1.4	7. 2	118.6	9. 2	230.3
5. 3	42.9	7. 3	92.9	9. 3	184.4
5. 4	70.6	7. 4	92.1	9. 4	381.5
5. 5	185.0	7. 5	97.5	9. 5	234.2
5. 6	237.6	7. 6	95.8	9. 6	103.1
6. 1	129.8	8. 1	110.5	10. 1	124.3
6. 2	23.6	8. 2	172.2	10. 2	113.6
6. 3	33.6	8. 3	317.9	10. 3	85.1
6. 4	32.3	8. 4	306.8	10. 4	0.0
6. 5	35.7	8. 5	144.4	10. 5	99.0
6. 6	52.9	8. 6	248.2	10. 6	114.0

ケ. トマト（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

タバコガ						オオタバコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5. 1	0.0	7. 1	2.1	9. 1	8.9	5. 1	0.0	7. 1	3.6	9. 1	5.7
5. 2	0.0	7. 2	2.3	9. 2	9.8	5. 2	0.0	7. 2	3.1	9. 2	5.0
5. 3	0.0	7. 3	3.6	9. 3	10.6	5. 3	1.5	7. 3	1.4	9. 3	2.5
5. 4	0.0	7. 4	0.0	9. 4	10.1	5. 4	2.5	7. 4	0.0	9. 4	13.2
5. 5	1.7	7. 5	7.2	9. 5	5.9	5. 5	0.8	7. 5	0.0	9. 5	12.0
5. 6	2.8	7. 6	16.2	9. 6	3.1	5. 6	0.2	7. 6	0.0	9. 6	9.4
6. 1	1.8	8. 1	11.5	10. 1	2.1	6. 1	0.0	8. 1	0.9	10. 1	3.6
6. 2	0.7	8. 2	7.2	10. 2	2.1	6. 2	0.0	8. 2	2.2	10. 2	19.9
6. 3	4.3	8. 3	4.4	10. 3	1.7	6. 3	0.0	8. 3	3.4	10. 3	35.3
6. 4	7.3	8. 4	3.5	10. 4	0.0	6. 4	0.0	8. 4	7.3	10. 4	53.8
6. 5	8.4	8. 5	5.0	10. 5	0.0	6. 5	0.1	8. 5	11.9	10. 5	62.9
6. 6	5.0	8. 6	9.6	10. 6	0.0	6. 6	0.7	8. 6	6.7	10. 6	36.6

Ⅲ ミバエ類等侵入警戒調査事業

1 事業の目的

新たに国内に侵入し、又は既に国内の一部に存在している有害動物又は有害植物がまん延して有用な植物に重大な損害を与える恐れが生じる。その前に本県への侵入状況を把握し、これらの駆除又はそのまん延防止に資するため、ミバエ類等侵入警戒調査実施要領の定めるところにより、植物防疫所に協力する。本県では、チチュウカイミバエ、コドリングア、火傷病、スイカ果実汚斑細菌病を対象として侵入警戒調査を実施する。

2 令和3年度調査結果

すべての調査地点において、当該病害虫は発見されなかった。

3 対象害虫

	チチュウカイミバエ	コドリングア
寄主植物	果樹、果菜類、豆類	ナシ、リンゴ、モモ等
使用トラップ	スタイナー型	SEトラップ（白）
使用誘引剤	トリメドラルア剤	コドレルア剤
調査方法	フェロモントラップによる誘殺数の確認	
トラップの設置場所	風通しの良い木陰等の地上1.5メートル程度の位置（樹園地等）	
調査地点	農試調査：鳥取市（1）、八頭町（1）、日吉津村（1） 園試調査：北栄町（1） (計4か所)	
調査期間	令和3年4月～11月	
調査時期	毎月2回、15日間隔	

4 対象病害

	スイカ果実汚斑細菌病	火傷病
寄主植物	スイカなど	ナシ、リンゴ、オウトウなど
調査方法	スイカの育苗期及び果実肥大期から結実期までについて、病徴の有無を確認調査	主な寄主植物（ナシなど）の開花期及び新梢伸長期から果実の肥大期までについて、病徴の有無を確認調査
調査地点	園試調査 倉吉市（2）、北栄町（10） (計12か所)	園試調査 鳥取市、八頭町、倉吉市、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、大山町、米子市、南部町 (計25か所)
調査期間	令和3年2月～6月	令和3年4月～11月

付表 令和3年 半旬別気象表

1 鳥取市（鳥取地方気象台）

月	半旬	気 温 (°C)					降水量(mm)		日照時間(h)		
		平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年
		本年	平年	本年	平年	本年	平年				
1月	1	3.1	4.9	10.6	8.8	-0.2	1.7	7.0	33.1	9.7	11.3
	2	0.2	4.6	7.8	8.5	-5.4	1.4	25.5	34.1	23.4	11.0
	3	5.2	4.3	14.7	8.2	-1.0	1.2	3.0	34.7	22.1	11.0
	4	3.9	4.1	13.6	7.9	-1.1	0.9	43.5	32.5	16.6	11.0
	5	7.4	3.9	15.4	7.7	-0.7	0.7	25.0	31.0	14.5	11.2
	6	5.6	3.8	16.1	7.6	-1.3	0.7	41.0	37.1	19.3	14.1
	平均(合計)		4.2	4.3	13.0	8.1	-1.6	1.1	145.0	202.5	105.6
2月	1	6.2	3.9	13.6	7.9	-0.5	0.6	13.0	29.7	13.9	12.7
	2	5.6	4.2	16.5	8.3	0.0	0.6	34.0	29.2	14.5	13.3
	3	10.6	4.5	20.5	8.8	1.5	0.9	19.5	30.0	29.9	14.0
	4	3.8	4.9	17.6	9.3	-2.8	1.1	46.0	28.7	27.8	15.7
	5	9.3	5.4	23.0	10.0	-1.8	1.4	2.5	25.1	36.4	17.4
	6	6.8	5.9	16.2	10.6	-1.5	1.8	2.0	13.9	13.4	10.8
	平均(合計)		7.1	4.8	17.9	9.2	-0.9	1.1	117.0	156.6	135.9
3月	1	10.2	6.4	20.1	11.2	1.1	2.1	52.0	23.5	20.1	18.3
	2	7.0	6.8	13.0	11.8	-0.3	2.4	0.0	23.8	18.6	19.3
	3	9.4	7.5	17.1	12.7	-0.8	2.7	30.5	22.9	26.3	20.9
	4	10.6	8.3	19.2	13.5	0.8	3.2	3.5	22.6	34.1	22.3
	5	10.9	8.9	20.6	14.2	1.9	3.8	39.5	23.0	25.7	23.0
	6	13.5	9.7	23.4	15.1	2.1	4.5	4.0	26.9	44.3	29.1
	平均(合計)		10.3	7.9	18.9	13.1	0.8	3.1	129.5	142.7	169.1
4月	1	14.6	10.7	25.8	16.3	4.6	5.4	26.5	20.5	34.9	26.3
	2	10.1	11.7	19.3	17.4	1.0	6.3	0.0	17.8	41.2	27.7
	3	13.1	12.7	23.2	18.4	1.5	7.2	5.5	16.5	30.6	28.8
	4	13.6	13.7	23.3	19.4	4.7	8.1	31.0	16.0	33.8	29.5
	5	14.8	14.6	25.6	20.3	5.8	9.0	0.0	15.7	46.0	30.7
	6	14.3	15.6	23.9	21.4	3.8	10.0	41.5	15.5	28.5	32.4
	平均(合計)		13.4	13.2	23.5	18.9	3.6	7.7	104.5	102.0	215.0
5月	1	15.2	16.6	26.8	22.4	7.7	11.0	31.5	16.8	26.8	32.9
	2	17.4	17.2	23.7	22.9	8.4	11.6	2.5	21.2	35.3	32.2
	3	19.5	17.6	29.1	23.3	10.0	12.2	3.5	22.7	25.6	32.1
	4	19.6	18.3	25.4	24.0	15.1	13.0	58.5	19.7	6.0	33.3
	5	19.5	19.1	27.2	24.8	13.4	13.8	27.0	18.0	21.5	33.8
	6	18.7	19.7	27.5	25.2	10.9	14.7	23.0	21.9	49.2	39.3
	平均(合計)		18.3	18.1	26.6	23.8	10.9	12.7	146.0	120.3	164.4
6月	1	21.3	20.3	27.9	25.7	12.5	15.5	26.0	17.4	26.8	31.0
	2	23.3	21.0	33.3	26.2	15.9	16.5	0.0	17.7	51.8	28.5
	3	23.7	21.7	29.4	26.6	20.1	17.5	60.5	20.6	14.1	26.4
	4	21.6	22.3	26.4	27.1	17.8	18.4	34.5	25.0	10.4	24.5
	5	22.3	23.0	32.5	27.6	15.6	19.3	0.5	30.8	39.8	21.9
	6	23.6	23.8	30.6	28.2	18.8	20.3	4.0	36.0	11.1	20.2
	平均(合計)		22.6	22.0	30.0	26.9	16.8	17.9	125.5	147.5	154.0

月 半旬	気 温 (°C)						降水量(mm)		日照時間(h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
7 月	1	26.4	24.6	32.3	28.9	22.7	21.1	14.5	39.2	9.5	20.3
	2	24.8	25.2	31.7	29.6	22.7	21.8	340.0	39.4	2.1	21.4
	3	26.0	25.8	33.4	30.4	21.3	22.3	13.5	36.8	27.0	23.9
	4	28.0	26.4	36.2	31.2	22.2	22.6	0.0	30.2	46.1	28.5
	5	28.8	27.1	35.4	32.0	23.0	23.1	4.5	22.2	57.6	32.4
	6	27.2	27.7	35.0	32.8	22.4	23.7	7.5	20.2	46.3	41.3
平均 (合計)	26.9	26.1	34.0	30.8	22.4	22.4	380.0	188.0	188.6	167.8	
8 月	1	29.5	28.0	37.5	33.2	23.2	24.0	0.0	15.8	50.5	35.9
	2	27.8	27.9	39.2	33.3	22.5	23.9	98.0	18.6	28.0	35.1
	3	23.9	27.6	31.3	32.9	20.5	23.6	244.0	21.4	6.7	33.2
	4	24.7	27.2	29.1	32.5	21.0	23.2	30.5	22.4	3.3	32.0
	5	27.7	26.8	33.4	32.0	22.0	22.7	16.0	22.9	7.2	30.9
	6	27.3	26.1	34.0	31.2	22.6	22.1	0.0	32.0	32.8	34.6
平均 (合計)	26.8	27.3	34.1	32.5	22.0	23.3	388.5	133.1	128.5	201.7	
9 月	1	23.8	25.2	31.4	30.3	20.5	21.4	46.5	34.2	5.8	26.6
	2	24.0	24.3	30.6	29.3	17.4	20.5	44.0	38.2	22.8	25.2
	3	23.2	23.5	28.8	28.4	18.4	19.6	4.0	38.4	14.0	24.2
	4	23.9	22.5	31.2	27.4	16.4	18.6	24.5	37.7	29.7	23.3
	5	23.6	21.4	32.5	26.3	17.0	17.4	7.0	35.8	30.5	22.8
	6	24.0	20.5	30.7	25.4	18.0	16.4	0.0	33.2	21.6	22.3
平均 (合計)	23.8	22.9	30.9	27.9	18.0	19.0	126.0	217.5	124.4	144.4	
10 月	1	22.9	19.7	31.5	24.6	16.6	15.5	0.5	29.4	46.2	22.0
	2	23.3	18.8	31.0	23.8	16.6	14.5	0.5	25.6	39.9	22.8
	3	21.2	17.8	30.9	23.0	14.6	13.4	1.0	24.8	22.7	24.1
	4	15.0	16.7	25.3	22.0	8.7	12.3	92.5	27.0	17.6	24.5
	5	12.9	15.8	20.0	21.1	8.7	11.4	37.5	27.4	15.4	24.1
	6	15.3	14.9	22.9	20.1	8.4	10.5	3.0	28.6	34.1	27.8
平均 (合計)	18.4	17.3	26.9	22.4	12.3	12.9	135.0	162.8	175.9	145.3	
11 月	1	14.6	14.1	20.8	19.3	10.7	9.6	4.0	20.8	32.3	22.6
	2	14.1	13.4	19.7	18.5	8.7	9.0	21.0	21.4	28.6	21.0
	3	11.5	12.4	17.2	17.2	7.3	8.2	1.5	24.7	20.8	18.7
	4	12.1	11.3	18.6	16.0	7.6	7.2	0.5	26.2	31.1	17.2
	5	11.3	10.4	15.3	15.1	7.2	6.4	36.0	25.2	11.8	16.4
	6	8.8	9.7	14.7	14.3	4.2	5.7	53.0	26.2	23.4	15.7
平均 (合計)	12.1	11.9	17.7	16.7	7.6	7.7	116.0	144.5	148.0	111.6	
12 月	1	7.2	8.8	7.2	13.2	2.9	4.9	22.0	30.1	9.1	14.9
	2	9.5	7.8	9.5	12.0	5.3	4.1	1.5	34.6	16.5	14.2
	3	9.5	6.9	9.5	11.0	5.1	3.4	17.5	36.2	15.9	13.3
	4	6.5	6.4	6.5	10.4	2.6	2.8	53.5	35.2	8.9	12.9
	5	7.5	6.0	7.5	9.9	2.8	2.5	57.0	34.5	16.2	12.4
	6	2.6	5.4	2.6	9.3	0.5	2.0	123.5	41.1	9.5	14.2
平均 (合計)	7.1	6.9	7.1	11.0	3.2	3.3	275.0	211.7	76.1	81.9	

2 北栄町（園芸試験場）

平年値：昭和52年～令和2年の平均値
降水量・日照時間：倉吉アメダス観測データ

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
1 月	1	2.2	5.0	6.3	8.6	-0.7	1.6	4.5	26.9	13.6	12.6
	2	-1.6	4.9	2.1	9.1	-4.2	1.4	9.5	25.1	17.5	14.5
	3	4.2	4.2	10.4	8.0	-1.5	1.0	2.0	29.1	23.4	13.5
	4	2.0	4.3	6.3	8.2	-1.4	0.9	37.5	24.0	16.0	13.8
	5	6.4	3.6	10.4	7.5	2.5	0.4	18.5	27.0	12.1	13.6
	6	4.9	3.9	9.9	8.0	-0.1	0.5	23.5	26.3	24.5	18.7
平均 (合計)	3.0	4.3	7.6	8.2	-0.9	1.0	95.5	158.4	107.1	86.6	
2 月	1	5.0	3.5	10.3	7.5	0.2	0.0	8.0	21.5	20.1	14.8
	2	5.0	3.9	10.2	8.4	0.3	-0.1	30.5	23.0	17.8	17.2
	3	8.8	4.8	15.7	9.5	2.6	0.8	20.0	20.4	29.2	16.3
	4	2.6	4.2	7.5	8.9	-1.5	0.2	34.0	24.3	26.0	17.6
	5	8.2	5.0	14.3	9.4	1.7	1.1	2.0	18.3	33.7	18.6
	6	5.0	5.4	9.7	10.2	-1.2	0.9	4.0	11.8	10.4	13.2
平均 (合計)	5.8	4.5	11.3	9.0	0.4	0.5	98.5	119.4	137.2	97.7	
3 月	1	8.3	5.7	14.2	10.4	3.2	1.4	42.5	23.1	18.4	19.9
	2	5.3	6.4	10.1	11.6	1.8	1.7	0.0	17.6	13.8	21.2
	3	7.0	6.9	13.1	12.4	1.0	1.8	34.5	17.9	30.2	23.8
	4	8.5	8.0	13.5	13.4	2.0	2.5	1.5	17.9	32.3	25.0
	5	9.1	7.9	16.6	13.1	2.1	2.8	26.5	22.3	27.4	24.7
	6	11.7	8.9	18.3	14.3	4.7	3.4	0.5	21.0	46.6	32.4
平均 (合計)	8.3	7.3	14.3	12.5	2.5	2.3	105.5	119.8	168.7	146.9	
4 月	1	13.2	9.9	19.2	15.7	6.9	4.2	18.5	18.0	38.1	31.2
	2	8.4	11.3	15.8	16.9	1.4	5.8	0.0	17.3	41.6	28.4
	3	11.4	11.6	18.1	16.7	3.5	6.0	5.0	20.7	28.7	29.8
	4	12.1	12.8	19.6	18.7	4.5	7.1	28.0	18.6	35.1	33.6
	5	12.3	13.6	18.6	19.2	6.5	8.2	0.0	13.9	41.6	34.1
	6	13.3	14.6	19.0	20.6	7.3	8.4	21.0	13.6	28.3	37.6
平均 (合計)	11.8	12.3	18.4	18.0	5.0	6.6	72.5	102.1	213.4	194.7	
5 月	1	13.2	15.8	20.1	21.4	6.6	9.9	18.0	13.6	26.1	34.8
	2	16.0	16.4	22.0	22.0	9.5	10.7	0.5	16.2	38.8	35.5
	3	17.7	16.5	24.0	21.8	12.7	10.8	6.0	28.1	21.4	33.4
	4	18.2	17.0	22.0	22.7	15.7	11.3	66.0	22.1	6.9	35.9
	5	18.1	17.9	24.4	23.6	13.4	12.2	6.0	13.7	29.1	38.2
	6	17.3	18.6	22.7	23.9	11.1	13.4	11.5	19.6	47.0	41.3
平均 (合計)	16.8	17.0	22.5	22.5	11.5	11.4	108.0	113.3	169.3	219.1	
6 月	1	19.4	19.3	24.7	24.8	13.4	14.0	17.5	15.8	26.6	38.1
	2	21.9	20.1	28.4	25.0	16.0	15.4	0.0	17.5	51.6	33.0
	3	22.2	20.6	26.4	25.2	19.3	16.2	8.5	21.6	10.0	31.0
	4	19.9	21.5	23.1	26.0	16.9	17.4	30.5	23.3	10.0	29.9
	5	20.3	21.7	25.8	25.8	15.3	18.0	12.0	44.6	37.0	25.1
	6	21.8	22.8	26.1	26.7	17.5	19.4	0.5	43.4	12.5	23.3
平均 (合計)	20.9	21.0	25.8	25.6	16.4	16.7	69.0	165.1	147.7	180.4	

月 半旬	気 温 (°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低		本年	平年	本年	平年	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年					
7 月	1	24.7	23.5	28.3	23.9	22.3	20.2	20.5	42.8	15.2	23.7
	2	23.5	24.1	26.2	26.4	22.1	20.4	453.0	33.6	1.0	27.4
	3	24.6	25.0	29.8	24.5	20.9	21.5	10.0	43.1	31.5	24.3
	4	26.4	25.1	32.3	27.4	21.6	21.3	0.0	34.6	42.1	30.9
	5	26.6	26.3	31.8	27.2	21.6	22.4	0.0	19.4	57.1	36.1
	6	25.8	26.6	31.1	28.7	21.2	22.6	0.0	13.8	63.7	45.6
平均 (合計)	25.3	25.1	29.9	26.4	21.6	21.4	483.5	187.3	210.6	187.9	
8 月	1	27.8	27.5	33.9	31.5	22.9	22.8	0.0	16.1	59.1	40.9
	2	26.4	26.8	32.2	33.1	22.9	22.7	54.0	21.7	28.1	36.5
	3	22.3	26.6	25.8	35.3	19.7	22.6	233.0	21.3	7.8	35.0
	4	23.3	26.1	27.6	32.6	21.0	22.4	61.0	18.0	5.8	35.6
	5	26.3	25.8	29.9	31.6	23.5	21.8	7.5	25.5	4.4	30.8
	6	25.4	25.5	30.5	34.3	21.5	21.6	1.5	28.7	30.0	39.0
平均 (合計)	25.3	26.4	30.0	33.1	21.9	22.3	357.0	131.4	135.2	217.8	
9 月	1	22.7	24.6	28.3	32.2	20.3	20.6	39.0	38.6	3.4	31.4
	2	23.3	23.5	28.0	32.1	19.2	19.7	24.0	42.8	24.0	26.4
	3	21.8	22.7	26.4	25.4	18.6	18.9	5.5	32.3	12.1	25.7
	4	22.4	21.8	26.5	25.6	18.1	17.7	24.0	41.5	28.7	26.0
	5	22.2	20.7	28.2	23.8	17.8	16.7	5.0	37.5	30.3	22.6
	6	22.3	19.9	26.4	22.8	19.3	15.6	51.0	40.8	17.2	24.4
平均 (合計)	22.5	22.2	27.3	27.0	18.9	18.2	148.5	233.5	115.7	156.5	
10 月	1	21.3	19.0	28.0	24.1	16.3	14.4	0.0	25.9	49.8	25.1
	2	21.6	18.2	27.1	20.8	16.5	13.6	1.5	22.3	38.8	26.4
	3	19.2	17.4	23.5	21.1	16.2	12.7	26.0	27.4	19.4	24.9
	4	13.7	16.0	18.7	20.6	10.5	11.0	60.0	36.3	12.8	27.6
	5	11.9	15.3	17.1	20.4	7.8	10.4	26.5	27.1	17.1	26.5
	6	14.3	14.5	21.1	19.3	8.5	9.5	0.0	20.8	38.2	29.5
平均 (合計)	17.0	16.7	22.6	21.1	12.6	11.9	114.0	159.9	176.1	159.9	
11 月	1	13.2	13.4	20.1	18.9	8.7	8.5	0.5	27.8	29.6	24.0
	2	12.9	13.5	18.6	15.6	7.8	8.9	30.5	21.2	23.9	22.8
	3	10.2	12.0	16.0	18.6	6.4	7.6	3.0	31.5	15.0	18.5
	4	11.0	10.8	19.0	20.8	5.8	6.4	5.0	21.3	36.7	18.3
	5	10.3	10.0	15.0	15.8	6.4	5.4	26.5	20.4	12.2	19.2
	6	8.8	9.3	14.7	12.8	3.8	5.2	33.5	30.2	22.7	16.5
平均 (合計)	11.1	11.5	17.2	17.1	6.5	7.0	99.0	152.3	140.1	119.3	
12 月	1	6.1	8.4	10.9	12.2	2.5	4.1	17.5	23.7	11.2	18.0
	2	9.0	7.7	14.1	14.2	4.8	3.6	18.0	25.5	27.2	16.7
	3	9.3	6.9	14.7	9.8	5.3	3.2	24.5	29.6	13.7	14.5
	4	5.7	6.2	9.5	4.0	2.2	2.6	33.0	24.3	11.1	14.5
	5	6.8	6.4	12.5	9.1	2.1	2.5	48.0	22.3	10.2	15.1
	6	1.7	5.2	5.1	10.2	-0.7	1.6	123.5	28.5	7.6	17.2
平均 (合計)	6.4	6.8	11.1	9.9	2.7	2.9	264.5	154.0	81.0	96.0	

<本業務年報中の表における注意事項>

表中に記載されている「-」及び「空欄」は、「調査未実施」もしくは「データの蓄積年数が少ないことによる平年値の省略」を示す。

鳥取県病虫害防除所

〒680-1142 鳥取市橋本260
TEL : (0857) 53-1345
FAX : (0857) 53-0723
E-mail : byougaichu@pref.tottori.lg.jp

<ホームページアドレス>
<http://www.jppn.ne.jp/tottori/>
